

IV

履修の手引


- 諸規程と履修登録
- シラバス
- FU プラスアップ授業
- 履修登録上の注意事項
- 履修登録等の日程
- 全学部共通留意事項
- 各学部留意事項
- 各種課程の履修について
- 外国語科目クラス別担当者一覧

諸規程と履修登録

大学において単位を修得し卒業するためには、学則・学科履修規程ならびにそれらに準じて取り扱われる規程に従って学習を進めていかなければなりません。


履修方法を誤ったり、多くの授業科目で不合格になると、進級できなかつたり、4年間（医学部医学科および薬学部は6年間）で卒業できないようなことになりかねません。

授業内容を考慮することはもちろん、規程をよく理解したうえで、履修する授業科目を選択し、学習計画を立てるようにしてください。

 分からないことがあれば、所属学部の事務部署へ気軽に尋ねてください。規程の内容を確認したり、学習計画を立てるうえでの相談やアドバイスを受けたりすることができます。

1 諸規程の適用

学則・学科履修規程など履修に関する諸規程は、在学中に改正される場合もありますが、卒業のための要件は原則として入学時の規程が適用されます。

 「学則」をはじめとする諸規程の中には、入学時に配付する印刷物にしか掲載していないものがあります。入学した年度の「学修ガイド」を卒業するまで大切に保管してください。

2 諸規程の改正

入学から卒業までの間に改正された学則・学科履修規程などが在學生に適用されることがあります。

この場合は、改正された内容が毎年度配付する『学修ガイド』に掲載されますので、入学時の規程と対比してどのように改正されたかを把握し、間違った履修をしないようにしてください。

3 履修登録とは

履修登録とは、各自が年間の履修計画を立て、その計画に基づき授業科目を申請する手続きのことです。

そのために、『学修ガイド』あるいは学部から配付される履修登録に関する資料などをよく読み、「授業時間割」「試験時間割」「シラバス」をもとに自分の履修計画に沿って、FUポータルより履修登録を行ってください。

履修登録を正しく行わなかった場合、その授業科目の受講・受験は認められず、単位も修得できません。履修登録は、各自の責任において行うことを自覚してください。

シラバス

1 シラバスとは何か

シラバスとは、各授業科目の詳細な授業計画のことです。シラバスには、科目名だけではわからない詳細な情報が記載されています。次のように活用してください。

●履修計画を立てる時の参考とする。

大学の学修は、自分で必要な科目を選択します。関心をもった科目は、まずシラバスをよく読んで履修するかどうかが決めましょう。

シラバスには、各授業科目の概要や到達目標、成績評価基準および方法等が掲載されていますので、どのような授業を受けたいのか、また授業を通してどのような知識・理解を深めたいのかを考える時の参考にしてください。

●日々の授業の予習・復習に役立てる。

シラバスには、各授業科目の授業計画やテキスト等が掲載されていますので、予習・復習等に役立ててください。

2 シラバスの項目

主な項目	内 容
科目名	履修申請をする際に表示される科目名が記載されています。
授業形態	授業が以下のどの形態で行われるかが記載されています。 【①講義、②講義（外国語による）、③演習、④実験、⑤実習、⑥実技、⑦講義及び演習、⑧講義及び実習】
担当教員	担当教員名が記載されています。
実務経験	「有り」と表記されている場合は、担当教員が授業科目に関連する実務経験を有しており、その経験を活かした授業を行います。また、どのような実務経験を有し、どのような授業を行うのか、「概要」欄に記載されます。
科目水準	科目が以下のどの水準であるかが記載されています。 【①入門、②初級、③中級、④上級】
授業の種類	科目が「対面授業科目」であるか「遠隔授業科目」であるかが記載されています。
概要	授業内容に加えて、本科目の位置づけ、科目のねらい、授業概要等が記載されています。
授業の進行・方法	授業の具体的な進め方、学習の方法などわかりやすく記載されています。
アクティブ・ラーニング	1回でもとりいれている授業の場合は、「あり/Yes」と記載されています。
到達目標	授業を全て受けることで、みなさんが到達することのできる目標が記載されています。授業終了後には、各到達目標をどの程度達成できたかを「授業アンケート（FURIKA）」にて振り返ります。
授業時間外の学習（予習・復習）	授業の事前・事後に行う自主学習について記載されています。 ☞本書「授業・試験」→「単位と授業時間」参照（p.17）
成績評価基準および方法	「到達目標」に対するみなさんの達成度をどういった基準で評価するのか、また、どのような方法（定期試験、平常点（小テスト、課題等）、レポート等）で評価するのかが記載されています。
テキスト、参考書	授業で使用するテキストが記載されています。テキストは授業開始日までに購入しておくようにしましょう。 ☞本書「授業・試験」→「テキストの購入」参照（p.20）
履修上の留意点	履修するにあたっての留意点や前提となる知識・能力などが記載されています。
授業計画	15回の授業計画がわかりやすく記載されています。

※項目名は、授業科目により異なる場合があります。

※アクティブ・ラーニングとは、次のような要素を取り入れた授業方法を指します。

・PBL（課題解決型学習） ・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
・ディスカッション、ディベート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・学習、フィールドワーク

出典：令和元年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ1-4アクティブ・ラーニング）

3 シラバスの閲覧

● 閲覧方法

シラバスは、FU ポータルから閲覧することが可能です。FU ポータルにログインし、「授業関連」タブ ⇒ 「WEB シラバス」 ⇒ 「シラバス閲覧 (学部)」にアクセスしてください。教員名、科目名、学部・学科等から検索し、閲覧することができます。詳細は本書巻末の「履修登録の手引」付録③を参照してください。

☞ FU ポータルとは？

福岡大学生のためのポータルサイトで、Web 上で提供される様々なサービスの入口となります。詳細は、本書「授業・試験」→「大学からの連絡 ((1)「FU ポータル」)」を参照してください。

(p. 15)

● 公開日

履修登録に先立ち、3月上旬に公開します。

FU プラスアップ授業

本学の授業は、原則として半期に15回で構成されています。前期・後期ともに15回の授業のうち、授業週として14週を設定し、残り1回分は動画配信による遠隔授業で実施します。この遠隔授業のことを「FU プラスアップ授業」と称します。

「FU プラスアップ授業」は、実施時期、内容により、「スタートアップ授業」と「中間フォローアップ授業」に二分され、どちらの授業で実施されるかは科目によって異なります。自身の履修する科目がどちらの授業で実施されるかについては、各科目のシラバス内の「授業計画」で確認してください。

スタートアップ授業を行う科目では、第1回目の授業はスタートアップ授業で行われます。前期・後期ともに、第1週の授業(第2回授業)開始前までに自身が受講する科目のスタートアップ授業を必ず視聴するようにしてください(前期は3月上旬～第1週の授業まで、後期は8月下旬～第1週の授業までに受講してください)。

※「FU プラスアップ授業」は、学期開始前に、自分がどの科目を履修するかを決めるための情報源として活用したり、自分が所属する学部以外のさまざまな学部の授業動画を見て関心を広げたりできるなど、活用の仕方はさまざまです。

〈例：新入生の場合〉

視聴目的	期 間
履修登録前に参考として視聴する場合	令和6年4月2日～令和6年4月5日
第1回目の授業として視聴する場合	令和6年4月2日～第1回授業日まで
復習や自身の関心を広げるために視聴する場合	令和6年4月2日～令和7年3月31日

※在学生はシラバス公開時から、翌年3月末日まで視聴可能です。自身の目的に合わせて視聴してください。

●スタートアップ授業

<概要>

第1回目に行われるシラバスの丁寧な説明を含んだ授業です。

本学の学生はすべてスタートアップ授業を3月上旬から1年間、いつでも閲覧することができるため、履修登録前に視聴することで、より主体的な履修選択ができます。

また、科目の狙いや到達目標、成績評価の基準などを学期期間中にいつでも参照できることで、より計画的、自律的な学習や授業期間中の振り返りを促すことを目的としています。

<視聴方法>

シラバス内の「スタートアップ授業」に記載されたURLから授業動画を確認できます。

※第1週目の授業に係る内容が含まれている場合があるため、必ず第1週目の授業開始までに視聴してください。

<スタートアップ授業の主な流れ>

- ①履修登録開始前、履修する科目選びの参考にするため視聴します。
(関心を持った科目のスタートアップ授業の「イントロダクション部分」を視聴してください。)
- ②履修登録後、第1回授業の内容を学ぶため、第1週の授業(第2回授業)前までに視聴します。
(履修登録した科目の「授業内容紹介」を視聴してください。なお、課題が課される場合もあります。)

●中間フォローアップ授業

<概要>

第6回目から第9回目を目安に行われる中間振り返り授業です。

学期の中間地点で学修を振り返り、自身の到達度を確認することで、学習内容の定着を図ることを目的としています。

※中間フォローアップ授業では、その時点までにおいて自身がその授業の到達目標にどの程度到達したか、確認するための課題が課されます。

<視聴方法>

シラバスからは視聴できません。各科目担当教員の指示に従ってください。

<中間フォローアップ授業の主な流れ>

- ①主に6～9回目、中間フォローアップ授業を視聴し、課された課題に取り組みます。
 - ②課題提出後、自身の到達状況を確認し、授業後半の学習計画を見直します。
- ※通年授業や半期30回授業等で、学期中に中間フォローアップ授業を2回行う場合があります。
担当教員から、中間フォローアップ授業の回数や時期を聞いて確認してください。

※FU プラスアップ授業の詳細については、『「FU プラスアップ授業」学生用マニュアル』を参照ください。

履修登録上の注意事項

1 履修登録の方法

FU ポータルで履修科目の登録手続きを行います。

インターネット環境があれば、自宅など学外から登録手続きを行えます。

2 準備するもの

履修登録を行うにあたり、次の書類・資料を準備してください。

- ・学修ガイド（特に「履修の手引」「試験時間割」「諸規程」「履修登録の手引」）
 - ・授業時間割
 - ・「学科基本クラス分け一覧表」（新生のみ配付。在学学生は学修ガイド（p. 39～41）に記載）
 - ・その他、各学部が作成した履修登録に関する資料
- ※シラバスは、FU ポータルから参照できます。（シラバスについては、学修ガイド p. 32参照）

3 授業時間割の見方

- ① 曜日・時限別に区分された枠内に、そこで開講される授業の科目名・担当者・開講期別・クラスなどが表示されています。
時間割上で学部・学科あるいはクラスが指定されている授業科目は、それにしたがって履修登録してください。
 - ② 学部記号が○で囲まれている授業科目は、その学部の全学科の学生が登録できることを示しています。
〔例〕①（法学部）……JJ（法律学科）、JB（経営法学科）とも登録可能。
②（スポーツ科学部）……GS（スポーツ科学科）、GH（健康運動科学科）とも登録可能。
 - ③ 学部や学科が指定されている授業科目は、指定の学部や学科の学生のみ登録することができます。
〔例〕③・CC……経済学部全学科および商学部商学科のみ登録可能
 - ④ 前期または後期で完結する4単位の授業科目については、週2回の授業が行われます。
 - ⑤ 履修登録では、自分が登録することができる授業科目のみ表示されます。
- ※授業時間割表は、FU ポータルから参照できます。

4 クラス表示

授業時間のクラス表示については、下表に従い履修登録してください。

対象者	英 語	英語以外の科目	備 考
1年次生(24台) 2024年度入学生	FEとIE(注1)は事前に登録していますので、p. 61 4 外国語科目「1 外国語科目の履修登録について」の「●英語の履修登録について」を参照の上クラスを確認してください。 (再履修者は除く)	「学科基本クラス分け一覧表」で該当する学科基本クラスをもとに登録してください。	「学科基本クラス分け一覧表」は履修登録関係書類として配布します。
2年次生(23台) 2023年度入学生		「学科基本クラス分け一覧」(p. 39～41参照)で該当する学科基本クラスをもとに登録してください。	—
3年次生(22台) 2022年度入学生			
4年次生(21台以前) 2021年度入学生	—		

(注1) FE……フレッシュマン・イングリッシュ
IE……インターミディエイト・イングリッシュ

※東アジア地域言語学科のFEⅢ・ⅣとIEⅢ・Ⅳについては事前登録されていないので、履修する場合は各自で履修登録してください。

☺ 「フレッシュマン・イングリッシュ」「インターミディエイト・イングリッシュ」の再履修については、4 外国語科目「2 英語の履修について」の「●再履修について (FE・IE)」(p. 63～)を参照してください。

〔クラス表示の例〕

	ク ラ ス 名 称		
英 語 ク ラ ス	<u>J</u> (学部)	<u>ESP—1</u> (クラス)	「英語」の登録用クラス
学 科 基 本 ク ラ ス	<u>J J</u> (学部・学科)	<u>5</u> (クラス)	「英語」以外の履修登録用クラス ※学科基本クラス分け一覧表参照

5 授業の重複

開講する期別・曜日・時限が同じ授業科目については、ひとつの授業科目しか登録することができません。通年で開講する授業科目と前期または後期のみ開講する授業科目についても、曜日・時限が同一であれば、どちらかの授業科目しか登録できません。

6 試験の重複

履修登録しようとする授業科目が定期試験の同じ期日・時限で重複しないよう、試験時間割 (p. 27～28) をよく見て登録してください。授業科目の開講曜日・時限が異なっても試験が重複している科目はいずれか1つしか登録できません。

7 履修登録上の注意

- ① 履修登録を行う日程は学部・学科・学籍年台により異なります。
詳しくは巻末の「履修登録の手引き」p. 2を参照してください。
- ② 履修登録の日時や期限は厳守してください。後述する「後期開講科目の登録変更」および「履修登録の撤回」の場合を除き、期限経過後は変更できません。
- ③ 履修登録の方法については、学修ガイド「履修登録の手引」に詳しく記載されていますので、あらかじめよく読んで操作方法を理解しておいてください。
- ④ 登録が正しく行われていない場合、卒業や進級ができなくなる場合も考えられます。必ず「**授業科目確認表**」を印刷して、登録した内容に間違いがないか確認してください。
- ⑤ 集中講義で開講される科目や商学部第二部で受講する教職課程科目等も履修登録が必要です。
- ⑥ 教職課程科目・博物館学芸員課程科目・社会教育主事課程科目を登録する場合は、学部の授業科目と重複しないよう授業時間割および定期試験時間割上で確認してください。

☺ 『履修登録の手引』の中にある「履修登録用紙 (下書き用)」および「Web プロフィール (下書き用)」について必ず事前に記入して履修登録を行ってください。シラバスを事前に参照することも可能です。

8 履修登録の流れ

年度始めに皆さんが行う履修登録作業は概ね次のとおりです。学部によっては、この他にも必要なことがありますので、学修ガイドや配付物、掲示物等を確認してください。

☞ 事前に確認すること

<p>1. 1年間に登録できる単位数の上限 ○学部、学科、年次などにより、1年間に登録できる単位数が異なります。 ○ただし、教職課程等の課程科目を登録するときの単位数は、上限の単位数に含みません。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「学科履修規程」 (p. 294～341参照)</p>
<p>2. 卒業（進級）要件単位数 ○学部、学科、年次などにより、卒業に必要な単位数が異なります。また、理系学部では上位年次への進級に必要な単位数が決められている場合があります。 ○卒業（進級）要件単位数を考慮して履修計画を立ててください。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「学科履修規程」 (p. 188～293参照)</p>
<p>3. クラス ○クラス指定がある授業科目は、自分のクラスで登録を行う必要があります。あらかじめ自分のクラスを確認してください。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「学科基本クラス分け一覧」 (p. 39～41参照)</p>



☞ 登録科目の選択

<p>4. 登録することができる科目 ○「年次別授業科目表」を開き、自分が登録することができる科目を把握してください。2年次生以上の場合、既に単位を修得した科目は登録できません。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「学科履修規程（年次別授業科目表）」 (p. 188～293参照)</p>
<p>5. 上位年次に開講される授業科目は登録できない ○例えば、1年次生は1年次設置科目のみ、2年次生は1・2年次に開講される科目が登録できます。</p>	
<p>6. 必修科目、選択必修科目を優先して登録 ○総合教養科目はできるだけ下位年次で履修するようにしてください。</p>	
<p>7. シラバスを参考に ○シラバスには、各授業科目の概要や評価基準および方法、授業計画等が掲載されています。また、スタートアップ授業を実施する科目については、授業動画を視聴することもできます。よく読んで、登録する科目を決めてください。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「シラバス」 (p. 32参照)</p>
<p>8. 定期試験の時間割が重複していないか ○受講が可能であっても、試験日時が重複していれば登録できません。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「試験時間割」 (p. 27～28参照)</p>
<p>9. 登録制限科目を登録する場合 ○科目によっては登録人数を制限するものがあります。「履修の手引」などの指示に従って事前に登録手続きを行ってください。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「履修の手引」 (p. 45～55、p. 93～95)</p>
<p>10. 授業時間割への記入 ○登録しようとする授業科目にマーカーなどで印を付けてください。</p>	



<p>11. 下書き用紙への記入 ○学修ガイド「履修登録の手引」に入っている「履修登録用紙（下書き用）」に登録する授業科目を記入してください。 ○また、同じく「Webプロフィール（下書き用）」に必要な事項を記入してください。（履修登録の際、同時に入力します。） ※履修登録を効率的に行うために、必ず下書きした用紙を履修登録当日に参照しながら履修登録を行ってください。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「履修登録の手引」</p>
---	---------------------------------------



履修登録

<p>12. 履修登録 ○履修登録の操作方法等は学修ガイド「履修登録の手引」に詳しく記載されていますので、あらかじめよく読んで操作方法を理解しておいてください。 ○登録作業が済んだら、必ず「授業科目確認表」を印刷して、登録した内容に間違いがないか確認してください。</p>	<p>学修ガイド 「履修登録の手引」</p>
<p>13. 履修登録の日程 ○履修登録を行う日程等は学部・学科・学籍年台により異なります。 ○履修登録の日時や期限は厳守してください。「後期開講科目の登録変更」および「履修登録の撤回」の場合を除き、期限経過後は変更できません。</p>	<p>学修ガイド 「履修登録の手引」 「履修登録等の日程」 (p. 42～43参照)</p>



前期授業の開始

<p>14. 授業教室割の通知 ○開講日までにFUポータル「時間割表(教室割)照会」で、授業教室をお知らせしますので、あらかじめ確認して登学してください。 ○理・工・医・薬・スポーツ科学部で開講する科目については、掲示等で教室をお知らせする場合があります。</p>
<p>15. FUプラスアップ授業の視聴 ○各科目のシラバス内の「授業計画」で「FUプラスアップ授業」の種類を確認してください。 ○「スタートアップ授業」の場合、第1週の授業までにシラバス内の「スタートアップ授業」に記載されたURLから授業動画を視聴してください。 ※後期開講科目については、8月下旬～後期第1回授業までに授業動画を視聴してください。 ○「中間フォローアップ授業」の場合、授業期間中に教員の指示に従い、授業動画を視聴してください。</p>

9 前期成績発表と後期開講科目の登録変更

1年間に履修する科目については、あらかじめ前期授業開始前に通年、前・後期完結科目を全て登録しますが、後期の科目については、前期の成績を確認して、既に登録している履修科目を変更(削除・追加)することができます。前期成績発表および後期開講科目の登録変更日程については、p. 42～43「履修登録等の日程」を参照してください。

●注意

通年開講科目については登録を変更することができません。また、必修科目や登録制限科目など各学部の教授会等が指定した科目および共通教育科目の一部については、登録変更をすることができない場合があります。

なお、変更にあたっては、1年間あるいは前期・後期に履修することができる単位数(登録上限単位)の範囲内であることが必要です。

10 履修登録の撤回

「履修登録した授業の内容が想定したものと違っていた」「このまま履修を続けるより他の科目に集中して取り組みたい」などと判断した場合、その学期の開講から3週間以内に申し出れば、前後期それぞれ2科目以内かつ8単位以内に限り履修登録を撤回(削除)できます。撤回した科目の単位数は当該年度の履修登録単位数から除外されます。ただし、撤回した科目の代わりに他の科目を追加登録することはできません。

むやみに撤回すると卒業や進級に必要な単位数が不足する可能性もあるため、慎重な対応が必要です。

なお、必修科目や登録制限科目など各学部の教授会等が指定した科目および共通教育科目の一部については、撤回することができない場合があります。また、後期については、通年開講科目を撤回することはできません。さらに後期開講の集中講義科目のうち、夏季休業中に開講されるものは、前期の撤回期間中のみ撤回することができます。(夏季休業中に開講される後期集中講義科目は、講義開始後に撤回することはできません。)

履修登録撤回の手続き・日程等については p. 42～43「履修登録等の日程」を参照してください。

11 学科基本クラス分け一覧

2023年度入学生 (23台)

学部学科	クラス	学籍番号
L C	1	L C 230001～L C 230050
	2	L C 230051～L C 230100
L H	1	L H 230301～L H 230335
	2	L H 230336～L H 230370
L J	1	L J 230501～L J 230536
	2	L J 230537～L J 230571
L P	1	L P 231501～L P 231562
	2	L P 231563～L P 231623
L E	1	L E 230701～L E 230746
	2	L E 230747～L E 230791
L G	1	L G 全員
L F	1	L F 全員
L A	1	L A 231301～L A 231332
	2	L A 231333～L A 231364
J J	1	J J 230001～J J 230044
	2	J J 230045～J J 230088
	3	J J 230089～J J 230132
	4	J J 230133～J J 230175
	5	J J 230176～J J 230218
	6	J J 230219～J J 230261
	7	J J 230262～J J 230304
	8	J J 230305～J J 230347
	9	J J 230348～J J 230390
	10	J J 230391～J J 230433
J B	1	J B 232001～J B 232044
	2	J B 232045～J B 232088
	3	J B 232089～J B 232132
	4	J B 232133～J B 232175
	5	J B 232176～J B 232218
E E	1	E E 230001～E E 230040
	2	E E 230041～E E 230080
	3	E E 230081～E E 230120
	4	E E 230121～E E 230160
	5	E E 230161～E E 230200
	6	E E 230201～E E 230240
	7	E E 230241～E E 230280
	8	E E 230281～E E 230320
	9	E E 230321～E E 230360
	10	E E 230361～E E 230400
	11	E E 230401～E E 230440
	12	E E 230441～E E 230479
E I	1	E I 232001～E I 232052
	2	E I 232053～E I 232104
	3	E I 232105～E I 232156
	4	E I 232157～E I 232207
C C	1	C C 230001～C C 230044
	2	C C 230045～C C 230087
	3	C C 230088～C C 230130
	4	C C 230131～C C 230173
	5	C C 230174～C C 230216
	6	C C 230217～C C 230259

※2024年度入学生 (24台) については履修登録関係書類として配付します。

学部学科	クラス	学籍番号
C B	1	C B 231001～C B 231041
	2	C B 231042～C B 231082
	3	C B 231083～C B 231123
	4	C B 231124～C B 231164
	5	C B 231165～C B 231205
	6	C B 231206～C B 231245
C F	1	C F 232001～C F 232045
	2	C F 232046～C F 232090
	3	C F 232091～C F 232135
	4	C F 232136～C F 232179
B B	1	B B 230001～B B 230027
	2	B B 230028～B B 230053
	3	B B 230054～B B 230079
	4	B B 230080～B B 230105
	5	B B 230106～B B 230131
	6	B B 230132～B B 230157
S M	1	S M 230001～S M 230033
	2	S M 230034～S M 230047 S M 231001～S M 231019
S P	1	S P 230201～S P 230226
	2	S P 230227～S P 230247 S P 231201～S P 231205
S C	1	S C 230401～S C 230433
	2	S C 230434～S C 230458
		S C 231401～S C 231407
S E	1	S E 230601～S E 230637
	2	S E 230638～S E 230674
T M	1	T M 230001～T M 230056
	2	T M 230057～T M 230112
T E	1	T E 230301～T E 230359
	2	T E 230360～T E 230417
T L	1	T L 231201～T L 231238
	2	T L 231239～T L 231275
	3	T L 231276～T L 231312
	4	T L 231313～T L 231349
T K	1	T K 231501～T K 231550
	2	T K 231551～T K 231599
T C	1	T C 230601～T C 230657
	2	T C 230658～T C 230714
T A	1	T A 230901～T A 230955
	2	T A 230956～T A 231009
M M	1	M M 230001～M M 230055
	2	M M 230056～M M 230110
M N	1	M N 232001～M N 232055
	2	M N 232056～M N 232110
P P	1	P P 230001～P P 230041
	2	P P 230042～P P 230082
	3	P P 230083～P P 230123
	4	P P 230124～P P 230164
	5	P P 230165～P P 230205
	6	P P 230206～P P 230245
G S	1	G S 230001～G S 230039
	2	G S 230040～G S 230078
	3	G S 230079～G S 230117
	4	G S 230118～G S 230156
	5	G S 230157～G S 230194
	6	G S 230195～G S 230232
G H	1	G H 230301～G H 230338
	2	G H 230339～G H 230375

2022年度入学生 (22台)

学部学科	クラス	学籍番号
L C	1	L C 220001～L C 220050
	2	L C 220051～L C 220103
L H	1	L H 220301～L H 220335
	2	L H 220336～L H 220371
L J	1	L J 220501～L J 220536
	2	L J 220537～L J 220572
L P	1	L P 221501～L P 221555
	2	L P 221556～L P 221610
L E	1	L E 220701～L E 220746
	2	L E 220747～L E 220791
L G	1	L G 220901～L G 220951
L F	1	L F 221101～L F 221148
L A	1	L A 221301～L A 221335
	2	L A 221336～L A 221370
J J	1	J J 220001～J J 220043
	2	J J 220044～J J 220086
	3	J J 220087～J J 220129
	4	J J 220130～J J 220172
	5	J J 220173～J J 220215
	6	J J 220216～J J 220258
	7	J J 220259～J J 220301
	8	J J 220302～J J 220344
	9	J J 220345～J J 220387
	10	J J 220388～J J 220429
J B	1	J B 222001～J B 222041
	2	J B 222042～J B 222081
	3	J B 222082～J B 222121
	4	J B 222122～J B 222161
	5	J B 222162～J B 222201
E E	1	E E 220001～E E 220039
	2	E E 220040～E E 220078
	3	E E 220079～E E 220117
	4	E E 220118～E E 220155
	5	E E 220156～E E 220193
	6	E E 220194～E E 220231
	7	E E 220232～E E 220269
	8	E E 220270～E E 220307
	9	E E 220308～E E 220345
	10	E E 220346～E E 220383
	11	E E 220384～E E 220421
	12	E E 220422～E E 220460
E I	1	E I 222001～E I 222051
	2	E I 222052～E I 222102
	3	E I 222103～E I 222153
	4	E I 222154～E I 222207
C C	1	C C 220001～C C 220042
	2	C C 220043～C C 220084
	3	C C 220085～C C 220126
	4	C C 220127～C C 220168
	5	C C 220169～C C 220209
	6	C C 220210～C C 220252

学部学科	クラス	学籍番号
C B	1	C B 221001～C B 221042
	2	C B 221043～C B 221084
	3	C B 221085～C B 221126
	4	C B 221127～C B 221168
	5	C B 221169～C B 221210
	6	C B 221211～C B 221254
C F	1	C F 222001～C F 222047
	2	C F 222048～C F 222093
	3	C F 222094～C F 222139
	4	C F 222140～C F 222186
B B	1	B B 220001～B B 220028
	2	B B 220029～B B 220055
	3	B B 220056～B B 220082
	4	B B 220083～B B 220109
	5	B B 220110～B B 220136
	6	B B 220137～B B 220165
S M	1	S M 220001～S M 220033
	2	S M 220034～S M 220048 S M 221001～S M 221020
S P	1	S P 220201～S P 220228
	2	S P 220229～S P 220247 S P 221201～S P 221209
S C	1	S C 220401～S C 220433
	2	S C 220434～S C 220455 S C 221401～S C 221410
S E	1	S E 220601～S E 220631
	2	S E 220632～S E 220661
T M	1	T M 220001～T M 220055
	2	T M 220056～T M 220111
T E	1	T E 220301～T E 220353
	2	T E 220354～T E 220406
T L	1	T L 221201～T L 221238
	2	T L 221239～T L 221276
	3	T L 221277～T L 221314
	4	T L 221315～T L 221353
T K	1	T K 221501～T K 221552
	2	T K 221553～T K 221604
T C	1	T C 220601～T C 220649
	2	T C 220650～T C 220698
T A	1	T A 220901～T A 220959
	2	T A 220960～T A 221020
M M	1	M M 220001～M M 220055
	2	M M 220056～M M 220110
M N	1	M N 222001～M N 222053
	2	M N 222054～M N 222105
P P	1	P P 220001～P P 220040
	2	P P 220041～P P 220079
	3	P P 220080～P P 220118
	4	P P 220119～P P 220157
	5	P P 220158～P P 220196
	6	P P 220197～P P 220235
G S	1	G S 220001～G S 220038
	2	G S 220039～G S 220076
	3	G S 220077～G S 220114
	4	G S 220115～G S 220151
	5	G S 220152～G S 220188
	6	G S 220189～G S 220225
G H	1	G H 220301～G H 220337
	2	G H 220338～G H 220375

2021年度入学生 (21台)

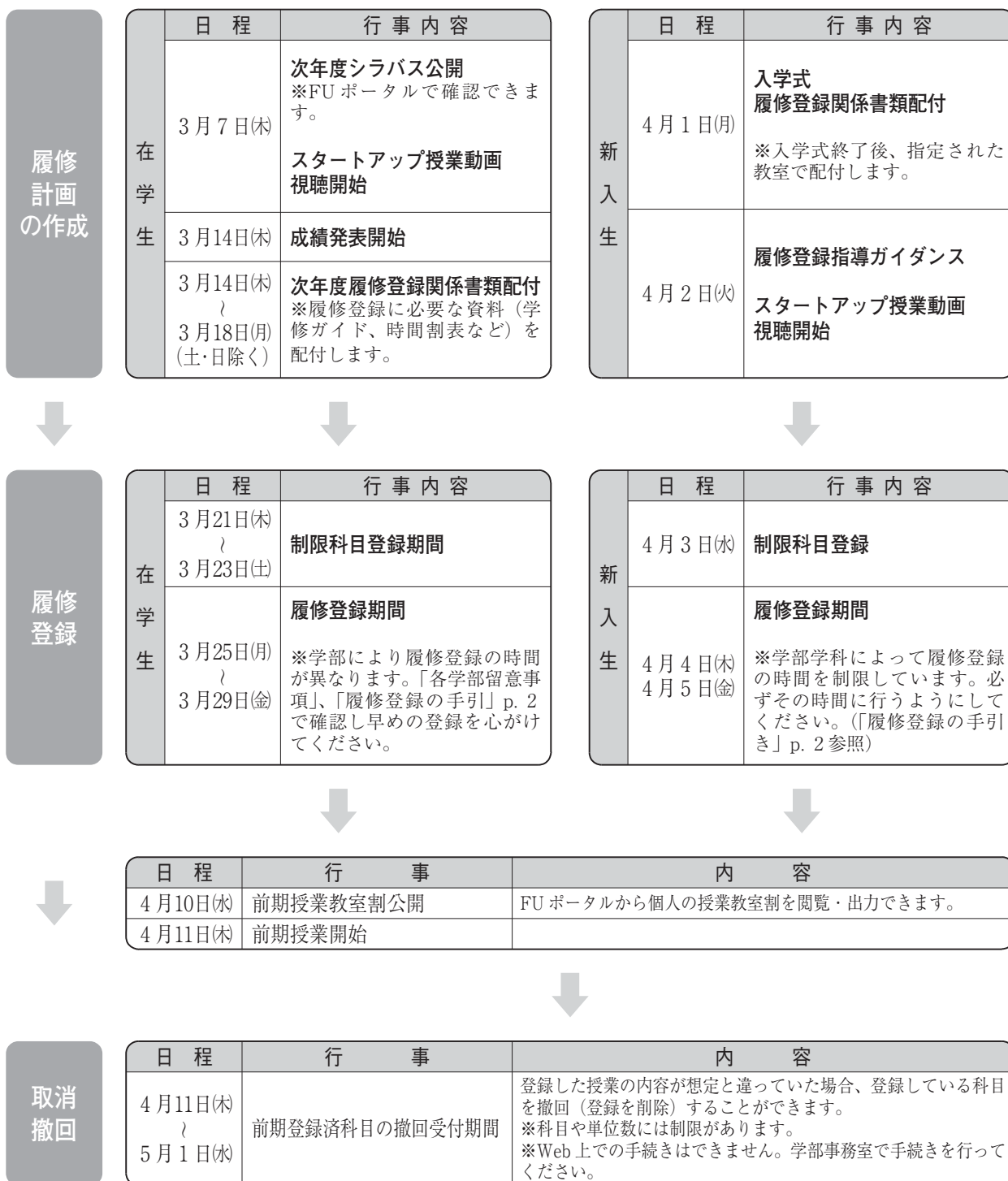
学部学科	クラス	学籍番号
L C	1	L C 210001～L C 210049
	2	L C 210050～L C 210098
L H	1	L H 210301～L H 210333
	2	L H 210334～L H 210368
L J	1	L J 210501～L J 210535
	2	L J 210536～L J 210569
L P	1	L P 211501～L P 211567
	2	L P 211568～L P 211633
L E	1	L E 210701～L E 210744
	2	L E 210745～L E 210789
L G	1	L G 210901～L G 210948
L F	1	L F 211101～L F 211149
L A	1	L A 211301～L A 211331
	2	L A 211332～L A 211364
J J	1	J J 210001～J J 210041
	2	J J 210042～J J 210082
	3	J J 210083～J J 210123
	4	J J 210124～J J 210164
	5	J J 210165～J J 210205
	6	J J 210206～J J 210246
	7	J J 210247～J J 210287
	8	J J 210288～J J 210328
	9	J J 210329～J J 210368
	10	J J 210369～J J 210410
J B	1	J B 212001～J B 212039
	2	J B 212040～J B 212077
	3	J B 212078～J B 212115
	4	J B 212116～J B 212153
	5	J B 212154～J B 212191
E E	1	E E 210001～E E 210038
	2	E E 210039～E E 210076
	3	E E 210077～E E 210114
	4	E E 210115～E E 210152
	5	E E 210153～E E 210190
	6	E E 210191～E E 210227
	7	E E 210228～E E 210264
	8	E E 210265～E E 210301
	9	E E 210302～E E 210338
	10	E E 210339～E E 210375
	11	E E 210376～E E 210412
	12	E E 210413～E E 210450
E I	1	E I 212001～E I 212049
	2	E I 212050～E I 212098
	3	E I 212099～E I 212147
	4	E I 212148～E I 212203
C C	1	C C 210001～C C 210039
	2	C C 210040～C C 210078
	3	C C 210079～C C 210117
	4	C C 210118～C C 210156
	5	C C 210157～C C 210195
	6	C C 210196～C C 210242

学部学科	クラス	学籍番号
C B	1	C B 211001～C B 211039
	2	C B 211040～C B 211078
	3	C B 211079～C B 211117
	4	C B 211118～C B 211156
	5	C B 211157～C B 211194
	6	C B 211195～C B 211234
C F	1	C F 212001～C F 212047
	2	C F 212048～C F 212094
	3	C F 212095～C F 212140
	4	C F 212141～C F 212186
B B	1	B B 210001～B B 210027
	2	B B 210028～B B 210053
	3	B B 210054～B B 210079
	4	B B 210080～B B 210105
	5	B B 210106～B B 210131
	6	B B 210132～B B 210160
S M	1	S M 210001～S M 210033
	2	S M 210034～S M 210049 S M 211001～S M 211017
S P	1	S P 210201～S P 210226
	2	S P 210227～S P 210244 S P 211201～S P 211208
S C	1	S C 210401～S C 210430
	2	S C 210431～S C 210454 S C 211401～S C 211406
S E	1	S E 210601～S E 210629
	2	S E 210630～S E 210657
T M	1	T M 210001～T M 210057
	2	T M 210058～T M 210114
T E	1	T E 210301～T E 210355
	2	T E 210356～T E 210409
T L	1	T L 211201～T L 211237
	2	T L 211238～T L 211274
	3	T L 211275～T L 211310
	4	T L 211311～T L 211346
T K	1	T K 211501～T K 211548
	2	T K 211549～T K 211596
T C	1	T C 210601～T C 210662
	2	T C 210663～T C 210724
T A	1	T A 210901～T A 210953
	2	T A 210954～T A 211007
M M	1	M M 210001～M M 210055
	2	M M 210056～M M 210110
M N	1	M N 212001～M N 212053
	2	M N 212054～M N 212106
P P	1	P P 210001～P P 210038
	2	P P 210039～P P 210076
	3	P P 210077～P P 210114
	4	P P 210115～P P 210152
	5	P P 210153～P P 210189
	6	P P 210190～P P 210226
G S	1	G S 210001～G S 210040
	2	G S 210041～G S 210080
	3	G S 210081～G S 210119
	4	G S 210120～G S 210158
	5	G S 210159～G S 210197
	6	G S 210198～G S 210236
G H	1	G H 210301～G H 210337
	2	G H 210338～G H 210373

履修登録等の日程

シラバスや履修登録関係書類で事前に履修計画を立てられます。また、巻末の『履修登録の手引(p. 3)』の「履修登録用紙(下書き用)」を事前に記入し、履修登録に臨んでください。

1 履修登録スケジュール



前期 成績 発表	日 程	行 事	内 容
	9月2日(月))	前期成績発表開始	FUポータルにて各自参照 ※成績評価に疑問がある場合には、学部事務室を窓口として、科目担当者に問合せることができる制度を設けています。なお、受付期間は、成績発表から3日間となっています。詳細については、FUポータル等よりお知らせします。
後期開 講科目 の登録 変更	日 程	行 事	内 容
	9月4日(水)12時) 9月6日(金)16時	後期開講科目の登録変更	FUポータルのカテゴリ「授業関連」にある「Web履修登録」にて申請。
	日 程	行 事	内 容
	9月13日(金) 9月16日(月)	後期授業教室割公開 後期授業開始	FUポータルから個人の授業教室割を閲覧・出力できます。
取消 撤回	日 程	行 事	内 容
	9月16日(月)) 10月7日(月)	後期登録済科目の撤回受付期間	登録した授業の内容が想定と違っていた場合、登録している科目を撤回（登録を削除）することができます。 ※科目や単位数には制限があります。 ※Web上での手続きはできません。学部事務室で手続きを行ってください。

全学部共通留意事項

学部別、分野毎に、設置科目および開講科目が決められています。

設置科目とは、学則の教育課程に設置している科目であり、開講科目とは、その年度に開講される科目のことです。学部によっては、年度により開講しない科目がありますので、学修ガイドを参照し、学科履修規程を正しく理解し、履修していく必要があります。

1 共通教育科目の履修登録の撤回および後期開講科目の登録変更について

総合教養科目・外国語科目・保健体育科目における履修登録の撤回と後期開講科目の登録変更は、下表のように取り扱います。「○」印は可能、「×」印は不可を示しています。

	授業科目の区分、学部、年次、科目名等		登録撤回 (p. 38参照)		登録変更 (p. 38参照)	
			前期	後期	追加	削除
総合教養科目	登録制限科目 (注1参照)	登録制限科目①	○	○	×	○
		登録制限科目②(注2参照)	×	×	○	×
	学修基盤科目	データサイエンス・AI入門	×	×	×	×
	それ以外の科目(注3参照)		○	○	○	○
外国語科目	アドバンスト・イングリッシュⅡ ※所定の登録人数に達しない場合に限る(注4参照)		×	×	○	×
	それ以外の科目 ※学部留学生対象の日本語を含む		×	×	×	×
保健体育科目 (注5参照)	選択科目	生涯スポーツ演習Ⅱ、生涯スポーツ演習Ⅲ、 生涯スポーツ演習Ⅳ、生涯スポーツ論	○	○	○	○
	必修科目 ※商学部第二部 を除く学部	1年次生(24台) 生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ演習Ⅱ	×	×	×	×
		2年次生以上(23台以前) 生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ演習Ⅱ、 生涯スポーツ演習Ⅲ、生涯スポーツ演習Ⅳ、 生涯スポーツ論	×	×	○	○
	必修科目 ※商学部第二部	1年次生(24台) 生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ論	×	×	×	×
2年次生以上(23台以前) 生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ論		×	×	○	○	

(注1) 登録制限科目の種類や対象科目等は、p. 45の「2登録制限科目について」を参照してください。

(注2) 登録制限科目②の科目(p. 49～50の表3、およびp. 51～52の表4を参照)の中で、定員に達していない後期開講科目に限り、登録変更期間に定員の範囲内で「先着順」による追加募集を行います。詳細は登録変更期間前にFUポータルでお知らせします。なお、追加募集で登録が許可された科目も、履修登録の撤回はできません。

(注3) 登録変更期間は登録定員を300人とし、「先着順」による登録制限を行います。前期に登録完了した科目でも、登録エラーの状態のままであれば、エラーを解消するまでの間に当該科目が満員となり登録できなくなることがあります。登録変更時はエラーにならないよう気をつけてください。

(注4) 追加登録を行う場合は、登録変更期間前にFUポータルでお知らせします。

(注5) 保健体育科目は、学科基本クラスや履修年次等によってあらかじめ時間割が指定されており、指定外の時間割は履修登録できません(p. 57の「3保健体育科目について」を参照)。

2 総合教養科目関係

1 授業科目の学部・学科等指定について

総合教養科目には、1クラス当たりの登録者数を適正な規模にするため、履修登録を認める学部・学科・学科基本クラスをあらかじめ指定する授業科目があります。これらの科目は指定以外の学部・学科等の学生は登録できませんので注意してください。履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。

2 登録制限科目について

総合教養科目には、あらかじめ登録者数を制限する授業科目（登録制限科目）があります。登録制限科目は制限理由により、以下の2種類に分かれます。履修希望者は各科目の注意事項および要領等に従い、「履修登録の手引」p.12～13を参照のうえ、申し込んでください。

登録制限科目①…登録者数が多数になることが予想されるため登録者数を制限する科目
登録制限科目②…ゼミナール形式やオムニバス形式など授業形態に合わせて登録者数を制限する科目

2-1 登録制限科目①（登録者数が多数になることが予想されるため登録者数を制限する科目）

対象学生の年次により、登録者の選考方法が異なります。

【対象学生：2年次生以上】

2年次生以上は「抽選」で登録者を決定します。表1（p.46）の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「制限科目を選択」から申し込んでください。履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。

登録エラーの表示（赤色で表示）が出た場合は、科目の選択をやり直し、エラーがない状態にしてください。

結果発表後、履修登録画面上で当否を確認し、抽選に外れた場合はその科目を削除してください。

表1の科目の登録が許可された場合は、登録の取り消しはできません。授業や試験時間割との重複等がないか確認のうえ申請してください。

表1 【対象学生：2年次生以上】登録制限科目①

No.	科目名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員	選考方法	申込期間および結果発表
1	倫理学A	中村 未来	前期	木	2	150	抽選	申込期間 3月21日(木) 14:00~ 3月22日(金) 18:00 結果発表 3月23日(土) 18:00
2	倫理学A	広川 明	前期	火	3	150		
3	倫理学A	広川 明	前期	火	4	150		
4	倫理学B	中村 未来	後期	木	2	150		
5	倫理学B	広川 明	後期	月	4	150		
6	宗教学A	岸根 敏幸	前期	月	2	150		
7	宗教学A	岸根 敏幸	前期	月	3	150		
8	宗教学A	岸根 敏幸	前期	水	2	150		
9	宗教学A	岸根 敏幸	前期	水	3	150		
10	宗教学A	東谷 孝一	前期	金	3	150		
11	宗教学A	東谷 孝一	前期	金	4	150		
12	宗教学B	岸根 敏幸	後期	月	2	150		
13	宗教学B	東谷 孝一	後期	金	3	150		
14	宗教学B	東谷 孝一	後期	金	4	150		
15	日本史A	松木 俊暁	前期	水	4	150	抽選	申込期間 3月21日(木) 15:00~ 3月22日(金) 18:00 結果発表 3月23日(土) 18:00
16	東洋史A	久芳 崇	前期	月	4	150		
17	日本文学B	須藤 圭	後期	金	2	150		
18	芸術A	浦上 雅司	前期	火	2	150		
19	芸術A	落合 桃子	前期	木	4	150		
20	芸術A	川浪 千鶴	前期	金	4	150		
21	芸術B	浦上 雅司	後期	火	2	150		
22	芸術B	落合 桃子	後期	木	4	150		
23	日本国憲法	守谷 賢輔	後期	金	2	150		
24	日本国憲法	守谷 賢輔	前期	金	2	150		
25	政治学A	東原 正明	前期	木	3	150	抽選	申込期間 3月21日(木) 16:00~ 3月22日(金) 18:00 結果発表 3月23日(土) 18:00
26	経済学A	主計 浩	前期	水	3	150		
27	社会学A	井手 靖子	前期	木	2	150		
28	社会学A	高岡 弘幸	前期	月	3	150		
29	社会学A	花野 裕康	前期	金	3	150		
30	社会学B	井手 靖子	後期	木	2	150		
31	社会学B	花野 裕康	後期	金	3	150		
32	地理学A	藤村 健一	前期	木	4	150		
33	心理学A	佐藤 基治	前期	月	4	150		
34	心理学A	古川 善也	前期	水	3	150		
35	心理学A	古川 善也	前期	木	4	150		
36	地球圏科学入門	上原誠一郎	前期	月	2	150	抽選	申込期間 3月21日(木) 17:00~ 3月22日(金) 18:00 結果発表 3月23日(土) 18:00
37	地球圏科学入門	赤木 右	前期	金	2	150		
38	新しい地球観	上原誠一郎	後期	月	2	150		
39	新しい地球観	田上 響	後期	火	2	150		
40	ミクロの生物科学	中川 裕之	前期	木	1	150		
41	ミクロの生物科学	中川 緑	前期	火	2	150		
42	マクロの生物科学	中川 緑	後期	火	1	150		
43	マクロの生物科学	中川 緑	後期	火	2	150		
44	自然科学入門	林 辰弥	前期	月	2	150		
45	自然科学入門	西園 幸久	前期	火	4	150		
46	自然科学入門	中川 緑	前期	木	3	150		
47	自然科学と人間	中川 緑	後期	木	3	150		

【対象学生：1年次生】

1年次生は「先着順」で登録者を決定します。表2（下記および次ページ）の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「制限科目を選択」から登録してください。履修登録画面には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。なお、2年次生以上が登録定員に達しなかった科目は、不足分を1年次生の登録定員に追加して受け付けます。

登録エラーの表示（赤色で表示）が出なければ登録は完了です。登録エラーの表示が出た場合は、科目の選択をやり直し、エラーがない状態にしてください。

表2の科目の登録が許可された場合は、登録の取り消しはできません。授業や試験時間割との重複等がないか確認のうえ申請してください。

表2 【対象学生：1年次生】登録制限科目①

No.	科目名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員	選考方法	申込期間および結果発表
1	倫理学A	中村 未来	前期	木	2	150	先着順	4月3月（水）12：00～23：59
2	倫理学A	広川 明	前期	火	3	150		
3	倫理学A	広川 明	前期	火	4	150		
4	倫理学B	中村 未来	後期	木	2	150		
5	倫理学B	広川 明	後期	月	4	150		
6	宗教学A	岸根 敏幸	前期	月	2	150		
7	宗教学A	岸根 敏幸	前期	月	3	150		
8	宗教学A	岸根 敏幸	前期	水	2	150		
9	宗教学A	岸根 敏幸	前期	水	3	150		
10	宗教学A	東谷 孝一	前期	金	3	150		
11	宗教学A	東谷 孝一	前期	金	4	150		
12	宗教学B	岸根 敏幸	後期	月	2	150		
13	宗教学B	東谷 孝一	後期	金	3	150		
14	宗教学B	東谷 孝一	後期	金	4	150		
15	日本史A	松木 俊暁	前期	水	4	150	先着順	4月3月（水）12：30～23：59
16	東洋史A	久芳 崇	前期	月	4	150		
17	日本文学B	須藤 圭	後期	金	2	150		
18	芸術A	浦上 雅司	前期	火	2	150		
19	芸術A	落合 桃子	前期	木	4	150		
20	芸術A	川浪 千鶴	前期	金	4	150		
21	芸術B	浦上 雅司	後期	火	2	150		
22	芸術B	落合 桃子	後期	木	4	150		
23	日本国憲法	守谷 賢輔	後期	金	2	150		
24	日本国憲法	守谷 賢輔	前期	金	2	150		
25	政治学A	東原 正明	前期	木	3	150	先着順	4月3月（水）13：00～23：59
26	経済学A	主計 浩	前期	水	3	150		
27	社会学A	井手 靖子	前期	木	2	150		
28	社会学A	高岡 弘幸	前期	月	3	150		
29	社会学A	花野 裕康	前期	金	3	150		
30	社会学B	井手 靖子	後期	木	2	150		
31	社会学B	花野 裕康	後期	金	3	150		
32	地理学A	藤村 健一	前期	木	4	150		
33	心理学A	佐藤 基治	前期	月	4	150		
34	心理学A	古川 善也	前期	水	3	150		
35	心理学A	古川 善也	前期	木	4	150		

次のページへ続く

表2 【対象学生：1年次生】登録制限科目①

No.	科目名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員	選考方法	登録受付日時
36	地球圏科学入門	上原誠一郎	前期	月	2	150	先着順	4月3月(水) 13:30~23:59
37	地球圏科学入門	赤木 右	前期	金	2	150		
38	新しい地球観	上原誠一郎	後期	月	2	150		
39	新しい地球観	田上 響	後期	火	2	150		
40	ミクロの生物科学	中川 裕之	前期	木	1	150		
41	ミクロの生物科学	中川 緑	前期	火	2	150		
42	マクロの生物科学	中川 緑	後期	火	1	150		
43	マクロの生物科学	中川 緑	後期	火	2	150		
44	自然科学入門	林 辰弥	前期	月	2	150		
45	自然科学入門	西園 幸久	前期	火	4	150		
46	自然科学入門	中川 緑	前期	木	3	150		
47	自然科学と人間	中川 緑	後期	木	3	150		

2 - 2 登録制限科目②

(ゼミナール形式やオムニバス形式など授業形態に合わせて登録者数を制限する科目)

対象科目の種類や対象学生の年次により登録者の選考方法が異なりますので注意してください。履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。登録エラーの表示が出た場合は、科目の選択をやり直しエラーがない状態にしてください。

【対象科目：教養ゼミを除く科目】

「先着順」で登録者を決定します。表3の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「制限科目を選択」から登録してください。登録エラーの表示（赤色で表示）が出なければ登録は完了です。

●表3の科目に関する注意事項

- ①「登録定員」欄に示した人数は2年次生以上と1年次生の合計定員です。
- ②表3の科目の登録が許可された場合は、登録の取消しはできません。また、履修登録の撤回、後期登録変更時の削除もできませんので、授業や試験時間割との重複等がないか確認のうえ申請してください。

表3 授業形態に合わせて登録者数を制限する科目（教養ゼミの科目を除く）

No.	科目名	担当者	開講期別	曜日	時限	登録定員	登録対象年次	選考方法および登録受付日時
1	哲学A	大西 克智	前期	木	2	80	全学年	<p>●【2年次生以上】 先着順 3月21日(木)12:00~ 3月23日(土)23:59</p> <p>●【1年次生】 先着順 4月3日(水) 9:30~23:59</p> <p>●登録定員に達しない場合 4月4日(木)9:00~</p> <p>(1年次生のみを対象に先着順で追加募集を実施)</p>
2	哲学A	大西 克智	前期	木	3	80	全学年	
3	哲学B	大西 克智	後期	木	2	80	全学年	
4	哲学B	大西 克智	後期	木	3	80	全学年	
5	論理学A	林 誓雄	前期	火	4	150	全学年	
6	論理学A	林 誓雄	前期	水	2	150	全学年	
7	論理学A	林 誓雄	前期	金	3	150	全学年	
8	論理学A	林 誓雄	前期	金	2	150	全学年	
9	論理学B	林 誓雄	後期	火	4	150	全学年	
10	論理学B	林 誓雄	後期	水	2	150	全学年	
11	論理学B	林 誓雄	後期	金	3	150	全学年	
12	論理学B	林 誓雄	後期	金	2	150	全学年	
13	宗教学B	飯嶋 秀治	後期	木	1	100	全学年	
14	人文地理学	近藤 祐磨	後期	火	1	200	全学年	
15	アジアの文学A	間 ふさ子	前期	金	1	60	全学年	
16	アジアの文学A	何 憶鶴	前期	水	1	80	全学年	
17	アジアの文学B	何 憶鶴	後期	水	1	80	全学年	
18	経済学A	楊 光洙	前期	火	4	40	全学年	
19	経済学A	楊 光洙	前期	火	5	40	全学年	
20	経済学B	楊 光洙	後期	火	4	40	全学年	
21	経済学B	楊 光洙	後期	火	5	40	全学年	
22	地理学A	近藤 祐磨	前期	金	2	200	全学年	
23	地理学A	近藤 祐磨	前期	金	4	200	全学年	
24	地理学B	近藤 祐磨	後期	金	3	200	全学年	
25	地理学B	近藤 祐磨	後期	金	5	200	全学年	
26	心理学A	大上 渉	前期	火	3	200	全学年	
27	心理学A	大上 渉	前期	火	4	200	全学年	

次のページへ続く

表3 授業形態に合わせて登録者数を制限する科目（教養ゼミの科目を除く）

No.	科目名	担当者	開講期別	曜日	時限	登録定員	登録対象年次	選考方法および登録受付日時
28	心理学 B	大上 渉	後期	火	3	200	全学年	<p>●【2年次生以上】 先着順 3月21日(木)12:00～ 3月23日(土)23:59</p> <p>●【1年次生】 先着順 4月3日(水) 9:30～23:59</p> <p>●登録定員に達しない場合 4月4日(木)9:00～</p> <p>(1年次生のみを対象に先着順で追加募集を実施)</p>
29	心理学 B	大上 渉	後期	火	4	200	全学年	
30	地誌学	近藤 祐磨	前期	月	二部2	200	商二部全学年	
31	福岡大学で考える現代社会	岩山 隆寛	前期	木	5	100	24～23台のみ	
32	福岡大学で考える現代社会	鈴木 学	後期	火	2	24	24～23台のみ	
33	福岡大学で考える現代社会	鈴木 学	後期	火	3	24	24～23台のみ	
34	福岡大学で考える現代社会	須長 一幸	前期	金	2	24	24～23台のみ	
35	福岡大学で考える現代社会	飛田 努	後期	金	2	100	24～23台のみ	
36	福岡大学で考える現代社会	橋場 論	前期	水	5	40	24～23台のみ	
37	福岡大学で考える現代社会	須長 一幸	後期	月	5	40	24～23台のみ	
38	福岡大学で考える現代社会	熊丸 憲男	後期	火	4	12	24～23台のみ(文系)	
39	福岡大学で考える現代社会	熊丸 憲男	後期	火	4	13	24～23台のみ(理系)	
40	福大生のためのキャリアデザイン	植上 一希	前期	火	1	200	24台のみ	
41	福大生のためのキャリアデザイン	植上 一希	前期	火	2	200	24台のみ	
42	アカデミックスキルズゼミ I	紺田 広明	前期	火	5	40	24～23台のみ	
43	アカデミックスキルズゼミ I	道山 治延	前期	木	1	36	24～23台のみ	
44	アカデミックスキルズゼミ II	吉田 秀幸	後期	木	1	48	24～23台のみ	
45	アカデミックスキルズゼミ II	鈴木 学	後期	火	5	50	24～23台のみ	
46	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	前期	火	3	50	24台のみ	
47	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	後期	木	2	50	24台のみ	

【対象科目：教養ゼミの科目】

対象学生：2年次生以上

2年次生以上は「抽選」で登録者を決定します。表4（p.51～52）の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「選択科目を選択」から申し込んでください。

結果発表後、履修登録画面上で当否を確認し、抽選に外れた場合はその科目を削除してください。

対象学生：1年次生

1年次生は「先着順」で登録者を決定します。表4（p.51～52）の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「選択科目を選択」から登録してください。なお、2年次生以上が登録定員に達しなかった科目は、不足分を1年次生の登録定員に追加して受け付けます。

登録エラーの表示（赤色で表示）が出なければ登録は完了です。

●表4の科目に関する注意事項

- ①「教養ゼミ」の科目は前期1科目、後期1科目、前期と後期の合計で2科目までしか登録できません。前期または後期に2科目以上登録しようとする、登録エラーになります。
- ②「登録定員」欄に示した人数は2年次生以上と1年次生の合計定員です。
- ③「教養ゼミ」の科目は定期試験を実施しない授業科目であるため、再試験は実施しません。
- ④表4の科目の登録が許可された場合は、登録の取消しはできません。また、履修登録の撤回、後期登録変更時の削除もできませんので、授業時間割との重複等に十分に注意して申請してください。

表4 「教養ゼミ」の科目

No.	科目名 (サブタイトル)	担当者	開講期別	曜日	時限	登録定員	備考	選考方法および登録受付日時
1	哲学A (哲学入門)	竹花 洋佑	前期	水	2	15		<p>【2年次生以上】 …抽選</p> <p>●申込期間 3月21日(木) 12:00～23:59</p> <p>●結果発表 3月22日(金) 16:00</p> <p>●登録定員に達しない場合 3月25日(月) 12:00～ 先着順で追加募集を実施</p> <p>【1年次生】 …先着順</p> <p>●登録期間 4月3日(水) 9:30～23:59</p> <p>●登録定員に達しない場合 4月4日(木) 12:00～ 先着順で追加募集を実施</p>
2	哲学B (政治哲学入門)	竹花 洋佑	後期	火	4	15		
3	倫理学A (中国古典に見る人間観)	中村 未来	前期	火	4	16		
4	倫理学B (無為自然を説く道家の世界)	中村 未来	後期	水	2	16		
5	宗教学A (生の教説①)	小笠原史樹	前期	金	5	15		
6	宗教学B (生の教説②)	小笠原史樹	後期	金	5	15		
7	日本史A (日本近代史を学び憲法改正問題を考える)	梶原 良則	前期	月	3	15	登録対象: 24台のみ	
8	日本史B (沖縄の歴史を学び基地問題を考える)	梶原 良則	後期	月	3	15	登録対象: 24台のみ	
9	東洋史A (現代中国・アジアについて語る)	山根 直生	前期	木	3	15		
10	東洋史B (現代中国・アジアについて語り、議論する)	山根 直生	後期	木	3	15		
11	西洋史A (疫病の歴史を考える)	渡邊 裕一	前期	火	4	16		
12	西洋史B (「私たち」から見る日米関係史)	森 丈夫	後期	水	2	20		
13	日本文学A (近現代文学の精読と分析)	畑中 佳恵	前期	火	2	20	登録対象: 24台のみ	
14	日本文学B (ミャークフツ入門)	衣畑 智秀	後期	月	3	30		
15	日本文学A (『徒然草』輪読)	大坪 亮介	前期	木	3	20		

次のページへ続く

表4 「教養ゼミ」の科目

No.	科目名 (サブタイトル)	担当者	開講 期別	曜日	時限	登録 定員	備考	選考方法および 登録受付日時
16	日本文学B (日本近現代の短編小説を読む)	永井 太郎	後期	水	4	15		【2年次生以上】 …抽選 ●申込期間 3月21日(木) 12:00~23:59 ●結果発表 3月22日(金) 16:00 ●登録定員に達 しない場合 3月25日(月) 12:00~ 先着順で追加 募集を実施 【1年次生】 …先着順 ●登録期間 4月3日(水) 9:30~23:59 ●登録定員に達 しない場合 4月4日(木) 12:00~ 先着順で追加 募集を実施
17	西洋文学A (Speculative Japan 2)	クロス テイモシー	前期	月	4	16	授業は 英語で実施	
18	西洋文学B (Speculative Japan 3)	クロス テイモシー	後期	月	4	16	授業は 英語で実施	
19	経済学A (社会科学の基礎を学ぶ)	武井 敬亮	前期	金	2	15		
20	経済学B (アダム・スミス『道徳感情論』を読む)	武井 敬亮	後期	金	2	15		
21	教育論A (戦没学生の手記を読もう)	勝山 吉章	前期	木	2	15	登録対象: 24台のみ	
22	地理学A (現実世界の多様性を考えるⅠ)	磯田 則彦	前期	水	3	15		
23	地理学B (現実世界の多様性を考えるⅡ)	磯田 則彦	後期	水	3	15		
24	地理学A (地域の学術的探究Ⅰ)	近藤 祐磨	前期	火	5	15		
25	地理学B (地域の学術的探究Ⅱ)	近藤 祐磨	後期	火	4	15		
26	心理学A (犯罪者プロファイリングとは何か)	大上 渉	前期	水	4	14		
27	心理学B (「パワーハラスメントの理解と対策」)	大上 渉	後期	水	4	14		
28	心理学A (心の仕組みを学ぶ)	縄田 健悟	前期	木	3	15		
29	心理学B (心の働きを学ぶ)	縄田 健悟	後期	木	3	15		
30	文化人類学A (文化人類学の思考を学ぶ)	中村 亮	前期	月	2	15		
31	文化人類学B (身近な文化を調べ考える力を身に付ける)	宮岡真央子	後期	月	3	16		
32	物理科学入門 (ためして物理を理解する)	西 憲敬	前期	月	5	16		
33	生活と環境の化学 (衣食住の実験化学)	松原 公紀	後期	火	3	12		

3 総合系列科目について

総合系列科目は、現代の諸問題を考える科目です。授業はオムニバス（学部や専門分野の異なる複数の教員が授業を担当する）形式で行われます。

履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。

登録制限科目の履修希望者は、p. 45「2 登録制限科目について」の注意事項および要領等に従い申し込んでください。

表 5 - 1 総合系列科目（22台以前）

No.	科目名 (サブタイトル)	担当者	開講 期別	曜日	時限	定期試験 の有・無	留意事項
1	地球環境 (資源循環と地球環境)	山本 俊浩	後期	水	5	有	
2	国際化と日本 (ヨーロッパを知る-その多様性と統一-)	辻部 大介	後期	月	5	有	
3	国際化と日本 (グローバルな平和論)	渡邊 裕一	後期	月	5	有	
4	国際化と日本 (東アジアと福岡)	三島 健司	後期	金	4	有	
5	国際化と日本 (Globalization of Japan)	鈴木 孝将	後期	金	5	有	
6	現代を生きる (災害から自分や家族を守る)	重松 幹二	後期	水	5	有	

表5-2 総合系列科目（23台以降）

科目名：「福岡大学で考える現代社会」

No.	サブタイトル	担当者	開講期別	曜日	時限	定期試験の有・無	留意事項
1	ものづくり体験から学ぶ企画・制作力	熊丸 憲男	後期	火	4	無	登録制限科目②
2	Innovation for a Sustainable Society (サステナビリティのためのイノベーション)	安井 英俊	前期	火	4	無	
3	貨幣の謎 -新型コロナウイルスから解明する	山崎 好裕	後期	火	4	有	
4	皆で考える地球温暖化とカーボンニュートラル	岩山 隆寛	前期	木	5	無	登録制限科目②
5	大学生のための現代社会論	鈴木 学	後期	火	2	無	登録制限科目②
6	大学生のための政治経済論	鈴木 学	後期	火	3	無	登録制限科目②
7	「言葉の力」を身につける	須長 一幸	前期	金	2	無	登録制限科目②
8	多職種連携で支える人生100年時代	安元 佐和	前期	木	5	無	
9	アントレプレナーシップを学ぶ	飛田 努	後期	金	2	有	登録制限科目②
10	資源循環と地球環境	山本 俊浩	後期	水	5	有	
11	グローバルな平和論	渡邊 裕一	後期	月	5	有	
12	ヨーロッパを知る -その多様性と統一-	辻部 大介	後期	月	5	有	
13	東アジアと福岡	三島 健司	後期	金	4	有	
14	Globalization of Japan	鈴木 孝将	後期	金	5	有	
15	災害から自分や家族を守る	重松 幹二	後期	水	5	有	
16	主体性・社会性・協働性を身につける	橋場 論	前期	水	5	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
17	主体性・社会性・協働性を身につける	須長 一幸	後期	月	5	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ

4 学修基盤科目について

学修基盤科目は、学問と向き合うための正しい姿勢や学問的技法、学ぶことの意義を理解するための科目です。なお、履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。

登録制限科目の履修希望者は、p. 45「2 登録制限科目について」の注意事項および要領等に従い申し込んでください。

表 6 学修基盤科目

No.	科目名 (サブタイトル)	担当者	開講 期別	曜日	時限	定期試験 の有・無	留意事項
1	福大生のためのキャリアデザイン (大学生生活を設計する)	植上 一希	前期	火	1	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
2	福大生のためのキャリアデザイン (大学生生活を設計する)	植上 一希	前期	火	2	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
3	アカデミックスキルズゼミ I (読む・書く・話す・聞くことのレッスン)	紺田 広明	前期	火	5	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
4	アカデミックスキルズゼミ I (読む・書く・話す・聞くことのレッスン)	道山 治延	前期	木	1	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
5	アカデミックスキルズゼミ II (思考と発想のレッスン)	鈴木 学	後期	火	5	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
6	アカデミックスキルズゼミ II (思考と発想のレッスン)	吉田 秀幸	後期	木	1	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
7	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	前期	火	3	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
8	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	後期	木	2	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
9	データサイエンス・AI 入門	香野 淳	前期	集中	集中	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
10	データサイエンス・AI 入門 BB	香野 淳	前期	集中	集中	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
11	データサイエンス・AI 入門	香野 淳	後期	集中	集中	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
12	データサイエンス・AI 入門 BB	香野 淳	後期	集中	集中	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ

データサイエンス・AI 入門の詳細については、p. 56「学修基盤科目 データサイエンス・AI 入門について」を参照してください。

5. 履修登録の停止について

総合教養科目では、大学が定める登録者数の上限を超えた科目が発生した場合、履修登録の途中でなくてもその科目の登録受付を停止することがあります。

登録停止となった科目については、FU ポータルのお知らせを確認してください。

学修基盤科目 データサイエンス・AI 入門について

●科目の概要

インターネットやニュースなどでよく見聞きするようになった「AI」とは何か知っていますか。現在、膨大なデータを収集して傾向などを分析し、社会やビジネスの課題解決につなげることを目指すデータサイエンスやAI（Artificial Intelligence：人工知能）の利活用が盛んになっています。これからはAIの時代とも言われ、文系・理系を問わず大学生のうちに、データサイエンス・AIの知識・技術を学び、素養（デジタル社会の読み・書き・そろばん）を身に付けておくことが求められています。

この科目は、データサイエンス・AIについて学び、そのリテラシー（適切に理解し、活用する力）を習得するための入門科目で、全学部の1年次生が履修できる共通教育科目として2022年度から新たに開講されています。e-Learningを活用し、オンデマンド型で学ぶことができるため、都合の良い時間に受講することができます（受講する曜日・時限は決まっておらず、自ら計画を立てて学んでいきます）。

科目の詳細については、シラバスを参照してください。

※文部科学省が推進する認定制度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に適合する内容となっています。

●身に付けることができる能力

- データサイエンス・AIの必要性を理解し、説明できるようになる
- 社会で活用されているデータ・AI活用の事例について説明できるようになる
- どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるようになる
- データを読み、説明できるようになる
- Excelなどの汎用ソフトウェアを用いて典型的なデータを扱えるようになる
- データ・AIを扱う上での留意事項を説明できるようになる
- 数理・データサイエンス・AIについて自ら学び、活かす姿勢を身に付ける

●e-Learningを活用したオンライン学習の科目

本科目は、オンライン上でe-Learningを使って自ら学んでいく科目であり、各自が都合の良い時間に受講することができるオンデマンド型授業です。所定の期間中、講義動画は何度でも視聴できるので、自分のペースで学習を進め、また各回の小テストや課題に取り組むことで理解を深めていきます。

●学びを深めるサポート体制

オンラインまたは教室での対面（もしくはオンラインと対面のハイブリッド）で質問を受け付け、一緒に考える機会を設けます（質問会と称します）。他の受講生からの質問やそれに対する回答を直接聴くことができる場にもなりますので、積極的に参加してください。

●対象学生

全学部1年次生

●開講学期

前期と後期に開講

●履修登録方法

4月4日(木)～4月5日(金)のweb履修登録期間中に、履修登録画面最下部の「集中講義科目等を選択」ボタンから前期または後期いずれかの科目を選択して登録します。

※履修登録の「撤回」、「後期登録変更」はできませんのでご注意ください。

3 保健体育科目について

本学の保健体育科目は、生涯スポーツ演習と生涯スポーツ論より構成されています。前者は実技と理論による演習形式で、後者は講義形式で実施されます。

生涯スポーツ演習は、学生が様々なスポーツ活動の体験・学習を通して、その楽しさを知るとともに、心身の健康を回復・保持・増進し、学生生活を豊かにすることを目的としています。また、学生が生涯にわたるスポーツ活動の必要性を、健康・体力のみならず、生きがいという面からも理解し、その実践に必要な技能・知識・態度を身につけることも目的としています。

生涯スポーツ論は、学生が本学スポーツ科学部編集のテキスト(『大学生のスポーツと健康生活』)によって、健康の増進に寄与する科学的知識を学ぶとともに、スポーツ活動に関わる自然・人文・社会科学的な理解を深めることで、スポーツ活動を生涯にわたって「行う」「観る」「支える」「調べる」ようになることを目的としています。

こうした保健体育科目での学修を通して、学生が在学期間のみならず、生涯にわたって様々なスポーツ活動に親しみ、健康で充実した生活を送れるようになることを目指しています。

1 登録手続等について

スポーツ科学部以外の学部

<p>生涯スポーツ演習Ⅰ (前期または後期) 生涯スポーツ演習Ⅱ (前期または後期)</p>	<p>1年次生(24台)…授業時間は学科基本クラスごとに指定されています。授業時間割で決められた曜日・時限にあらかじめ事前登録していますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください(但し、医学部医学科を除く)。</p> <p>2年次生以上(23台以前)…本人が所属する学部のいずれかのクラスに登録してください。他の必修科目と授業が重複する等の事情により、他学部のクラスの受講を希望する場合は、所属学部の事務部署に申し出てください。</p> <p>ただし、前・後期の火曜日2～4時限、前・後期の金曜日1時限、前・後期の金曜日3時限は再履修者は登録できません。</p> <p>[次ページに掲載しているクラス分け一覧を参照してください。] ※授業の第1週目はオリエンテーションを行いますので、第二記念会堂に集合してください。なお、このときトレーニングウェアは不要です。</p>
<p>生涯スポーツ演習Ⅲ(前期) 生涯スポーツ演習Ⅳ(後期) ※理・薬学部のみ</p>	<p>授業時間割で決められた曜日・時限(理学部:火曜2限、薬学部:金曜4限)に登録してください。</p> <p>※授業の第1週目はオリエンテーションを行いますので、第二記念会堂に集合してください。なお、このときトレーニングウェアは不要です。</p>
<p>生涯スポーツ論 (前期または後期)</p>	<p>2年次生(23台)…授業時間は学科基本クラスごとに指定されています。生涯スポーツ論を必修科目としている人文学部、法学部、経済学部、商学部については、授業時間割で決められた曜日・時限にあらかじめ事前登録していますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください。なお、別科目の受講を優先する等の事情により2年次生での受講を希望しない場合は、所属学部の事務部署に申し出てください。</p> <p>生涯スポーツ論を選択科目としている理学部、医学部看護学科、薬学部については、授業時間割で決められた曜日・時限に登録してください。</p> <p>3年次生以上(22台以前)…本人が所属する学部のいずれかのクラスに登録してください。他の必修科目と授業が重複する等の事情により、他学部のクラスの受講を希望する場合は、所属学部の事務部署に申し出てください。</p> <p>[次ページに掲載しているクラス分け一覧を参照してください。]</p>

スポーツ科学部

生涯スポーツ演習Ⅰ(前期) 生涯スポーツ演習Ⅱ(後期) 生涯スポーツ演習Ⅲ(前期) 生涯スポーツ演習Ⅳ(後期)	授業時間割で決められた曜日・時限にあらかじめ事前登録していますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください。詳しくは授業開始前に掲示にてお知らせします。
--	--

生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱクラス分け一覧

時 限	月		火		水		木		金	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	I : CB 1-4 II : CB 5-6	I : CB 5-6 II : CB 1-4	I : JB 1-3 II : JB 4-5	I : JB 4-5 II : JB 1-3	I : JJ 4-6	II : JJ 4-6	I : JJ 1-3 I : MM(20名) I : 保健コース II : 保健コース	II : JJ 1-3 II : MM(20名) I : 保健コース II : 保健コース	II : EE 1-4	I : EE 1-4
2	I : CF 1-2 II : CF 3-4	I : CF 3-4 II : CF 1-2	II : EE 5-8	I : EE 5-8	I : JJ 7-9 I : MM(30名) II : LG・JJ10	I : LG・JJ10 II : JJ 7-9 II : MM(30名)	I : CC 1-3 II : CC 4-6	I : CC 4-6 II : CC 1-3	I : PP 1-2 II : PP 3-6	I : PP 3-6 II : PP 1-2
3	I : SM・SP II : SC・SE	I : SC・SE II : SM・SP	II : EE 9-12 II : MM(10名)	I : EE 9-12 I : MM(10名)	I : TM II : TE	I : TE II : TM	I : EI 1-2 II : EI 3-4 I : GS・GH	I : EI 3-4 II : EI 1-2 II : GS・GH	I : TL 1-2 I : MM(20名) II : TL 3-4	I : TL 3-4 II : TL 1-2 II : MM(20名)
4	I : TA・LP 1 II : TK・LP 2	I : TK・LP 2 II : TA・LP 1	I : LF・LA I : MM(30名) II : MN	I : MN II : LF・LA II : MM(30名)	II : TC	I : TC	I : LC II : LH I : 保健コース II : 保健コース	I : LH II : LC I : 保健コース II : 保健コース	I : LE・LJ	II : LE・LJ

(注1) 前・後期の火曜2～4時限、前・後期の金曜1時限、前・後期の金曜3時限は再履修者は登録できません。

(注2) 前・後期の木曜3限目のGS・GHクラスはスポーツ科学部の学生のみ履修可能。

(注3) 医学部医学科(MM)の新入生は、指定する複数クラス(火曜3時限、火曜4時限、水曜2時限、木曜1時限、金曜3時限)の中から先着順で登録者を決定します。なお、登録要領等については、履修登録ガイダンスの際にお知らせします。

生涯スポーツ論クラス分け一覧

時 限	月		火		水		木		金	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	LC・LH	LJ・LE LP・P	EE 1-3	EE 4-6	EE 7-9	EE 10-12	EI 1-2	EI 3-4	CF 1-2	CF 3-4
2	JJ 1-3	JJ 4-6	CC 1-3 S	CC 4-6 S	JJ 7-8	JJ 9-10	CB 1-3	CB 4-6	JB 1-3	JB 4-5
3	LG・LF・LA MN・P									

2 保健コースについて

- 生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱの履修者のうち、疾患および障がい等のため激しい運動ができない学生を対象とします。
- 保健コースの登録を希望する人は、まず時間割で指定されたクラスに出席してください。第1週目の授業(オリエンテーション)にて面談を行います。その結果、コースの変更が必要と判断された場合は、保健コース(木曜日1時限または4時限)への変更手続きを行います。なお、変更手続きの際に診断書の提出を求めることもあります。

3 その他

- 生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳおよび生涯スポーツ論における前期・後期の登録撤回、および後期の登録変更の取り扱いについては、「共通教育科目の履修登録の撤回および後期開講科目の登録変更につ

いて」(p. 44) を参照してください。

- 生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの授業ではトレーニングウェア(水泳の場合には水着)を着用してください。また、体育館シューズも用意してください。詳しくは授業1週目のオリエンテーションで説明します。
- 令和6年度は、生涯スポーツ演習Ⅱのスキーを実施する予定です。生涯スポーツ演習Ⅱでスキーを選択できるのは、医学部と薬学部を除く学部の3年次生までの学生です。

なお、生涯スポーツ演習Ⅱでスキーを選択する人は実習費として100,000円程度必要になります(実習費は12月に徴収します)。但し、経済状況により実習費は変動することがあります。実習地は山形県蔵王スキー場を予定しています。

4 外国語科目

共通教育科目の外国語科目は、7つの外国語と学部留学生を対象とした日本語（注1）が設置されています。各学部・学科の外国語科目の開講は下表の通りです。

2024年度 外国語科目 学部・学科別開講一覧表

学部・学科		外国語科目			
		第1外国語		第2外国語（注5）	
人文学部	文化学科・歴史学科 日本語日本文学科 教育臨床心理学科 英語学科	英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択必修 (8単位)
	ドイツ語学科	ドイツ語	必修(8単位)	・英語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択必修 (8単位)
	フランス語学科	フランス語	必修(8単位)	・英語・ドイツ語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択必修 (8単位)
	東アジア地域言語学科 (注2)	中国語・朝鮮語・英語……必修(12単位) および選択必修(4単位) 英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語……選択			
法・経済・商学部		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択
商学部第二部 (注3)		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択
理工学部		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択必修 (4単位)
薬学部		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択
医学部	医学科	英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択
	看護学科 (注4)	英語……必修(8単位) ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語・朝鮮語 ……選択必修(2単位)			
スポーツ科学部		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択

(注1) 学部留学生を対象とした日本語の取り扱いについては、P.68「学部留学生のための授業科目「日本語」について」を参照してください。

(注2) 人文学部東アジア地域言語学科については、第1外国語・第2外国語の区別はありません。

(注3) 商学部第二部について、2023年度(23台)以前入学生は、ロシア語・スペイン語を除く4科目が開講されます。

(注4) 医学部看護学科については、第1外国語・第2外国語の区別はありません。

(注5) 第2外国語が、同一言語で4単位以上修得しない場合に、卒業要件単位として認められないことがあります。学部によって取扱いが異なりますので注意してください。

(注6) この他に選択科目として、アドバンスト・イングリッシュ(L(LH, LJ)・S・Mを除く学部)が開講されています。

1 外国語科目の履修登録について

- 外国語科目の履修は、下位年次科目から順次登録しなければなりません。

- 外国語科目は、履修登録の撤回・後期開講科目の登録変更を認めていません。

※アドバンスト・イングリッシュⅡ（後期科目）のみ、所定の登録人数に達しない場合に限り、登録変更期間に追加登録を行います。追加登録を行う場合は登録変更期間前にFUポータルでお知らせします。なお、追加登録を行った場合も履修登録の撤回はできません。

- 英語の履修登録について

英語には以下の3種類があり（カッコ内は略称）、アドバンスト・イングリッシュ以外は履修するクラスが決まっています。クラスは事前に登録してありますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください。

フレッシュマン・イングリッシュ（FE）

インターミディエイト・イングリッシュ（IE）

アドバンスト・イングリッシュ（AE）

- ※1 アドバンスト・イングリッシュは開講される学部・学科・年台が決まっています。授業科目表を参照してください。履修希望者は各自で履修登録が必要です。
- 2 東アジア地域言語学科のFEⅢ・ⅣとIEⅢ・Ⅳは、事前登録を行いませんので各自で履修登録してください。
- 3 人文学部ドイツ語学科とフランス語学科は各自で英語の事前登録を取り消すことができます。
- 4 休学や留年等によりFE・IEの履修年度が遅れた場合は再履修と同様各自で履修登録が必要です。下の「●再履修の履修登録について（2年次生以上）」を読んでください。



履修登録画面の時間割表に事前登録されている英語の科目の④をクリックすると【履修科目の詳細情報】が表示され、クラスを確認することができます。

- その他の外国語の履修登録について

選択する外国語によって、登録するクラスが指定されている科目や、いくつかのクラスの中から選んで登録できる科目、登録できるクラスのペアが定められている科目などがあります。詳細は「3 英語以外の外国語について」（p.67～）を読んでください。

- 再履修の履修登録について（2年次生以上）

再履修の場合は、英語・その他の外国語ともに事前登録はしませんので各自で履修登録が必要です。

また、再履修クラスが開講されている科目と、開講されていない科目があります。再履修クラスが開講されていない場合、所属する学部のクラスに登録することを原則としますが、時間割の都合上所属する学部のクラスに登録できない場合は、他の学部のクラスに登録することができます。その場合、自学部の履修登録可能期間中に共通教育センター（文系センター棟1階）で手続きが必要です。

詳細は各語学の説明（p.63～）を読んでください。

- 「海外英語研修」

全学部を対象に「海外英語研修」（2単位）を開設しています。応募方法など詳細はp.153の「2 海外研修・海外語学研修」を参照してください。

なお、この科目は研修に参加した翌年度に単位を認定する科目です。

2 英語の履修について

●フレッシュマン・イングリッシュ I～IV（1年次生）

フレッシュマン・イングリッシュ（以下 FE）は前期・後期とも週2回の授業があります。事前に受講するクラスが決められていて、下表の [例1] または [例2] のどちらかのパターンで1年間に3種類の目的別クラスを受講します。

	科目名	例1	例2
前期	FE I	R&L	R&L
	FE III	IA	ESP
後期	FE II	R&L	R&L
	FE IV	ESP	IA

R&L：リーディング&リスニング（前期・後期とも）

ESP：検定対策英語（前期または後期どちらか）

I A：インタラクティブ英語（前期または後期どちらか）

- ※1 人文学部東アジア地域言語学科は FE I・II のみが必修科目ですが、選択科目として FE III・IV を履修することができます。
- 2 医学部医学科の FE I～IV は、すべて前期科目です。
- 3 アスリート特別選抜および留学生クラスの FE I～IV は目的別クラスではありません。

プレイズメントテストについて

インターミディエイト・イングリッシュで受講する目的別クラスを決めるために、授業時間外にプレイズメントテストを実施します。プレイズメントテストを受験しない場合は、受講クラスの希望を受け付けられませんので注意してください。実施については、FE II の授業内および FU ポータルのお知らせで通知します。

●インターミディエイト・イングリッシュ I～IV（2・3年次生）

インターミディエイト・イングリッシュ（以下 IE）I～IV は、学部・学科により履修年次が異なりますので、各学科の年次別授業科目表で履修年次を確認してください。

IE は「目的別クラス選択制」を導入しています。開講クラスは下記のとおりで、プレイズメントテスト受験の際に選択した希望順位をもとに受講クラスが決定され、事前登録されています。IE I～IV すべて同じ種類の目的別クラスを受講します。

R&W：リーディング&ライティング

ESP：検定対策英語

C&O：CALL & オーラル・コミュニケーション

- ※1 人文学部東アジア地域言語学科は IE I・II のみが必修科目ですが、選択科目として IE III・IV を履修することができます。
- 2 医学部医学科の IE I～IV は、すべて1年次の後期科目です。
- 3 アスリート特別選抜および留学生クラスの IE I～IV は目的別クラスではありません。

●アドバンスト・イングリッシュ I・II（3年次生以上、L（LH, LJ）・S・Mを除く学部）

アドバンスト・イングリッシュ（以下 AE）は、I あるいは II のみの受講も可能です。必修科目ではありませんので、履修希望者は履修登録が必要です。なお、AE は TOEIC[®] Listening & Reading Test のスコアが500点以上相当の英語運用能力を有する学生を想定した授業内容となっていますので、500点に満たない場合は、単位の取得が困難となる場合がありますので、注意してください。

●再履修について (FE・IE)

FE と IE を再履修する場合は、再履修者用のクラスを受講するか、下位年次生が受講するレギュラークラス (目的別クラス) で受講するかを選択することができます。

再履修クラスを受講する場合

下記《再履修クラス登録方法》を参照のうえ、自分で履修登録をしてください。

前期卒業する場合

「FE II・IV」および「IE II・IV」は本来後期科目ですが、前期にも各1クラス開講しています。

これらの科目の履修が必要な場合、このクラスに履修登録しなければなりません。

登録人数には定員を設けており、先着順に受け付けますので、早めに履修登録してください。

【注意】上記4クラスの定期試験は二部(夜間部)の時間帯で実施しますので、履修登録時に試験日・時限を必ず確認してください。

※ 医学部医学科の学生(再履修者)は、医学部事務課の窓口で指示を受けてください。

《再履修クラス登録方法》

[1] 下表で、再履修しようとする科目の講義形態を確認してください。

学部によって受講できる講義形態が決まっていますので注意してください。

【英語再履修クラスの講義形態】

学部・学科	科目	講義形態	定期試験日程	講義日程
人文学部 法学部 経済学部 商学部 スポーツ科学部	FE I・III	前期科目	定期試験期間中に実施。	p. 64 [2] へ
	FE II・IV	前期科目	定期試験期間中に 二部の時間帯 で実施。	
		後期科目	定期試験期間中に実施。	
	IE I・III	前期科目	定期試験期間中に実施。	
	IE II・IV	前期科目	定期試験期間中に 二部の時間帯 で実施。	
後期科目		定期試験期間中に実施。		
理・工・薬学部 医学部看護学科	FE I～IV	夏季集中講義	夏季集中講義期間中に実施。	p. 65 [3] へ
	IE I～IV			

※ 工学部社会デザイン工学科の3年次以上で、キャリアデザインを登録する学生は「前期科目」または「後期科目」で受講してください。

[2] 下表で受講するクラスの期別・日程を確認してください。

【再履修クラス】

フレッシュマン・イングリッシュ (FE)

科目	学部 学科	組	期別	曜日	時 限	担 当 者
FE I	L J E C G	再①	前期	火	5	石 垣 恵 一
		再②		水	5	津 村 早 紀
		再③		金	4	伊 藤 益 代
	S T M (M N) P	集中再	前期	集中		井 石 哲 也
FE II	L J E C G	再①	後期	火	5	今 川 京 子
		再②		水	5	毛 利 優 花
		再③		金	4	一 瀬 陽 子
		再④	前期	火	5	平 野 あかり
	S T M (M N) P	集中再	後期	集中		毛 利 史 生
FE III	L J E C G	再①	前期	水	4	高 木 留 美
		再②		木	4	坂 井 隆
		再③		金	5	石 垣 恵 一
	S T M (M N) P	集中再	前期	集中		ク ロ ス
FE IV	L J E C G	再①	後期	水	4	福 原 俊 平
		再②		木	4	津 村 早 紀
		再③		金	5	久 保 佑 輔
		再④	前期	金	5	久 保 佑 輔
	S T M (M N) P	集中再	後期	集中		秋 好 礼 子

インターミディエイト・イングリッシュ (IE)

科目	学部 学科	組	期別	曜日	時 限	担 当 者
IE I	L J E C G	再①	前期	月	4	大 村 孝 紀
		再②		火	4	川 村 真 央
		再③		木	5	渡 部 智 也
		再④		金	4	大 津 敦 史
	S T M (M N) P	集中再	前期	集中		光 富 省 吾
IE II	L J E C G	再①	後期	月	4	園 田 暁 子
		再②		火	4	岩 崎 雅 之
		再③		木	5	秋 好 礼 子
		再④		金	5	船 田 佐 央 子
		再⑤	前期	月	5	福 田 慎 司
	S T M (M N) P	集中再	後期	集中		古 賀 恵 介
IE III	L J E C G	再①	前期	月	5	高 橋 美 知 子
		再②		火	4	田 中 悠 介
		再③		水	4	福 原 俊 平
		再④		木	4	船 田 佐 央 子
	S T M (M N) P	集中再	前期	集中		毛 利 史 生
IE IV	L J E C G	再①	後期	月	5	樋 渡 真 理 子
		再②		火	5	迫 由 紀 子
		再③		水	4	高 木 留 美
		再④		木	4	光 富 省 吾
		再⑤	前期	月	4	園 田 暁 子
	S T M (M N) P	集中再	後期	集中		福 原 俊 平

3月21日(木)からの履修登録期間中に「FUポータル」にログインし、Web履修登録から履修申請をしてください。半期完結の再履修クラスは1クラスあたりの登録人数に定員を設けていて、先着順に受け付けます。登録ができない場合は他の再履修クラスに履修申請してください。

[3] 夏季集中講義について

このクラスを受講できるのは、理・工・薬学部および医学部看護学科の学生のみです。それ以外の学部学生は受講できませんので注意してください。

【夏季集中講義日程】

期別	科目名	期 間	授業時間	試験日・時限
前期	FE I・Ⅲ IE I・Ⅲ	8月5日(月)～9日(金)	1時限～3時限 ただし最終日は 1時限～2時限	8月9日3限目 (13:00～14:00)
後期	FE II・Ⅳ IE II・Ⅳ	9月2日(月)～6日(金)	1時限～3時限 ただし最終日は 1時限～2時限	9月6日3限目 (13:00～14:00)

※ 授業時間 [1時限] 9:00～10:30 [2時限] 10:40～12:10 [3時限] 13:00～14:30

3月21日(木)からの履修登録期間中に「FUポータル」にログインし、Web履修登録の履修申請画面で「集中講義科目等を選択」から受講するクラスを選択し、履修申請してください。各クラスとも登録人数に定員はありませんが、前期と後期1科目ずつしか登録できませんので、**複数の再履修がある場合**、夏季集中講義に登録できない再履修科目は前期科目または後期科目の再履修クラスに履修登録してください。また、履修登録期間中に共通教育センター（文系センター棟1階）で手続きすれば、希望する曜日・時限のレギュラークラスに登録することも可能です。

レギュラークラスで受講する場合

自学部の履修登録可能期間中に共通教育センター（文系センター棟1階）で手続きが必要です。登録できるクラス・人数に定員がありますので、早めに申し出てください。

また、休学等により、当該年次の英語が受講できなかった場合も、レギュラークラスを受講することができます。

- ※1 商学部第二部の学生（再履修者）がレギュラークラスへの登録を希望する場合は、商学部第二部事務課に相談してください。
- 2 再履修者のレギュラークラスへの登録方法については、共通教育センターのホームページ(<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu871/>)に詳しい説明を掲載しています。

TOEIC® L&R の成績による単位認定について

1. 本学入学後に受験した TOEIC® Listening & Reading Test (以下 TOEIC® L&R) の成績により、2024年度履修登録科目の中から下表の通り 4 単位を上限として認定を申請することができます。

認定授業科目 (単位)	TOEIC® L&R 成績	認定上限 単位数	成績標語 評価
フレッシュマン・イングリッシュ I～IV (各 1 単位)	860点以上	4 単位	秀(A) 90点
	730点～859点	3 単位	
インターメディアイト・イングリッシュ I～IV (各 1 単位)	600点～729点	2 単位	
	550点～599点	1 単位	

- ※ 1 単位認定科目は、申請時に履修登録されている上表の認定授業科目の中から認定上限単位数の範囲内で申請者が選択することができます。
- 2 上表の科目を再履修する場合でも単位認定を申請できますが、履修登録をしていなければ申請できませんので、注意してください。なお、再履修は下位年次から順次登録しなければなりません。
- 3 申請後、休学等により登録科目が取り消される場合、TOEIC® により認定された科目がそこに含まれる時は、認定も取り消されます。
- 4 TOEIC® L&R の成績により単位認定された授業科目は、特待生の選考にあたって考慮されません。また、GPA 評価の対象にもなりません。

2. 単位認定の申請受けは、下表の要領で 4 月と 9 月に行います。大学入学後に受験した TOEIC® L&R の成績により単位認定しますので 1 年次生は 4 月に申請することはできませんが、9 月に後期科目の単位認定を申請することができます。

申請期間	2024年 4 月 11 日 (木)～ 4 月 17 日 (水)	2024年 9 月 16 日 (月)～ 9 月 20 日 (金)
認定科目	2024年度前・後期登録科目の FE と IE	2024年度後期登録科目の FE と IE (再履修の夏季集中講義を除く)
受付場所	文系センター棟 1 階 共通教育センター (受付時間 月～金曜日のうちの授業日 8:50～16:50)	
提出物	(1) TOEIC® L&R の成績による単位認定申請書 (2) 公開テストのデジタル公式認定証を印刷したものと URL または IP テストのスコアレポート (原本)	
対象となる成績	申請日から過去 1 年以内に取得した TOEIC® L&R の成績 (入学前に受験したものは不可)	

- ※ 1 一度単位認定申請に使用した TOEIC® L&R の成績は、申請科目数が認定上限単位数に満たない場合でも再度認定申請に使用することはできません。
- 2 TOEIC® L&R 単位認定に使えるのは、公開テストおよび対面で実施された IP テストの成績です。IP テストは本学内でキャリアセンターが実施しており、団体価格で受験できます。なお、IP テスト (オンライン) のテスト結果は単位認定には使用できません。
- 3 共通教育外国語科目は、後期開講科目の履修登録を変更することはできませんので、9 月に単位認定を申請できる科目は、前期開講前に履修登録した後期登録科目に限り (夏季集中講義については、9 月に単位認定を申請することはできません)。
- 4 商学部第二部の学生に限り、申請期間中の受付時間内に申請ができない場合は、商学部第二部事務課の窓口事務時間内に提出物を提出してください。後日共通教育センターより申請の可否について連絡します。なお、申請期間以外の申請は受け付けません。
- 5 デジタル公式認定証を利用する申請には、スマートフォン等モバイル端末を窓口を持参してください。

3. TOEIC® L&R の成績による単位認定を受けた者が、その後更に上位の成績を取得した場合には再度単位認定を申請することができます。ただし、認定上限単位数から既に認定を受けた単位数を差し引いた単位数までしか申請できません。

4. IE III・IV が 3 年次科目の場合 (理学部・工学部・スポーツ科学部) は、2 年次に 730 点以上の成績で IE I・II を認定申請する場合に限り、認定上限単位数内で 3 年次の IE III・IV も同時に認定申請することができます。その場合 IE III・IV は 3 年次に履修登録 (事前登録) したうえで単位認定しますので、IE III・IV の開講曜日・時限に別の科目を登録することはできません。また、3 年次に進級できなかった場合は、IE III・IV の申請は取り消されます。

5. TOEIC® L&R の成績による単位認定の詳細および申請用紙は共通教育センターのホームページに掲載しています。

【共通教育センターのホームページ】 <http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu871/>

3 英語以外の外国語について

- 英語以外の外国語には、**1年次開講科目の「I A・I B」**（医学部看護学科は「I」のみ）と**2年次開講科目の「II A・II B」**があります。p. 60の「2024年度 外国語科目 学部・学科別開講一覧表」および以下の説明を参考に受講科目を決めて、履修申請してください。
- 商学部第二部の2023年度（23台）以前入学生については、夜間部で各外国語の「I」と「II」が開講されますが、夜間部での開講は2024年度が最後となりますので注意してください。
- 商学部第二部（23台以前）で開講される各外国語の「I・II」と医学部看護学科で開講される各外国語の「I」は、週1回授業が行われる通年科目です。
- クラス指定がある外国語で、指定のクラスに登録できない等英語以外の外国語の登録について不明な点があれば、当該学生の履修登録期間中の窓口が開いている時間に共通教育センター（文系センター棟1階）で相談してください。
- 制限科目登録日に履修登録が必要な科目はありません。**
所属する学部・学科の履修登録期間中に履修申請してください。なお、定員に達して履修申請を行うことができない場合は、他の外国語を履修申請してください。

(1) I A・I Bについて

- 各外国語の I A・I B は、**1年次に履修登録する場合は必ず両科目とも登録してください。片方だけの登録は認められません。**また、登録できるクラスは学科基本クラスにより指定されています。p. 139以降の各外国語の「クラス別担当者一覧」を参照してください。
 - ※ 1 日本語は開講されているクラスが複数ある場合は、その中から登録するクラスを選択できます。ただし、I A・I Bは同じクラスの I A・I Bに登録しなければなりません。
 - 2 FUポータルで履修申請をする際に、I A・I Bのいずれか片方だけ選択して申請ボタンをクリックしても、エラーとなり登録できません。I A・I Bとも選択した状態で申請ボタンをクリックして登録してください。
- 英語以外の外国語科目は、同一外国語の I A（2単位）と I B（2単位）の計4単位を取得しなければ外国語科目として卒業要件単位に算入されません。なお、学部・学科によっては英語以外の外国語科目で2単位のみ取得した場合に自由履修単位として卒業要件に算入する場合があります。
- 英語以外の外国語科目は**通年科目**です。
 - ※ 人文学部ドイツ語学科の「ドイツ語 I A（前期）」・「ドイツ語 I B（後期）」、フランス語学科の「フランス語 I A（前期）」・「フランス語 I B（後期）」、東アジア地域言語学科の「中国語 I A（前期）」・「中国語 I B（後期）」と、「朝鮮語 I A（前期）」・「朝鮮語 I B（後期）」はそれぞれ週2回授業が行われ、前期または後期完結になります。

(2)Ⅱ A・Ⅱ Bについて

○「Ⅱ A・Ⅱ B」は、人文学部東アジア地域言語学科の中国語・朝鮮語を除き、それぞれ週1回授業が行われる通年科目で、登録するクラスが指定されています。p.139以降の各外国語の「クラス別担当者一覧」を参照してください。

※1 理学部・工学部はⅡ AまたはⅡ Bのいずれか一方しか登録できません。

2 Ⅱ A・Ⅱ Bは、Ⅰ A・Ⅰ Bの内容を修得していることを前提に授業が行われます。

○東アジア地域言語学科の中国語と朝鮮語は、Ⅱ A・Ⅱ Bとも週2回授業が行われる前期または後期完結科目です。

○人文学部は、Ⅰ A・Ⅰ Bを修得した外国語のⅡ A・Ⅱ B両方の単位を修得しなければ第2外国語に関する卒業要件を満たすことができません。所属する学科の指定クラスで登録してください。ただし、時間割の都合上所属するクラスでの履修ができない場合は、他のクラスに登録できます(ただし同じクラスのⅡ A・Ⅱ Bに登録しなければなりません)。

※ ドイツ語のL Gクラス、フランス語のL Fクラス、中国語のL Aクラス、朝鮮語のL Aクラスへの登録は、指定の学科に限られます。

○人文学部以外の学部は、Ⅱ A・Ⅱ Bのどちらか1つだけ履修することも可能です。時間割の都合で所属する学部のクラスに登録できない、または、所属する学部クラスが開講されていない場合は、前項の※にあるクラス以外の人文学部のクラスに登録できます。

(3)再履修について

○再履修者は、各科目の所属する学部のクラスに登録することを原則としますが、時間割の都合上所属する学部のクラスに登録できない場合は、他の学部のクラスに登録できます(p.139~参照)。ただし、Ⅰ A・Ⅰ BまたはⅡ A・Ⅱ Bを同時に再履修する場合は、同じクラスのⅠ A・Ⅰ BまたはⅡ A・Ⅱ Bに登録してください。

※ ドイツ語のL Gクラス、フランス語のL Fクラス、中国語のL Aクラス、朝鮮語のL Aクラスへの登録は、指定の学科に限られます。

学部留学生のための授業科目「日本語」について

学部留学生は、外国語科目(「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「朝鮮語」、「スペイン語」、「ロシア語」)のうち、自らの母語である言語を外国語科目として履修することができません。母語である言語が必修科目に指定されている場合は下記の「日本語」を履修し、所定の単位を修得することで、8単位を限度として当該外国語科目の単位を修得したものと取り扱います。

また、上記外国語科目に母語が含まれない学部留学生が「日本語」を履修し単位を修得した場合は、その単位を第2外国語の単位として取り扱います。

1年次 日本語Ⅰ A(通年2単位)、日本語Ⅰ B(通年2単位)

2年次 日本語Ⅱ A(通年2単位)、日本語Ⅱ B(通年2単位)

5 単位互換科目について

福岡市の西部地区に位置する五大学（九州大学、中村学園大学、西南学院大学、福岡歯科大学および本学）連携事業の一環として、各大学の授業を相互に開放し、単位を認定する「単位互換制度」を実施しています。これは、他大学のキャンパスで、他大学の開講科目を受講できる制度となっています。この制度に則った他大学の受講科目を「単位互換科目」と言います。

出願資格は、2年次生以上となっています。また、学部によって単位の認定についての詳細が異なりますので、履修希望者は、FUポータルあるいは窓口で配布する履修者募集要項を確認してください。詳しくは、3月中旬にFUポータルに掲示します。

※学修ガイド「福岡大学における単位互換等の取扱いに関する規程」(p. 347～348)を参照。

6 試験について

定期試験を実施しない授業科目

下記科目については、定期試験期間中に試験は実施しません。

各科目の成績評価方法については、シラバスで必ず確認したうえで履修申請を行ってください。

(1) 総合教養科目

- ①「教養ゼミ」の科目（※p. 51～52の表4を参照）
- ②化学実験・物理学実験・生物学実験
- ③データサイエンス・AI入門
- ④下表の科目

No.	科 目 名	担当者	開講期別	曜日	時限
1	図形情報	奈尾 信英	後期	木	4
2	哲学A	大西 克智	前期	木	2
3	哲学A	大西 克智	前期	木	3
4	哲学B	大西 克智	後期	木	2
5	哲学B	大西 克智	後期	木	3
6	論理学A	林 誓雄	前期	火	4
7	論理学A	林 誓雄	前期	水	2
8	論理学A	林 誓雄	前期	金	3
9	論理学A	林 誓雄	前期	金	2
10	論理学B	林 誓雄	後期	火	4
11	論理学B	林 誓雄	後期	水	2
12	論理学B	林 誓雄	後期	金	3
13	論理学B	林 誓雄	後期	金	2
14	宗教学B	飯嶋 秀治	後期	木	1
15	日本史通論A	久保 知里	前期	月	4
16	日本史通論B	久保 知里	後期	月	4
17	外国史通論A	森 丈夫	前期	水	5
18	外国史通論B	森 丈夫	後期	水	5
19	人文地理学	近藤 祐磨	後期	火	1
20	アジアの文学A	間 ふさ子	前期	金	1
21	アジアの文学A	何 憶鶴	前期	水	1
22	アジアの文学B	何 憶鶴	後期	水	1
23	経済学A	楊 光洙	前期	火	4
24	経済学A	楊 光洙	前期	火	5

IV. 履修の手引

No.	科 目 名	担当者	開講期別	曜日	時限
25	経済学B	楊 光洙	後期	火	4
26	経済学B	楊 光洙	後期	火	5
27	教育論A	中世古貴彦	前期	火	4
28	教育論B	中世古貴彦	後期	木	4
29	地理学A	近藤 祐磨	前期	金	2
30	地理学A	近藤 祐磨	前期	金	4
31	地理学B	近藤 祐磨	後期	金	3
32	地理学B	近藤 祐磨	後期	金	5
33	心理学A	大上 渉	前期	火	3
34	心理学A	大上 渉	前期	火	4
35	心理学B	大上 渉	後期	火	3
36	心理学B	大上 渉	後期	火	4
37	法律学概論	畑中 久彌	後期	金	5
38	地誌学	近藤 祐磨	前期	月	二部2
39	福岡大学で考える現代社会	岩山 隆寛	前期	木	5
40	福岡大学で考える現代社会 文系	熊丸 憲男	後期	火	4
41	福岡大学で考える現代社会 理系	熊丸 憲男	後期	火	4
42	福岡大学で考える現代社会	鈴木 学	後期	火	2
43	福岡大学で考える現代社会	鈴木 学	後期	火	3
44	福岡大学で考える現代社会	須長 一幸	前期	金	2
45	福岡大学で考える現代社会	須長 一幸	後期	月	5
46	福岡大学で考える現代社会	橋場 論	前期	水	5
47	福岡大学で考える現代社会	安井 英俊	前期	火	4
48	福岡大学で考える現代社会	安元 佐和	前期	木	5
49	福大生のためのキャリアデザイン	植上 一希	前期	火	1
50	福大生のためのキャリアデザイン	植上 一希	前期	火	2
51	アカデミックスキルズゼミⅠ	紺田 広明	前期	火	5
52	アカデミックスキルズゼミⅠ	道山 治延	前期	木	1
53	アカデミックスキルズゼミⅡ	吉田 秀幸	後期	木	1
54	アカデミックスキルズゼミⅡ	鈴木 学	後期	火	5
55	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	前期	火	3
56	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	後期	木	2

(2) 保健体育科目

生涯スポーツ演習Ⅰ 生涯スポーツ演習Ⅱ
生涯スポーツ演習Ⅲ 生涯スポーツ演習Ⅳ 生涯スポーツ論

(3) 課程科目

課程科目のうち定期試験を実施しない授業科目についての留意事項は、別冊『教職課程・博物館学芸員課程・社会教育主事課程 履修の手引』を参照してください。

(4) 外国語科目

- ①英語科目 (FEⅢ・ⅣのIAクラス、IEⅠ～ⅣのC&Oクラス、左記以外で授業シラバスの試験実施欄に「無し」と記載されているクラス)
- ②ドイツ語科目 (※LGクラスを除く ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語ⅠA・ⅠB、ドイツ語ⅡA・ⅡB)
- ③フランス語科目 (※LFクラスを除く フランス語Ⅰ・Ⅱ、フランス語ⅠA・ⅠB、フランス語ⅡA・ⅡB)
- ④中国語科目 (※LAクラスを除く 中国語Ⅰ・Ⅱ、中国語ⅠA・ⅠB、中国語ⅡA・ⅡB)
- ⑤スペイン語科目 (スペイン語Ⅰ、スペイン語ⅠA・ⅠB、スペイン語ⅡA・ⅡB)

 上記の「定期試験を実施しない授業科目」については、追試験・再試験を実施しません。

人文学部

目次

■ 人文学部 共通

1	人文学部の教育方針	72
2	年間登録単位の上限	90
3	履修登録上の注意	90
	(1) 履修登録	
	(2) 「授業科目確認表」	
	(3) 「クラス分け」の遵守	
	(4) 半期完結科目の履修方法	
	(5) 第2外国語の履修	
	(6) 集中講義	
	(7) 前期休学期間中の卒業見込証明書の発行	
4	自由履修単位	92
5	試験	92
6	登録制限科目（専門・関連教育科目）	93
7	登録撤回不可科目	95
8	卒業論文、卒業研究	96
9	大学院授業科目の早期履修	96
10	早期卒業	97

■ 各 学 科

	文化学科	99
	歴史学科	99
	日本語日本文学科	100
	教育・臨床心理学科	100
	英語学科	103
	ドイツ語学科	105
	フランス語学科	108
	東アジア地域言語学科	111

■ 人文学部他学科及び他学部の授業科目のうち

	人文学部教授会が適当と認める授業科目	112
■	後期登録変更時の科目追加・削除	116
■	振替科目一覧	119
■	定期試験を実施しない科目	121
■	多言語強化プログラム	125
■	日本語教員課程	133

■ 人文学部共通

1 人文学部の教育方針

●人文学部の「人材養成の目的」

人文学部は、広範な一般教養を身に付けると同時に、すべての学問の基礎となる人文学諸分野の専門知識を修得し、他者との関係への配慮や自由と責任に基づく倫理観を備えた人間を育むことを教育理念とする。この理念に基づき、社会人としての人間の精神とあり方を多様な価値観の中で総合的に捉え、高度技術社会において人間の原点に立って行動できる人材を養成すること、及び外国語学習を通して異文化を理解し、日本と世界を結ぶコミュニケーション能力を持った国際人を養成することを目的とする。

●人文学部の DP (ディプロマ・ポリシー)

各大学、学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるものをディプロマ・ポリシー（学位授与方針）という。

人文学部の教育課程においては、以下に掲げる知識・技能・態度を備え、厳格な成績評価のもとで所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 人文学部の各学科で教授される、有形・無形の人類の営み、それらを生み出し、育んできた言葉、人間そのもの、そして現代社会に関する諸研究について専門的な知識を身に付けている。
2. 人文学部で学ぶ知識に基づいて、様々な現象の特質・背景や多様性などについて理解し、説明することができる。また関係する資料を正確に読解し、出来事のあり様を観察・分析し、それらに関する理論や解釈を批判的に検討することができる。その上で、得られた成果や見解について、日本語や外国語を用いて筋道を立てて他者に伝えたり、他者とともに議論したり、意見をまとめたりすることができる。
3. 社会の一員として多様な人々の思想や行動を柔軟に受け入れつつ、現代社会の抱える問題を自ら発見し、他者と協同してそれらを解決しようとする態度を有するだけでなく、修得した知識や技能を絶えず更新していこうとする志向性を持っている。

●人文学部の CP (カリキュラム・ポリシー)

ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針をカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）という。

人文学部は、人文学諸分野の専門的な知識を修得し、他者との関係への配慮や自由と責任に基づく倫理観を備えた人間を育むことを教育理念とする。この理念を実現するため、以下のように教育課程を編成する。併せて、その内容を保証するため、学部の特徴を生かした専門教育科目を配置する。専門教育科目には、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した知識・技能・態度を育むため、教育課程の中核として必術的興味に基づいて専門性を主体的に高めることを可能にする多彩な選択科目を配置する。

1・2年次では各専門分野で学ぶ前提となる諸科目を配置している。すなわち、必修科目として少人数の基礎的な演習などの科目を設けて、大学での学びを支える基盤的な態度や技能（アカデミック・スキルズなど）に加え、各専門分野の基礎的な知識を身に付ける。また必修科目または選択必修科目として概論・講読・研究法などの科目を設けて、各専門分野の基礎的な内容を幅広く学び、その方法論を修得する。

3・4年次では、必修科目または選択必修科目として少人数の専門的な演習または実習などの科目を設けて、各専門分野に関係する資料を正確に読解し、出来事のあり様を観察・分析して、それらに関する理論や解釈を批判的に検討する能力を育み、また発表や討論などの場において、他者と協同して問題を解決したり、読解・分析した成果を分かりやすく言語化し、伝えたりする能力を育む。さらに選択科目として特講などの科目を設けて、学生が主体性を生かして各分野の専門的な知識をより深く学ぶことができるようにしている。

3・4年次にわたる上記の専門的な演習のうち、4年次に履修する演習は、4年間の学びを集大成する科目である。これは、先の能力を育むことに加え、専門的な知識・方法に基づいて問題を発見し、その解決に自ら進んで取り組む態度を発揮する機会となる。4年間の学修の成果は、この4年次の演習、あるいは必修科目または選択科目として設けている卒業論文・卒業研究に基づいて総合的に評価される。

●履修系統図 (カリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリー)

カリキュラム・マップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表であり、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するのかを示す。

卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の対応関係や履修・学修における道筋を示したものをカリキュラム・ツリーという。

●共通教育科目

共通教育科目の DP、CP、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーについては、FU ポータルに掲載しています。

【掲載場所】

FU ポータル ▶ 授業関連 ▶ 履修系統図 (カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ)

▶ 履修系統図 (令和6年度入学生) ▶ 共通教育

●文化学科の「人材養成の目的」

文化学科は、「文化の多角的、総合的理解」という学習・教育理念のもと、文化に広い関心を持つ人材を受け入れる。1年次の必修科目を通じて基本的な知識と研究方法とを修得させ、2年次以降は一つの専門領域に偏ることのない学際的なカリキュラムを通じて文化の多角的、総合的理解を身に付けた人材を育成する。文化学科は、多様な価値観が共存し、複雑化してゆく時代にあって、固定観念にとらわれない、広い視野と柔軟な発想力とを持つ有為な人材を社会に送り出すことを目的とする。

●文化学科のDP（ディプロマ・ポリシー）

【知識・理解】

- A-1 人文・社会・自然に関する基礎的な知識を身に付けている。
- A-2 文化に関する基礎的なテキストに触れ、文化の多様性と言語表現について理解している。
- A-3 人間の思想・行動・社会に関する専門的な知識を持ち、それらについて説明できる。

【技能】

- B-1 人間の思想・行動・社会に関する文献・資料・データなどを正確に読み解くことができる。
- B-2 自分の見解を的確に言語化し、問題解決に向けて、他者と対話できる。
- B-3 人間の思想・行動・社会に関する主張を論理的に分析し、その妥当性を評価できる。
- B-4 人間の思想・行動・社会に関する事象・出来事について、実証的に分析できる。

【態度・志向性】

- C-1 文化の多様性に関心を持ち、尊重する志向性を持つ。
- C-2 社会的・文化的活動に積極的に関与しようとする意欲を持つ。
- C-3 自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を持つ。

●文化学科のCP（カリキュラム・ポリシー）

(1) 1年次の導入教育

2年次以降に専門的な演習を受けるための基礎力を養うことを目的として「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を必修科目として置いている。また、2年次以降の専門教育の入り口として各分野（哲学・倫理学、宗教学、芸術学・美術史、社会学、心理学、地理学、文化人類学・民俗学）の基本的知識に触れることを目的として「文化学科で学ぶⅠ」「文化学科で学ぶⅡ」を必修科目として置いている。

(2) 2年次以降の専門教育

文化に関する基礎的なテキストに触れ、文化の多様性と言語表現を理解するとともに、人間の思想・行動・社会に関する専門的な知識を習得し、それらについて説明ができる能力を養うことを目的として、「哲学の基礎」「宗教文化論」「芸術学入門」「理論社会学」「心理学研究法」「文化地理学」「民俗文化論」を2年次の選択必修科目として置いている。また、上記目的に加えて、人間の思想・行動・社会に関して、文献・資料・データなどの正確な読解、さまざまな主張の論理的分析とその妥当性の評価、さまざまな事象・出来事についての実証的分析ができる技能を養うことをも目的として、2年次以降に選択科目と関連教育科目（一部は1年次から履修可能）を置いている。選択科目は、哲学・倫理学、宗教学、芸術学・美術史分野で構成される思想文化科目群、社会学、心理学、地理学、文化人類学・民俗学分野で構成される社会文化科目群、そのほかの領域横断的な科目から構成される文化学共通科目群に区分され、各科目群の専門科目を偏りなく学習するための履修条件を設けている。さらに、上記の諸技能に加え、自分の見解を的確に言語化して問題解決に向けて他者と対話できる能力、文化の多様性への関心とそれを尊重する志向性、社会的・文化的活動に積極的に関与しようとする意欲、自分の見解や立場を相対化して問い直す姿勢を涵養することを目的として、少人数ゼミ教育「文化学演習Ⅰ～Ⅵ」を2年次以降の必修科目に、「卒業論文」を4年次の選択科目に置いている。

カリキュラム・マップ



<https://fukuoka-u.box.com/s/qro38vr4q4534ftincaccys3cn84kx5v>

カリキュラム・ツリー



<https://fukuoka-u.box.com/s/5zgwvijqkbgmgv1w9o5y3swawynigm0p>

●共通教育科目

共通教育科目のDP、CP、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーについては、FUポータルに掲載しています。

【掲載場所】

FUポータル▶授業関連▶履修系統図（カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ）
▶履修系統図（令和6年度入学生）▶共通教育

●歴史学科の「人材養成の目的」

歴史学科は、古代以来国際交流の窓口であったという、本学が位置する地域の特性を生かして、九州から日本史、世界史を見直す地域に根ざす視点と、九州を東アジア史、世界史の中に位置づける国際的な視点を併せ持つ教育と研究の推進を理念とする。少人数教育を徹底して行い、導入教育において大学生としての基本的能力を涵養するとともに、専門教育では、日本史、東洋史、西洋史、考古学の各分野において高い専門性を身に付けた人材の育成を目指す。また、専門分野の枠を超えた横断的な科目履修を通じて歴史を総合的に理解する能力を涵養し、もって、専門的な知識・教養と複眼的な思考力を兼ね備えた人材の養成を目的とする。

●歴史学科のDP（ディプロマ・ポリシー）

【知識・理解】

- A-1 日本史および世界史の基本的な内容について十分な知識を持ち、世界における歴史の多様性と共通性を理解し、説明できる。
- A-2 歴史学の基礎的な理論や専門的な知識を習得し、現代世界の形成過程を歴史的な視点から説明できる。
- A-3 他分野の知識を吸収し、歴史学と総合させながら、人間存在への理解を深めることができる。

【技能】

- B-1 古文・漢文・外国語などの文字資料の読解、または遺跡や遺物などの考古資料の実測と製図を行ない、その意味内容を説明できる。
- B-2 自らの研究する分野の学説史を整理し、論点を明らかにすることができる。
- B-3 多様な史資料を分析・考察し、その意義を明らかにして論理的に説明できる。

【態度・志向性】

- C-1 専門分野の知識とともに、幅広い知識と教養を身に付けようとする意欲を持つ。
- C-2 自ら習得した知識と教養を他者の前で報告し、かつ他者の意見に耳を傾けて理解し、議論する態度を示す。
- C-3 歴史学の知識と複眼的な思考力をもって、現代社会の諸課題と能動的に向き合い、現代世界や地域社会への貢献を目指す志向性を持つ。

●歴史学科のCP（カリキュラム・ポリシー）

1. 1年次には、歴史学の基礎知識と方法論の修得を図るべく「史学概論」、ならびに日本史・東洋史・西洋史・考古学の各「概説」を設置している。さらに、少人数の演習科目である「歴史学入門演習」を設置し、資料の分析や考察、またプレゼンテーションや討論などの基礎教育の学修を行なう。
2. 2年次に、日本史・東洋史・西洋史・考古学の4専修いずれかに専門教育の分野を定め、各「原典講読」を通じた文字資料の読解、または「考古学方法論」を通じた考古資料の分析方法を学ぶ。各「基礎演習」では、専門的な歴史学の知識の意味内容を理解し、説明する能力を身に付ける。他方、専修共通科目や関連教育科目の学修によって、広く歴史を考えるための知識を修得する。
3. 3年次・4年次における各「演習」では専門的な技能と思考力をさらに深化させるとともに、自らの力で問題を提起し、分析・考察する能力を養う。また、専修共通科目の各「特講」では、それぞれの専修にとどまらない幅広い視野と深い知識を修得する。
4. 4年次における「卒業論文」では、身に付けた問題発見能力に基づいて各自で研究課題を設定し、専門的な知識と技能を活用して論文を完成させ、4年間の学修到達度を測る。

カリキュラム・マップ



<https://fukuoka-u.box.com/s/qro38vr4q4534ftincaccys3cn84kx5v>

カリキュラム・ツリー



<https://fukuoka-u.box.com/s/5zgwvijqkbggvlw9o5y3swawynigm0p>

●共通教育科目

共通教育科目のDP、CP、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーについては、FUポータルに掲載しています。

【掲載場所】

- FUポータル▶授業関連▶履修系統図（カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ）
▶履修系統図（令和6年度入学生）▶共通教育

●日本語日本文学科の「人材養成の目的」

日本語日本文学科は、日本の文化や社会の根幹をなす日本語と、その結実たる日本文学を広く深く学び、それらを国際的視点に立って捉え直すことにより、豊かな教養と深い洞察力を備え、日本語の高度なコミュニケーション能力を身に付けた広い視野を持つ人間を育むことを教育理念とする。この理念に基づき、日本語日本文学への深い理解を基盤として国際化社会で活躍し得る人材、及び専門的知識によって地域社会に貢献し得る人材の養成を目的とする。

●日本語日本文学科の DP（ディプロマ・ポリシー）

【知識・理解】

- A-1 日本語の成り立ちや仕組みを理解し、説明できる。
- A-2 日本文学の特質を理解し、説明できる。
- A-3 日本語を諸言語の多様性の中に位置づけて理解し、説明できる。
- A-4 日本文学を外国文学との比較の中で理解し、説明できる。

【技能】

- B-1 各時代の背景・文化の中で、作品の本文に沿った、高度な古典読解能力を持つ。
- B-2 伝えるべき内容の要点を整理し、正確に文章を書ける。
- B-3 日本語や日本文学に関する研究文献を収集し、適切に読解できる。
- B-4 日本語日本文学の専門的な事項について、発表や討論などの高度なコミュニケーションを行うことができる。

【態度・志向性】

- C-1 専門分野とともに、それに関わる幅広い分野への学習に取り組む意欲がある。
- C-2 自ら進んで日本語や日本文学に関する学術的問題を新しく設定し、その問題に取り組む積極性を持つ。

●日本語日本文学科のCP（カリキュラム・ポリシー）

本プログラムでは、日本語日本文学の特質を諸言語・外国文学の中で理解し、この分野において自ら独自の問題を設定し、考察できるようになるために、以下の教育課程を編成する。1年から4年の各年次に、知識を深める講義科目と実践を養う演習科目を置く。講義科目は、1・2年次では、日本文学概論、比較文学概論、日本文学史、日本語学概論、日本語史を、必修または選択必修としてバランス良く配置し、近代文学、古典文学、日本語学の各分野の基礎的な知識を得る。また高度な古典読解能力を育成するため古典文学講読を必修として1・2年次に配置する。3・4年次では、1・2年次で築いた基礎を元に専門的な知識を伸ばせる科目として、日本文学特講、比較文学特講、日本語学特講などを選択科目として置く。演習科目は1年次に日本語日本文学基礎演習を置く。ここでは、本プログラムで4年間有意義に学ぶためのアカデミックスキルズを少人数クラスで習得する。2年次では専門を選ぶための科目である調査研究法を4科目以上受講したあと、3年次では近代文学演習、古典文学演習、古代語演習などの少人数制の演習科目を原則2科目履修する。4年次ではこの2科目のうちいずれか1科目を継続して履修し、さらに卒業論文及び卒業論文指導を履修して、卒業論文を執筆する。以上を通して、日本語日本文学に対する深い理解と文献収集・読解能力、コミュニケーション能力が身に付いているかが総合的に判断される。なお、本プログラムでの学習を生かした資格である日本語教員資格を得るための科目として、日本語教授法演習や日本語教育法の科目も設置している。

カリキュラム・マップ



<https://fukuoka-u.box.com/s/qro38vr4q4534ftincaccys3cn84kx5v>

カリキュラム・ツリー



<https://fukuoka-u.box.com/s/5zgwvijqkbggvlw9o5y3swawynigm0p>

●共通教育科目

共通教育科目のDP、CP、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーについては、FUポータルに掲載しています。

【掲載場所】

FUポータル▶授業関連▶履修系統図（カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ）
▶履修系統図（令和6年度入学生）▶共通教育

●教育・臨床心理学科の「人材養成の目的」

教育・臨床心理学科は、教育と臨床心理の二つの分野の統合による人への支援や援助、人間形成とそのケアに貢献し得る総合的、実践的な力量を備えた人間を育むことを理念とする。この理念に基づき、具体的には、メンタルヘルスやストレスマネジメント、自己啓発や生涯学習、キャリア発達等の諸課題に対して、教育学と臨床心理学の知識や技法を用いてアプローチし得る能力を実社会の多様な場面で発揮できる人材を養成することを目的とする。

●教育・臨床心理学科の DP（ディプロマ・ポリシー）**【知識・理解】**

- A-1 教育学と臨床心理学の理論を理解し、教育現場や臨床現場の諸相を多角的に説明することができる。
- A-2 多様な人々の生涯にわたるキャリア形成を支援するための知識を身に付け、支援のあり方を説明することができる。

【技能】

- B-1 他者の意見に傾聴し、自らの意見を明確に表現することを通して、コミュニケーションを円滑に進めることができる。
- B-2 教育現場や臨床現場を含めた地域社会・組織の課題を発見・同定し、課題解決に向けたアイデアを提案することができる。
- B-3 共生社会の実情について、学問的知識を使いながら、多様な立場から批判的に考えることができる。

【態度・志向性】

- C-1 「人」に興味を持ち、多様な人々の考えを柔軟に受け入れる態度を有している。
- C-2 教育現場や臨床現場における新たな課題にチャレンジするために、新しい知識や技能を積極的に学ぶ姿勢をもっている。
- C-3 共生社会の担い手として、主体的に社会に参画する意欲を有している。

●教育・臨床心理学科のCP（カリキュラム・ポリシー）

教育学と臨床心理学の理論を理解し、これら二つの分野の統合による人への支援や援助、人間形成とそのケアに貢献しうる総合的、実践的力量的の修得に向け、下記の特徴を持った教育課程を編成する。

1、2年次のうちに少人数演習科目や学科必修科目を通して、アカデミックスキルズやキャリア形成の基礎知識・技能を修得する。こうした大学で学ぶための基礎知識・技能の修得と共に、1年次から教育学と臨床心理学の基礎理論を体系的に修得し、教育と臨床心理の双方の学問的土台を構築する。これらを踏まえ、2年次以降は選択必修科目や選択科目を学ぶことで、教育や臨床心理のさまざまな分野に関する知見を広げ、教育現場や臨床現場を含めた地域社会・組織の課題やその解決に向けた実践力を高める。

以上の内容を保証するため、少人数演習科目におけるアクティブ・ラーニングを実施し、1、2年次には「基礎演習A・B」、「キャリア形成基礎論Ⅰ・Ⅱ」（必修科目）を通して、アカデミックスキルズの獲得とキャリアに関する基礎的知識の獲得に向けた主体的・対話的で深い学びの場を提供する。さらに、3、4年次には「専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」（必修科目）を通して、自らの問題意識・関心に基づき、能動的な学修（文献の精読・発表、現地調査等）を進める場を提供する。また、専門教育科目の配置については、1年次に「教育学概論Ⅰ・Ⅱ」、「心理学概論」、「臨床心理学概論」を必修科目とすることで、初年次から教育学及び臨床心理学の基本的知識を修得する場を提供する。2年次以降は、理論や今日の課題について深く学ぶ科目を提供し、さらに「心理実習」、「インターンシップ実習」、「キャリアデザイン調査法」、「キャリアデザイン演習」、「学校インターンシップ実習」等の現場で学びを促進する機会も提供する。

ディプロマ・ポリシーに示された能力の修得状況については、4年間の学習成果が現れる「専門演習Ⅳ」（必修科目）や「卒業研究」（選択科目）により総括的な評価を行う。

カリキュラム・マップ



<https://fukuoka-u.box.com/s/qro38vr4q4534ftincaccys3cn84kx5v>

カリキュラム・ツリー



<https://fukuoka-u.box.com/s/5zgwvijqkbgmglw9o5y3swawynigm0p>

●共通教育科目

共通教育科目のDP、CP、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーについては、FUポータルに掲載しています。

【掲載場所】

FUポータル ▶ 授業関連 ▶ 履修系統図（カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ）
▶ 履修系統図（令和6年度入学生） ▶ 共通教育

●英語学科の「人材養成の目的」

英語学科は、国際化や異文化との共生がますます進む状況下にあつて、異文化を理解し、これに順応するとともに、国際社会、地域社会における諸問題を解決するために他者と協力しながら貢献できる人材を育むことを教育理念とする。この理念に基づき、英語については、4技能（話す・聞く・書く・読む）をバランス良く身に付けるとともに、英語以外の言語とその文化に関する知識を修得している人材、及び学術的専門分野については、深い知識を持つとともに、情報の収集・分析・考察をし、その結果を発信する力を有する人材の養成を目的とする。

●英語学科の DP（ディプロマ・ポリシー）

【知識・理解】

- A-1 英語の言語的特質（語彙・文法・用法）およびその文化的背景（社会・文化・文学）に関して幅広い知識を有している。
- A-2 英語に関わる学術的諸分野に関して専門的知識を有している。

【技能】

- B-1 バランスのとれた英語の4技能（話す・聞く・書く・読む）を有する。
- B-2 英語に関わる学術的分野の内容を理解・考察し、その成果をまとめることができる。
- B-3 ICT 機器をはじめとする様々な方法を使って情報を集め、その信頼性や必要性を吟味しながら論理的に整序・分析することができる。
- B-4 身につけた知識や収集した情報を活用して自分の考えを構築し、それをわかりやすく表現し、他者に伝えることができる。

【態度・志向性】

- C-1 英語の言語的特質やその文化的背景に対する学術的興味と探求心を有している。
- C-2 文化の差異に柔軟に対応し、異なる文化的背景を持つ人々と積極的に関わっていこうとする志向性を有している。
- C-3 自らが取り組んだ分野において問題を発見し、その解決に向けて積極的に行動することができる。
- C-4 他者と協力しながら行動できる社会性と協調性を有している。

●英語学科のCP（カリキュラム・ポリシー）

国際化や異文化との共生がますます進む状況下において、異文化を理解し、国際社会、地域社会における諸問題を解決することに貢献できる人物を育成するために、本学位（教育）プログラムは、大きな2本の柱で専門教育科目を編成している。すなわち、「英語の知識・技能」を高めるものと、「学術分野」を深く学ぶものである。前者には「英文法」「英会話」、「英語読解」、「英語ライティング」、「英語プレゼンテーション」、「英語圏文化研修」などがあり、英語の4技能（話す・聞く・書く・読む）をバランス良く身につけ、英語の総合的な運用能力を培う。後者は、4つの専門分野「英語学」、「スピーチ・コミュニケーション」、「イギリス文化・文学」、「アメリカ文化・文学」をベースに異文化理解の姿勢を身につけるとともに、情報の収集・分析・発信の方法、広範かつ汎用的な専門知識を段階的に学んでいく。

まず1年次には、上述の4つの分野の基礎を「英語学概論」、「スピーチ・コミュニケーション概論」、「イギリス文化・文学概論」、「アメリカ文化・文学概論」で学ぶ（ツリーの「学術分野の基礎的領域」参照）。2年次以降は、「言語・コミュニケーションコース」、「文化・文学コース」の2つのコースに分かれ、「英語史」（言語・コミュニケーションコースの2つの領域をカバー）や「英米文学入門」（文化・文学コースの2つの領域をカバー）などの科目により、それぞれのコースの専門領域を深く学ぶと同時に、4つの領域を横断する「英語音声学」などの科目を通じて総合的に学んでいく。4つの領域を専門的にさらに深く学ぶのが3、4年次の「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」である。少人数のクラスで、英語テキストの読解、情報の収集、吟味・分析を行い、自分の考えを発表する能力を育成する。それぞれの学術分野について主体的に学び、研究、発信することを最終的な目標とする。それを卒業論文、卒業研究にまとめ上げ、統合的・発展的領域まで引き上げることもできる。

カリキュラム・マップ



<https://fukuoka-u.box.com/s/qro38vr4q4534ftincaccys3cn84kx5v>

カリキュラム・ツリー



<https://fukuoka-u.box.com/s/5zgwvijqkbgmglw9o5y3swawynigm0p>

●共通教育科目

共通教育科目のDP、CP、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーについては、FUポータルに掲載しています。

【掲載場所】

- FUポータル ▶ 授業関連 ▶ 履修系統図（カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ）
▶ 履修系統図（令和6年度入学生） ▶ 共通教育

●ドイツ語学科の「人材養成の目的」

ドイツ語学科は、多角的なカリキュラムにおいて、ドイツ語によるコミュニケーション能力を培うとともに、ドイツをはじめとするドイツ語圏の国々の文化と社会、その思考方法と価値観を様々な側面から理解するための充実した教育を実施することを目指す。すなわち、複眼的思考力を身に付けることにより、国際社会において文化の枠組みを越えて他者との関係を構築し、多様な価値観を顧慮しながら人間の原点に立って行動できる人材、及び深い学識を有し、異文化間の相互理解に貢献できる国際人を育成することを目的とする。

●ドイツ語学科のDP（ディプロマ・ポリシー）

【知識・理解】

- A-1 ドイツ語の言語的特質（語彙・文法・用法）およびその文化的背景（社会・文化・文学）に関して幅広い知識を有している。
- A-2 ドイツ語に関わる学術的諸分野に関して専門的知識を有している。

【技能】

- B-1 バランスのとれたドイツ語の4技能（話す・聞く・書く・読む）を有する。
- B-2 ドイツ語に関わる学術的分野の内容を理解・考察し、その成果をまとめることができる。
- B-3 ICT 機器をはじめとする様々な方法を使って情報を集め、その信頼性や必要性を吟味しながら論理的に整序・分析することができる。
- B-4 身につけた知識や収集した情報を活用して自分の考えを構築し、それをわかりやすく表現し、他者に伝えることができる。

【態度・志向性】

- C-1 ドイツ語の言語的特質やその文化的背景に対する学術的興味と探求心を有している。
- C-2 文化の差異に柔軟に対応し、異なる文化的背景を持つ人々と積極的に関わっていこうとする志向性を有している。
- C-3 自らが取り組んだ分野において問題を発見し、その解決に向けて積極的に行動することができる。
- C-4 他者と協力しながら行動できる社会性と協調性を有している。

●ドイツ語学科のCP（カリキュラム・ポリシー）

本プログラムでは、共通教育科目で広い視野を身につけながら、専門科目を通じて国際性と学術性を高める。なお、「ドイツ語圏コース」と「ヨーロッパ特別コース」に分かれて異なる科目を受講する場合があるが、核となる修得内容は共通している。「ヨーロッパ特別コース」で異なるのは、フランス語学科開講科目の一部を履修し、フランス語およびフランス文化を副専攻的に学ぶことができる点である。

初習外国語であるドイツ語の四技能は、1・2年次の第1外国語科目「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」および必修・選択必修の専門教育科目「ドイツ語基礎演習」「ドイツ語基礎会話」ならびに「ドイツ語圏文化基礎論」「ドイツ語基礎講読」（ドイツ語圏コース）「ヨーロッパ文化基礎論」（ヨーロッパ特別コース）によって段階的・効率的に習得する。3・4年次には、複数の講読科目と「ドイツ語作文」「ドイツ語会話」（ドイツ語圏コース）「コミュニケーション理論と実践」「プレゼンテーション理論と実践」（ヨーロッパ特別コース）によって、「読む」「書く」「聞く」「話す」能力をスキルアップする。その際、様々な科目におけるアクティブ・ラーニングを通じて、主体的な学びの力を高め、またペアワークやグループワークを経験することにより、積極性や社会性、協調性を獲得する。

専門科目では、ドイツ語とドイツ文化に関するさまざまな学術分野についての知識を得るとともに、担当教員の指導のもとで自ら研究を進める。1年次必修の導入教育にあたる「ゲルマニスティク入門」「日本語リテラシー」「ヨーロッパ学入門」、2年次の「ドイツ文学史」「ヨーロッパ学 ICT Ⅰ」「クロスカルチュラル・リテラシー」で、研究の基礎となる、情報の収集・把握・処理・分析の方法、考えをまとめ発信する能力を身につける。3・4年次には地域文化・言語文化・表象文化にまたがる特講科目と選択科目・関連教育科目により学術諸分野の概要や個別的側面、求められる研究手法を学び、言語や文化について幅広い知識を得る。必修科目の「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」と選択科目の「卒業論文」「卒業研究」は、ドイツ語能力の涵養とドイツ語圏の言語・文化に関わる学術研究という本プログラムの二つの柱の統合的・発展的領域をになう場と位置づけられる。演習では、10名前後の少人数教育のもと、ドイツ語を学びつつ用いながら、情報を収集し、吟味・分析し、自分の考えを構築し、それを発表する。意欲のある者は、各自の研究をさらに発展させ、卒業論文・卒業研究としてまとめることができる。

カリキュラム・マップ



<https://fukuoka-u.box.com/s/qro38vr4q4534ftincaccys3cn84kx5v>

カリキュラム・ツリー



<https://fukuoka-u.box.com/s/5zgwvijqkbgmgv1w9o5y3swawynigm0p>

●共通教育科目

共通教育科目のDP、CP、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーについては、FUポータルに掲載しています。

【掲載場所】

- FUポータル ▶ 授業関連 ▶ 履修系統図（カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ）
▶ 履修系統図（令和6年度入学生） ▶ 共通教育

●フランス語学科の「人材養成の目的」

フランス語学科は、多角的なカリキュラムにおいて、フランス語によるコミュニケーション能力を培うとともに、フランスをはじめとするフランス語圏の国々の文化と社会、その思考方法と価値観を様々な側面から理解することを教育研究の目的とする。すなわち、複眼的思考力を身に付けることにより、国際社会において文化の枠組みを越えて他者との関係を構築し、多様な価値観を顧慮しながら人間の原点に立って行動できる人材、及び異文化間の相互理解に貢献できる広い教養と深い学識をそなえた国際人を養成することを目的とする。

●フランス語学科の DP（ディプロマ・ポリシー）

【知識・理解】

- A-1 フランス語の言語的特質（語彙・文法・用法）およびその文化的背景（社会・文化・文学）に関して幅広い知識を有している。
- A-2 フランス語に関わる学術的諸分野に関して専門的知識を有している。

【技能】

- B-1 バランスのとれたフランス語の4技能（話す・聞く・書く・読む）を有する。
- B-2 フランス語に関わる学術的分野の内容を理解・考察し、その成果をまとめることができる。
- B-3 ICT 機器をはじめとする様々な方法を使って情報を集め、その信頼性や必要性を吟味しながら論理的に整序・分析することができる。
- B-4 身につけた知識や収集した情報を活用して自分の考えを構築し、それをわかりやすく表現し、他者に伝えることができる。

【態度・志向性】

- C-1 フランス語の言語的特質やその文化的背景に対する学術的興味と探求心を有している。
- C-2 文化の差異に柔軟に対応し、異なる文化的背景を持つ人々と積極的に関わっていこうとする志向性を有している。
- C-3 自らが取り組んだ分野において問題を発見し、その解決に向けて積極的に行動することができる。
- C-4 他者と協力しながら行動できる社会性と協調性を有している。

●フランス語学科のCP（カリキュラム・ポリシー）

本プログラムでは、共通教育科目で広い視野を身につけながら、専門科目を通じて国際性と学術性を高める。なお、「フランス語圏コース」と「ヨーロッパ特別コース」に分かれて異なる科目を受講する場合があるが、核となる修得内容は共通している。「ヨーロッパ特別コース」で異なるのは、ドイツ語学科開講科目の一部を履修し、ドイツ語およびドイツ文化を副専攻的に学ぶことができる点である。

初習外国語であるフランス語の四技能は、1・2年次の第1外国語科目「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」および必修・選択必修の専門教育科目「フランス語基礎演習」「フランス語基礎会話」ならびに「フランス語圏文化基礎論」「フランス語基礎講読」（フランス語圏コース）「ヨーロッパ文化基礎論」（ヨーロッパ特別コース）によって段階的・効率的に習得する。3・4年次には、複数の講読科目と「フランス語作文」「フランス語会話」（フランス語圏コース）「コミュニケーション理論と実践」「プレゼンテーション理論と実践」（ヨーロッパ特別コース）によって、「読む」「書く」「聞く」「話す」能力をスキルアップする。その際、様々な科目におけるアクティブ・ラーニングを通じて、主体的な学びの力を高め、またペアワークやグループワークを経験することにより、積極性や社会性、協調性を獲得する。

専門科目では、フランス語とフランス文化に関するさまざまな学術分野についての知識を得るとともに、担当教員の指導のもとで自ら研究を進める。1年次必修の導入教育にあたる「フランス学入門」「日本語リテラシー」「ヨーロッパ学入門」、2年次の「フランス文学史」「ヨーロッパ学 ICT Ⅰ」「クロスカルチュラル・リテラシー」で、研究の基礎となる、情報の収集・把握・処理・分析の方法、考えをまとめ発信する能力を身につける。3・4年次には地域文化・言語文化・表象文化にまたがる特講科目と選択科目・関連教育科目により学術諸分野の概要や個別的側面、求められる研究手法を学び、言語や文化について幅広い知識を得る。必修科目の「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」と選択科目の「卒業論文」「卒業研究」は、フランス語能力の涵養とフランス語圏の言語・文化に関わる学術研究という本プログラムの二つの柱の統合的・発展的領域をになう場と位置づけられる。演習では、10名前後の少人数教育のもと、フランス語を学びかつ用いながら、情報を収集し、吟味・分析し、自分の考えを構築し、それを発表する。意欲のある者は、各自の研究をさらに発展させ、卒業論文・卒業研究としてまとめることができる。

カリキュラム・マップ



<https://fukuoka-u.box.com/s/qro38vr4q4534ftincaccys3cn84kx5v>

カリキュラム・ツリー



<https://fukuoka-u.box.com/s/5zgvvijqkbgmgv1w9o5y3swawynigm0p>

●共通教育科目

共通教育科目のDP、CP、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーについては、FUポータルに掲載しています。

【掲載場所】

- FUポータル ▶ 授業関連 ▶ 履修系統図（カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ）
- ▶ 履修系統図（令和6年度入学生） ▶ 共通教育

●東アジア地域言語学科の「人材養成の目的」

東アジア地域言語学科は、確実な言語運用能力の習得を基礎とし、東アジアの社会や伝統、文化、地域事情を深く洞察することで、日本を含めた東アジアを足場とした広い視野と洞察力を併せ持つ人間を育むことを教育理念とする。この理念に基づき、東アジアで有用な各種の語学力とそれを用いた地域事情の知識を通して問題の発見と解決ができる人材、地域のバランス感覚に富んだ人材、他者を尊重し様々な問題にも柔軟に対応できる人材、そして卒業後その更新が可能な人材の養成を目的とする。

●東アジア地域言語学科の DP（ディプロマ・ポリシー）

【知識・理解】

- A-1 東アジア地域の言語文化に対する理解とそれを支える知識を有している。
- A-2 東アジアの地域事情に対する理解とそれを支える知識を有している。
- A-3 社会を多方面から考え、卒業後も幅広い領域で学び続けることのできる基礎的知識を有している。

【技能】

- B-1 当該言語を用いて情報を収集し考察に利用できるなど、中国語、朝鮮語のうち主とする言語の実践的運用能力を有している。
- B-2 日常的な会話を行う、基本的な構文の文献が読めるなど、中国語、朝鮮語のうち主としない言語および英語の基礎的運用能力を有している。
- B-3 問題を発見して調査・考察し、その結果を論説形式で報告する能力を有している。

【態度・志向性】

- C-1 価値観の異なる多様な他者を積極的に理解し、交流を図ろうとする態度や志向性を有している。
- C-2 東アジア地域社会において積極的役割を果たそうとする態度や志向性を有している。
- C-3 東アジアに対する関心を持続させ、理解と知識および語学力を絶えず更新していこうとする態度を有している。

●東アジア地域言語学科の CP（カリキュラム・ポリシー）

本プログラムでは、中国および朝鮮半島を中心とした東アジアの地域事情および言語文化への理解を深めると同時に、広い視野と洞察力を身につけ、卒業後も問題意識を持って自分自身で学び続けられる力を育成します。

中国と韓国に地域を分け、専攻する地域の言語の習得をベースとして、地域事情、言語文化に対する知識を獲得し、同時に問題を発見し調査、検討する基本的研究力を養成する教育内容となっています。

本プログラムでは、中国コースおよび韓国コースの2コース制を取っていますが、一年次ではコースは決めず、大学生として必要な基礎的な知識、および中国語・朝鮮語を主に学びます。またこの時期に中国や韓国の社会文化の基本を学びます。二年次では希望するコースに進み、当該地域の言語コミュニケーションや文献講読科目によって総合的な語学力の向上をめざし、基礎演習では研究力の基礎を作ります。三年次以降は演習科目および各種の講読や講義科目によって語学力に根ざした研究力の育成をめざし、卒業論文の制作が可能な力を身につけます。また、希望する学生は、別コースの科目も卒業単位として履修が可能です。さらに、自由履修単位数を多くしていますので、選択科目・関連教育科目・共通教育科目で、希望に添った多様な科目の受講ができます。これによって学生の幅広い志向に応じた学習を可能にしています。

カリキュラム・マップ



<https://fukuoka-u.box.com/s/qro38vr4q4534ftincaccys3cn84kx5v>

カリキュラム・ツリー



<https://fukuoka-u.box.com/s/5zgwvijqkbgmglw9o5y3swawynigm0p>

●共通教育科目

共通教育科目の DP、CP、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーについては、FU ポータルに掲載しています。

【掲載場所】

- FU ポータル ▶ 授業関連 ▶ 履修系統図（カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ）
▶ 履修系統図（令和6年度入学生） ▶ 共通教育

2 年間登録単位の上限

人文学部の学生が年間に登録できる単位数は原則として下表のとおりです。

前 期	後 期	年 間
25 単 位 以 内	25 単 位 以 内	45 単 位 以 内

(注1) 通年科目は、単位数の2分の1を前期および後期の単位数として計算してください。

(注2) 下記に記載されている科目以外は登録単位に算入されません。

- ・「年次別授業科目表」(p. 188以降)
 - ・「人文学部他学科及び他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目」(p. 112~115)
- ただし、「単位互換科目」は登録単位に算入されます。「福岡大学における単位互換等の取扱いに関する規程」(p. 347~348)を参照。

3 履修登録上の注意

(1) 3・4月の履修登録では、後期科目を含めた1年間分の科目の登録をすること

後期登録変更期間中には登録できない科目 (p. 116~118参照) があります。2年次生以上は3月下旬、1年次生は4月上旬の履修登録期間中に、後期科目を含めた1年間分の科目の登録をしてください。

(2) 「授業科目確認表」で登録した科目を確認すること

履修登録後、FUポータルの「授業科目確認表作成」メニューから「授業科目確認表」を必ず各自印刷し、登録した科目を確認したうえで、保管してください。確認を怠った場合、不利益を被ることがあります。

(3) 「クラス分け」の遵守

演習科目等でクラス指定がある場合は、クラス分けに従って履修してください。クラス分けについては、FUポータル〈お知らせ〉で確認してください。

演習科目等の再履修で担当教員がわからない場合は、登録前に所属学科の教員または教務二課（人文学部）（文系センター棟1階）に相談してください。

(4) 半期完結科目の履修方法

専門教育科目および関連教育科目のうち半期完結科目について、科目名にA、BまたはC、Dが付く場合は原則として前期・後期とも同一科目を履修してください。

(5) 第2外国語の履修について（東アジア地域言語学科を除く）

同一外国語で8単位を修得しなければなりません。

科目の組み合わせ	(単位数)	卒業要件
スペイン語 I A(2) + スペイン語 I B(2)	スペイン語 II A(2) + スペイン語 II B(2)	○
スペイン語 I A(2) + スペイン語 I B(2)	ドイツ語 I A(2) + ドイツ語 I B(2)	×

下段のケースでは自由履修単位に4単位算入されます。

(注1) 8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、1カ国語に限り自由履修単位に算入されます(学科履修規程第2条参照)。

(注2) ドイツ語学科・フランス語学科の学生が、第2外国語として英語を履修する場合、「アドバンスト・イングリッシュ I・II」は選択科目のため第2外国語の必要単位(8単位)には含まれません。自由履修単位に算入されます。

(6) 集中講義について

令和6年度は、下記の科目について集中講義を行います。

登録を希望する者は、履修登録画面最下部の「集中講義科目等を選択」のボタンから申請してください。

※社会教育実習の登録を希望する者は、社会教育主事課程の履修を希望し、教職課程教育センターへ社会教育主事課程履修申込書を提出している者に限る。

科目名	期別	担当者	期間
神経・生理心理学	集中前期	岡村 尚昌	8月5日(月)～9日(金)
社会教育実習(※)	集中通年	添田 祥史	未定(令和5年度実績:うち実習は、8月～11月の期間で5～6日程度)

(注1) 授業時間・試験(集中講義期間中に実施)については、後日FUポータル(お知らせ)に掲載します。

(注2) 履修登録の撤回については、38ページを参照してください。

(7) 前期休学期間中の卒業見込証明書の発行について(5年次生以上)

前期休学中であっても、次の条件をすべて満たす者は卒業見込証明書の発行が可能となります。

- ① 履修登録期間中に卒業要件を満たす後期完結科目を登録した者
- ② 後期に復学し、在学することで在学年数が4年に達する者

(注1) ①について、3月の履修登録期間中に履修申請画面から登録できない場合は、教務二課(人文学部)に相談してください。

(注2) 各種証明書の発行については、11ページを参照してください。

4 自由履修単位

自由履修単位とは次の修得単位をさします。

- ① 共通教育科目、専門教育科目の各分野に定められている卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
- ② 関連教育科目の修得単位

(注) 自由履修単位は、各学科で卒業に必要な単位数が定められているため各自確認してください。

ただし、次の取扱いに注意してください。

○ 人文学部他学科及び他学部の授業科目

関連教育科目として、自由履修単位に算入されます。

具体的な科目名は、p. 112～115を参照してください。

○ 他大学授業科目『単位互換科目』

8単位を限度に共通教育科目として、12単位を限度に関連教育科目として、自由履修単位に算入されます。

詳細は p. 69、p. 347～348を参照してください。

○ ドイツ語学科・フランス語学科の場合

選択必修科目の修得単位が卒業に必要な単位数を超えた場合、選択科目の不足単位に振り替えられます。選択科目に振り替え後、なおも修得単位が卒業に必要な単位数を超えている場合は、自由履修単位に算入されます。

5 試験

- 前期・後期それぞれ定期試験を実施します（定期試験時間割は p. 27～28参照）。
ただし、定期試験を実施しない科目もあります（再試験も実施しません）。
詳細は p. 69～70、p. 121～124を参照してください。
- 通年科目は、前期・後期のどちらも受験しなければ単位は認定されません。
- 追試験は、やむを得ない理由で定期試験を受験しなかった場合に、所定の手続きと審議を経て受験を許可される試験です（p. 22参照）。
- 再試験は、4年次生以上の学生を対象に、卒業に不足する単位が8単位以下で一定の条件を満たした場合、所定の手続きを経て受験を許可される試験です。ただし、定期試験（前期・後期）または追試験（前期）を受験し、不合格となった科目に限ります。また、定期試験を実施しない科目の再試験はありません（p. 23参照）。

6 登録制限科目（専門・関連教育科目）

下記の科目は、講義の教育効果を高めるために登録者を制限します。登録希望者は、次ページの要領および注意事項に従い申請してください。なお、登録後の登録変更（p.95(4)参照）・撤回（p.95参照）ができない科目がありますので、授業や試験時間割との重複などに注意のうえ、慎重に申請してください。

（表1）人文学部開設科目

科目名	期別	担当者	対象学生	選考方法	申請期間
情報処理入門 情報処理実習	前期 後期	井手 開田	LC 2年次以上	先着順	3月21日(木) 10:00 } 3月23日(土) 23:59
概説日本史	前期	久保	LC・LP 2年次以上		
概説外国史	後期	森/山根	LC・LP 2年次以上		
概説社会学	前期	森	LH・LP 2年次以上		
概説哲学	後期	広川	LH・LP 2年次以上		
コンピュータ入門Ⅰ コンピュータ入門Ⅱ	前期 後期	山元 曾	LCを除く 全学科 2年次以上 1年次		4月3日(水) 9:00~15:00
コンピュータ入門Ⅲ コンピュータ入門Ⅳ	前期 後期	井手	LC・LHを除く学科 2年次以上		3月21日(木) 10:00 } 3月23日(土) 23:59
思想文化文献講読Ⅰ	前期	関口	LC 2年次以上		
思想文化文献講読Ⅱ	後期	大木			
思想文化文献講読Ⅲ	前期	竹花			
思想文化文献講読Ⅳ	後期	小笠原			
英語プレゼンテーションA 英語プレゼンテーションB	前期 後期	一瀬	LE 2年次以上		
ビジネスライティング アカデミックライティング	前期 後期	古賀	LE 3年次以上		

（表2）法学部開設科目

科目名	期別	対象学生	選考方法	申請期間	結果発表
国際法総論	後期	LC(18台以前)・ LE・LG・ LF・LA 3年次以上	抽選	3月21日(木) 9:00 } 3月23日(土) 10:00	3月25日(月) 9:00

（表3）経済学部開設科目

科目名	期別	対象学生	選考方法	申請期間	結果発表
社会保障論	前期	LC (18台以前)	抽選	3月21日(木) 13:00	3月23日(土) 17:00
西洋経済史	後期	LH 3年次以上		} 3月22日(金) 12:00	
国際経済学	後期	LE・LG・LF 3年次以上			

(表4) 商学部開設科目

科目名	期別	対象学生	選考方法	申請期間	結果発表
経営入門	前期	LE, LG, LF 2年次以上	抽選	3月21日(木) 11:00 ～ 3月22日(金) 13:00	3月23日(土) 12:00
経営学総論	後期	LE, LG, LF 2年次以上			
国際経営論	前期	LA 3年次以上			
財務会計論	後期	LE, LG, LF 3年次以上			
貿易商務論A 貿易商務論B	前期 後期	LE, LG, LF 3年次以上			

(1) 申込方法

履修登録画面の「制限科目を選択」のボタンから履修希望科目を申請してください。選考は、先着順または抽選で行います（前ページ参照）。

(注) 指定された期日・時間を過ぎての申し込みは、一切受け付けません。

(2) 結果発表

- 先着順：定員になり次第締め切ります。登録エラーの表示が出なければ、登録は完了となります。
- 抽 選：結果発表（日時は表2～表4参照）後に、履修登録画面で各自確認してください。

(注) 登録エラー（赤色）が表示された場合は、内容を確認し、エラーがない状態にしてください。

(3) 追加募集

定員に満たない場合は、次のとおり先着順での追加募集を行います。

履修科目は、曜日時限から選択、または「科目群から履修科目を選択」のボタンから登録してください。登録エラーが表示されなければ、登録は完了となります。

〈申請日時〉

(表1) 人文学部開設科目	2年次以上	3月25日(月) 9:00～
	1年次	4月4日(木) 20:00～
(表2) 法学部開設科目	3月25日(月) 9:00～	
(表3) 経済学部開設科目	追加募集はありません。	
(表4) 商学部開設科目	3月25日(月) 9:00～	

(注) 上記の追加募集でも、なお定員に満たない後期完結の制限科目は、後期登録変更期間に追加募集を行うことがあります。追加募集を行う場合は、登録変更期間前にFUポータルでお知らせします。

(4) 制限科目申請期間に登録した科目の削除について

制限科目申請期間に登録した科目を履修登録期間中に削除する場合、下記のとおり取扱います。

- ① 前期履修登録期間 すべての制限科目 … 削除 ×
 ② 後期登録変更期間 表1・4の制限科目 … 削除 ×
 表2・3の制限科目 … 削除 ○

(注) 上記のうち、削除×でも前期・後期の履修登録期間中に追加募集で登録した科目は 削除○

(5) 履修登録の撤回について

(表1)の科目は履修登録の撤回ができません(P.93参照)。(表2)～(表4)の科目については撤回可能です。

7 登録撤回不可科目

学科履修規程第9条第2項により履修登録の撤回が認められていますが、下表の人文学部の専門教育科目および関連教育科目は登録撤回不可科目とします。

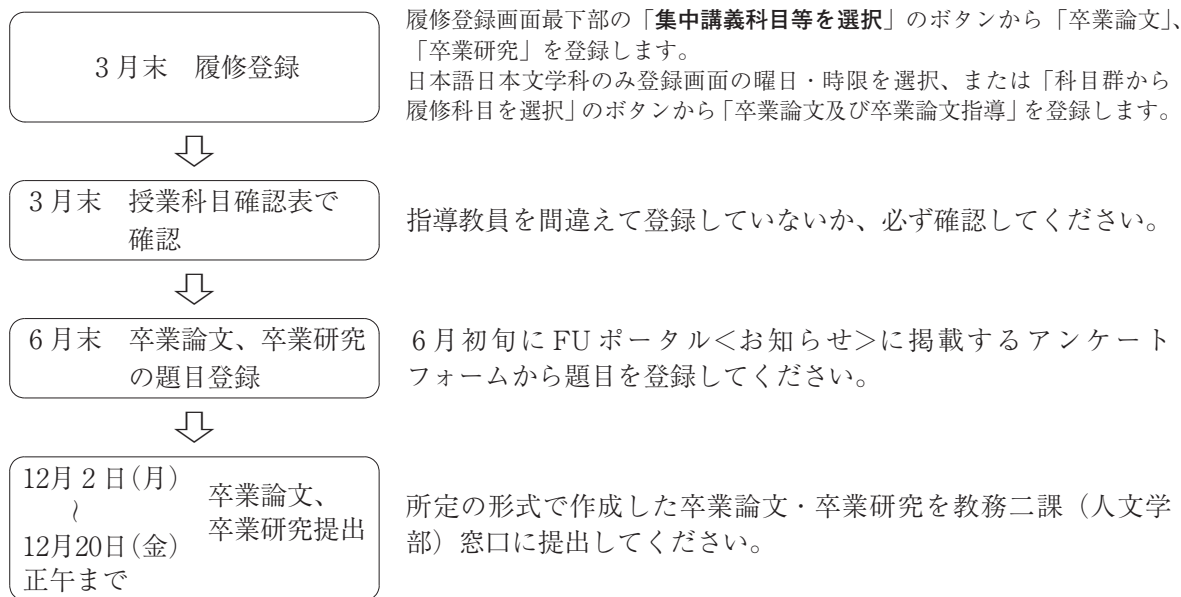
学 科 名	対 象 科 目
文化学科	必修科目、選択必修科目、情報処理入門、情報処理実習、概説日本史、概説外国史、思想文化文献購読Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
歴史学科	必修科目、選択必修科目（概説、特講を除く）、概説社会学、概説哲学、コンピュータ入門Ⅰ・Ⅱ
日本語日本文学科	必修科目、コンピュータ入門Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
教育・臨床心理学科	必修科目、概説哲学、概説社会学、概説日本史、概説外国史、社会教育実習、コンピュータ入門Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、インターンシップ実習、インターンシップ実習Ⅰ
英語学科	必修科目、選択必修科目、英語プレゼンテーションA・B（一瀬）、ビジネスライティング、アカデミックライティング、コンピュータ入門Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
ドイツ語学科	必修科目、コンピュータ入門Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
フランス語学科	必修科目、コンピュータ入門Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
東アジア地域言語学科	必修科目、コンピュータ入門Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

(注) 4年次生以上の卒業見込者で履修登録の撤回をする場合は、卒業に必要な単位数が不足しないよう注意してください。卒業に必要な単位数が不足した場合は、卒業見込証明書の発行ができません。

8 卒業論文、卒業研究

(1) 履修条件：今年度に卒業が可能な者（卒業見込み者）

(2) 提出までの流れ



(注) 提出物の詳細は、FUポータル〈お知らせ〉で確認してください。

(3) その他

歴史学科、日本語日本文学科を除く学科の学生は、卒業論文、卒業研究を提出できない場合に備えて単位数に余裕のある登録をしてください。

9 大学院授業科目の早期履修

英語学科、ドイツ語学科およびフランス語学科の学生で、大学院授業科目の履修希望者は、「福岡大学人文学部における大学院の授業科目早期履修制度に関する申し合せ」を確認のうえ、履修登録期間中（3月25～29日）に教務二課（人文学部）に申し出てください。

福岡大学人文学部における大学院の授業科目早期履修制度に関する申し合せ

1 趣 旨

本学の文学部4年次以上の卒業見込者で、本学大学院人文科学研究科博士課程前期又は修士課程（以下「大学院」という。）へ進学を希望する者は、学科主任及び大学院授業科目担当教員の許可を得て、大学院の授業科目を履修することができる。

2 目 的

- (1) この制度は、大学院への進学を奨励するものである。
- (2) 人文学部4年次から大学院授業科目を履修することによって、大学院進学希望者に目的意識と計画性を持たせ、あわせて、大学院研究活動の活性化を図る。
- (3) 人文学部4年次在学中に修得した大学院授業科目について、大学院に入学後、当該授業科目の単位を大学院の修了要件単位として認定することにより、ゆとりのある学習・研究時間を確保する。

3 履修資格

大学院授業科目を履修することができる者は、次の各号のすべてに該当する者とする。

- (1) 大学院へ進学を希望する者
 - (2) 本学人文学部4年次以上の卒業見込者
 - (3) 大学院各専攻の基礎となる学科において、3年次までの成績が特に優秀と認められる者
- 4 大学院授業科目の履修、成績及び単位認定等の取扱い
- (1) 履修できる大学院授業科目は、大学院各専攻が指定する授業科目に限る。
 - (2) 大学院各専攻が指定する授業科目数は任意とし、非常勤講師が担当する授業科目も指定することができる。
 - (3) 学生は、進学を希望する専攻以外の専攻が指定する授業科目も履修することができる。
 - (4) 大学院授業科目の履修を希望する学生は、大学院授業科目履修願により、所定の期間内に履修登録手続きをしなければならない。
 - (5) 学生が履修することのできる授業科目は、大学院授業科目の履修要項によって周知し、その講義内容は、Web シラバスに掲載する。
 - (6) 履修する大学院授業科目の単位数は、福岡大学学科履修規程第5条に定める年間の履修単位数に含めないものとする。また、履修できる大学院授業科目の単位数は、15単位を限度とする。
 - (7) 大学院授業科目の受講料は、徴収しない。
 - (8) 履修する大学院授業科目の成績評価は、担当教員が授業シラバスで示す評価の方法によって行う。
 - (9) 大学院授業科目の成績は、学部学生としての成績表に記載するが、学部卒業要件としての単位数には算入しない。
 - (10) 学生が大学院入学後、学部学生として履修した大学院授業科目を大学院の修了要件単位として認定申請した場合は、前号の成績に基づき、認定する。修了要件単位としての認定申請に期間の制限は設けないが、カリキュラム変更等により単位認定ができないと判断される場合は、認定しない。
 - (11) 学生が前号の申請を行わないで、大学院入学後にすでに履修した大学院授業科目を重複履修することを妨げない。
- 5 実施日
- この申合せは、令和4年4月1日から実施する。

10 早期卒業

人文学部では、本学大学院への進学を希望する場合、在学3年目終了時での学部卒業を認める早期卒業制度を設けています。ドイツ語学科およびフランス語学科に在籍し、ヨーロッパ特別コースを選択する学生が、下記の条件を満たしたうえで、本学大学院への進学が確定している場合に適用されます。

これにより、学部3年間と大学院修士課程2年間の計5年間の一貫教育を通じて、ドイツ語またはフランス語の高度な運用能力を身につけ、ヨーロッパ（特にドイツ語圏・フランス語圏）を中心としてグローバルに活躍できる人材を育成します。

- (1) 在学1年目終了時の修得単位数が38単位以上で、かつ、福岡大学成績考査規程第4条第5項(p.343)に定めるGPA評定が3.25以上であること。
- (2) 在学2年目終了時の修得単位数が80単位以上で、かつ、同GPA評定が3.25以上であること。
- (3) 3年間在学し、その終了時において卒業に必要な124単位以上を修得し、かつ、同GPA評定が3.25以上であること。

(注) 早期卒業を希望する者は、「福岡大学人文学部（ドイツ語学科及びフランス語学科のヨーロッパ特別コース）早期卒業に関する内規」を参照のうえ、2年次の1月末までに教務二課（人文学部）窓口にお問い合わせください。

福岡大学人文学部（ドイツ語学科及びフランス語学科のヨーロッパ特別コース）早期卒業に関する内規

（趣 旨）

第1条 この内規は、福岡大学学則第38条第1項ただし書の規定に基づき、本学人文学部のドイツ語学科又はフランス語学科に3年在学しヨーロッパ特別コースを選択する学生が、当該学科の卒業要件として定める単位を優秀な成績で修得し、かつ、本学大学院への進学が確定している場合における在学3年目終了時での卒業（以下「早期卒業」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（早期卒業の出願等）

第2条 早期卒業を希望する者は、次の各号に掲げる全ての要件を満たし、在学2年目の所定の期日までに早期卒業願を提出しなければならない。

(1) 在学1年目の修得単位数が38単位以上

(2) 在学2年目までの修得単位数が80単位以上

(3) 各在学年次終了時において、福岡大学成績考査規程第4条第5項に定めるGPA評価が3.25以上

2 前項に規定する願出を提出した者は、人文学部教授会において早期卒業予定者とすることの承認を受けなければならない。

（修学計画書）

第3条 前条第2項の規定により早期卒業予定者と認められた者は、在学3年目の授業科目の履修にあたり、人文学部教授会が指名する教育職員の指導を受けるとともに、修学計画書を提出しなければならない。

（早期卒業の決定等）

第4条 早期卒業予定者は、次の書類を在学3年目の所定の期日までに提出するものとする。

(1) 早期卒業願

(2) 本学大学院に係る合格通知書及び入学誓書

2 人文学部教授会は前項各号の書類及び面接により、次に掲げる早期卒業の要件を確認し、早期卒業の可否を審査する。

(1) 本学大学院への進学が確定していること。

(2) 卒業に必要な単位数124単位以上を修得し、かつ、GPA評価が3.25以上であること。

3 早期卒業の決定は、人文学部教授会の議を経て、学長がこれを行う。

（早期卒業予定の取消及び辞退）

第5条 人文学部教授会は、早期卒業予定者が在学3年目の前期終了時又は在学3年目の終了時において前条第2項各号に掲げる要件を満たす見込みがない又は満たさなかったときは、その早期卒業予定を取り消す。

2 早期卒業予定者は、人文学部教授会に届け出て、早期卒業を辞退することができる。

3 第1項の規定により早期卒業を取り消された者又は前項の規定により辞退した者は、在学4年目において専門教育科目を登録しなければならない。

附 則

この内規は、令和6年4月1日から施行する。

■ 各 学 科

【文化学科】

- (1) 以下の演習科目は、指示されたクラス分けに従って登録してください。
- ① 1年次科目「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」
 - ② 2年次科目「文化学演習Ⅰ・Ⅱ」
 - ③ 3年次科目「文化学演習Ⅲ・Ⅳ」
 - ④ 4年次科目「文化学演習Ⅴ・Ⅵ」
- (2) 19台以降の学生は、2年次選択必修科目を8単位以上修得する必要があります。そのうち、思想文化科目群から2単位以上、社会文化科目群から2単位以上修得しなければなりません。

【歴史学科】

1. 専修制について

2年次以上は必ず専修制を厳守してください。

2. 選択必修科目の履修方法

(1) 1年次科目

「概説」科目のいずれかで8単位以上を修得しなければなりません。

(2) 2年次科目

所属する専修の「原典講読」（考古学専修は「考古学方法論（含、実習）」）および「基礎演習」を各4単位以上修得しなければなりません。

(3) 3年次以上科目

- ・各専修共通の「特講」科目を12単位以上修得しなければなりません。
- ・所属する専修の「演習」科目を12単位以上修得、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければなりません。

（例）東洋史専修の場合

東洋史演習ⅠA(2)	}	同一ローマ数字で	8単位	}	3年次、4年次「演習」
東洋史演習ⅠB(2)					
東洋史演習ⅠC(2)					
東洋史演習ⅠD(2)					
東洋史演習ⅢA(2)					全体で12単位
東洋史演習ⅢB(2)					

3. その他

- (1) 他専修科目の単位は、すべて自由履修単位に算入します。
- (2) 「考古学方法論（含、実習）A・B」を履修する場合は、納入金規程第3条第3項別表第1（P. 351参照）に従い、実習費として3万円を納入しなければなりません（再履修者を除く）。
 （注）納付期間、支払方法など詳細については、FUポータル〈お知らせ〉に掲載します。指定された期日までに必ず納入してください。

【日本語日本文学科】

1. 選択必修科目の履修方法

科	目	必要単位数
1年次	〇〇概論	8単位以上
2年次	〇〇調査研究法	8単位以上
3年次演習	〇〇演習 a	4単位以上
4年次演習	〇〇演習 b	4単位以上
合	計	24単位以上

(注) 3年次、4年次の「演習」は、2年次の調査研究法を履修したのちに履修することを原則とします。

2. 「日本語教育法」および「日本語教授法演習」の履修

「日本語教育法」は、Ⅰ・Ⅱを履修したのちⅢ・Ⅳを履修し、「日本語教授法演習Ⅰ・Ⅱ」は、「日本語教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」をすべて履修したのちに履修することを原則とします。

【教育・臨床心理学科】

18台以降

1. トラック制について

2年次より、自身のキャリアを見据えた学修を進めるために、公認心理師トラック、キャリアデザイントラック、学校教員トラックの3つの履修モデルであるトラックに分かれます。そのため、1年次後期の「キャリア形成基礎論Ⅰ」（必修科目）で、将来の進路先の状況や各トラックの学習内容を十分に検討する機会を設けています。トラックごとの人数に大きな偏りが生じた場合は、1年次の年間GPAが高い学生を優先することがあります。

各トラックの概要および人数の上限は以下の通りです。

公認心理師トラック (45名)

公認心理師の受験資格の取得を目指します。また、卒業後、大学院進学もしくは一定期間の実務経験を通して公認心理師の受験資格を得て、国家資格を取得し、心理専門職に就くことを目指します。

キャリアデザイントラック (65名)

教育学および臨床心理学を学ぶことで、自らのキャリアをデザインしていくと共に、コミュニティに参画していくために必要な力を獲得し、社会の中で自分を活かし、他者の生き方を支援できるようになることを目指します。

学校教員トラック (30名)

多様な人々が生活する社会のあり方を考え、そうした社会に生きる子どもを育てることのできる実践的指導力の基礎を有した教員（中学校教諭（社会科）、高校教諭（公民）、小学校教諭（別プログラムの受講が必須））及び支援者（フリースクールや教育関連企業、教育行政職など）になることを目指します。

2. 専門教育科目の履修方法

(1) 以下の演習科目は、指示されたクラス分けに従って登録してください。

- ① 1年次科目「基礎演習A」
- ② 2年次科目「基礎演習B」
- ③ 3年次科目「専門演習Ⅰ・Ⅱ」
- ④ 4年次科目「専門演習Ⅲ・Ⅳ」

(2) 2年次科目「インターンシップ実習Ⅰ」(21台～18台)「インターンシップ実習」(23台～22台)「キャリアデザイン実習」(24台以降)、4年次科目「心理演習」は、2時間連続の授業で変則的な時間割になります。シラバスやFUポータル<お知らせ>で授業日を確認してください。

(3) 実習・演習科目には、以下の通り履修に条件が設定されているものがあります。

- ① 「心理実習」の履修希望者は、公認心理師トラックに所属し、次の条件を満たしていなければならない。

<21台以降>

(ア) 3年次までの累積 GPA2.5以上 (学年末時点における卒業要件科目の累積 GPA。履修登録前に必ず確認すること)

(イ) 「キャリア形成基礎論Ⅱ」の単位修得

(ウ) 公認心理師資格に必要となる25科目のうち、「心理演習」「心理実習」を除く23科目の単位修得

<20台～18台>

「臨床心理学概論」「キャリア形成基礎論Ⅱ」および「公認心理師の職責」を修得していること。

- ② 21台以降の者が「心理演習」を履修する場合は、公認心理師トラックに所属していなければならない。
 - ③ 「インターンシップ実習Ⅰ」(21台～18台)「インターンシップ実習」(22台)を履修しようとする者は、キャリアデザイントラックに所属し、「キャリア形成基礎論Ⅰ」を修得していること。
 - ④ 「インターンシップ実習Ⅱ」(21台～18台)または「キャリアデザイン演習」(22台以降)、および「キャリアデザイン調査実習Ⅰ・Ⅱ」(21台～18台)または「キャリアデザイン調査法」(22台以降)を履修しようとする者は、キャリアデザイントラックに所属し、「キャリア形成基礎論Ⅱ」を修得していること。
 - ⑤ 「学校インターンシップ実習」を履修しようとする者は、学校教員トラックに所属し、「キャリア形成基礎論Ⅱ」を修得していること。
 - ⑥ 「社会教育実習」(22台～20台)を履修しようとする者は、社会教育主事課程の履修を希望し、教職課程教育センターへ社会教育主事課程履修申込書を提出している者に限る。加えて、「生涯学習概論A」または「生涯学習概論B」のうち2単位以上、および「生涯学習支援論A」または「生涯学習支援論B」のうち2単位以上を修得していること。また、履修する年度に「社会教育演習A・B」を履修登録すること。
- (4) 以下の実習・演習科目を履修する場合は、納入金規程第3条第3項別表第1 (P.351参照)に従い、実習費を納入しなければなりません。納付期間、支払い方法などの詳細については、別途お知らせします。
- ① 「心理演習」(再履修を除く)…臨床心理学実習費 (3万円)
 - ② 「キャリアデザイン実習」(24台以降)、「インターンシップ実習」(23～22台)、「インターンシップ実習Ⅰ」(21台～18台)…学外実習費 (3万円)
 - ③ 「社会教育実習」…社会教育実習費 (6千円)
 - ④ 「キャリアデザイン調査実習Ⅰ・Ⅱ」(21台～18台)、「キャリアデザイン調査法」(22台以降)、「心理実習」…学外実習費 (実費)
- なお、上記の実習・演習科目および「学校インターンシップ実習」(23台～18台)、「教育デザイン実習」(24台以降)(実習費は不要)は、交通費等の実費が必要になります。
- (5) 「神経・生理心理学」は集中講義で実施されます。履修登録の際は91ページ「(6)集中講義について」を確認してください。

- (6) 公認心理師の受験資格を得たい学生は、公認心理師トラックに所属し、かつ公認心理師法に定められた次の25科目を修得したうえで卒業することが必要です。詳しくは公認心理師トラックのオリエンテーションにて説明します。履修指導に従い、計画的に単位修得してください。

心理学概論

臨床心理学概論

心理学統計法

心理学研究法

障害者・障害児心理学

発達心理学

健康・医療心理学

福祉心理学

感情・人格心理学

知覚・認知心理学

学習・言語心理学

司法・犯罪心理学

教育・学校心理学

神経・生理心理学

関係行政論

公認心理師の職責

産業・組織心理学

心理学実験

心理学的支援法

社会・集団・家族心理学

心理的アセスメント

精神疾患とその治療

人体の構造と機能及び疾病

心理演習

心理実習

【英語学科】

1. コース制について

2年次以上は必ずコース制を順守してください。

2. 必修科目の履修について

「学科共通必修科目」から36単位、「自コース必修科目」から4単位を修得しなければなりません。

3. 英語圏文化研修について

次年度に「英語圏文化研修A・B」(23台以降)、「英語圏文化研修」(22台以前)を履修する者は、12月～1月の申込期間に申し込みをしてください。

詳細は、12月初旬に概論等の科目で説明します。

4. 選択必修科目・選択科目のコース別履修方法

言語・コミュニケーションコース

○ 選択必修科目

次のとおり、定められた組み合わせで「自コース科目」から8単位以上を修得しなければなりません。

科 目 名	必要単位数
英語学演習ⅠA	8単位
英語学演習ⅠB	
英語学演習ⅡA	
英語学演習ⅡB	
スピーチ・コミュニケーション演習ⅠA	
スピーチ・コミュニケーション演習ⅠB	
スピーチ・コミュニケーション演習ⅡA	
スピーチ・コミュニケーション演習ⅡB	

カッコでくくった組合せで必要単位を修得する必要があります。

○ 選択科目

「学科共通選択科目」「他コース全科目」から合計20単位以上、「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければなりません。

他コース科目の修得単位は、全て卒業要件に算入されます。

文化・文学コース

○ 選択必修科目

次のとおり、定められた組み合わせで「自コース科目」から8単位以上を修得しなければなりません。

科 目 名	必要単位数
イギリス文化・文学演習ⅠA	8単位
イギリス文化・文学演習ⅠB	
イギリス文化・文学演習ⅡA	
イギリス文化・文学演習ⅡB	
アメリカ文化・文学演習ⅠA	
アメリカ文化・文学演習ⅠB	
アメリカ文化・文学演習ⅡA	
アメリカ文化・文学演習ⅡB	

カッコでくくった組合せで必要単位数を修得する必要があります。

○ 選択科目

「学科共通選択科目」「他コース全科目」から合計20単位以上、「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければなりません。

他コース科目の修得単位は、全て卒業要件に算入されます。

【ドイツ語学科】

1. 履修上の注意

- (1) 「ドイツ語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」の定期試験日程は、他学科と異なりますので注意してください。
- (2) 第2外国語として英語を履修する場合、「アドバンスト・イングリッシュⅠ・Ⅱ」は選択科目のため、第2外国語の必要単位（8単位）には含まれませんので注意してください。
- (3) 後期開講の「西洋建築史」の定期試験時間割は後期にお知らせします。FUポータル<お知らせ>で確認のうえ、他の科目の試験時間割と重複した場合は、直ちに教務二課（人文学部）に申し出てください。

2. コース制について

必ずコース制を厳守してください。

3. 履修条件がある科目について

3・4年次授業科目のうち以下の科目を履修する者は、「ドイツ語ⅠA・ⅠB」を修得していなければなりません。

「演習ⅠA・ⅠB」

「演習ⅡA・ⅡB」

「ドイツ語圏地域文化講読A・B・C・D」

「ヨーロッパ地域文化講読A・B・C・D」

「ドイツ語圏言語文化講読A・B・C・D」

「ヨーロッパ言語文化講読A・B・C・D」

「ドイツ語圏表象文化講読A・B・C・D」

「ヨーロッパ表象文化講読A・B・C・D」

4. 演習の履修について

原則として3年次に「演習ⅠA・ⅠB」を、4年次に「演習ⅡA・ⅡB」を同一担当教員で履修してください。

5. 他コース科目の履修について

1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上の者は、他コースの専門科目を履修することができます。なお、留学、編・転入、学士入学、転部・転科により「前年度の専門教育科目のGPA評価」がない学生については、留学先、または在籍した大学等での前年度の成績によりドイツ語学科が登録を認める場合があります。

履修を希望する者は、履修登録期間中に教務二課（人文学部）で手続きをしてください。

修得単位の扱いについては、次のとおりです。

- (1) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入します。
- (2) 他コースの必修科目および選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入します。

6. 専門教育科目のコース別履修方法

ドイツ語圏コース

○ 必修科目

「両コース共通必修科目」から12単位、「自コース必修科目」から12単位を修得しなければなりません。

○ 選択必修科目

次のとおり、定められた組み合わせで「両コース共通科目」から16単位以上、「自コース科目」から8単位以上を修得しなければなりません。

選択必修科目の修得単位数が、卒業要件単位数を超えた場合は、選択科目に算入されます。

区 分	科 目 名	必要単位数
両コース共通科目	ヨーロッパ地域文化特講A・B・C・D ヨーロッパ言語文化特講A・B・C・D ヨーロッパ表象文化特講A・B・C・D	8単位以上
	ドイツ語圏地域文化講読A・B ドイツ語圏言語文化講読A・B ドイツ語圏表象文化講読A・B	4単位以上
	ドイツ語圏地域文化講読C・D ドイツ語圏言語文化講読C・D ドイツ語圏表象文化講読C・D	4単位以上
ドイツ語圏 コース科目	ドイツ語作文A・B・C・D	4単位以上
	ドイツ語会話A・B・C・D	4単位以上
合 計		24単位以上

○ 選択科目

「両コース共通選択科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければなりません。

ヨーロッパ特別コース

○ 必修科目

「両コース共通必修科目」から12単位、「自コース必修科目」から20単位を修得しなければなりません。

○ 選択必修科目

次のとおり、定められた組み合わせで「両コース共通科目」から4単位以上、「両コース共通科目および自コース科目」から8単位以上、「自コース科目」から10単位以上を修得しなければなりません。

選択必修科目の修得単位数が、卒業要件単位数を超えた場合は、選択科目に算入されません。

区 分		科 目 名	必要単位数
両コース共通科目		ヨーロッパ地域文化特講A・B・C・D ヨーロッパ言語文化特講A・B・C・D ヨーロッパ表象文化特講A・B・C・D	4単位以上
両コース共通科目および自コース科目	両コース共通科目	ドイツ語圏地域文化講読A・B ドイツ語圏言語文化講読A・B ドイツ語圏表象文化講読A・B	4単位以上
	ヨーロッパ特別コース科目	ヨーロッパ地域文化講読A・B ヨーロッパ言語文化講読A・B ヨーロッパ表象文化講読A・B	
	両コース共通科目	ドイツ語圏地域文化講読C・D ドイツ語圏言語文化講読C・D ドイツ語圏表象文化講読C・D	4単位以上
	ヨーロッパ特別コース科目	ヨーロッパ地域文化講読C・D ヨーロッパ言語文化講読C・D ヨーロッパ表象文化講読C・D	
ヨーロッパ特別コース科目		ヨーロッパ文化基礎論A・B	2単位以上
		コミュニケーション理論と実践A・B・C・D	4単位以上
		プレゼンテーション理論と実践A・B・C・D	4単位以上
合 計			22単位以上

○ 選択科目

「両コース共通選択科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければなりません。

【フランス語学科】

1. 履修上の注意

- (1) 「フランス語 I A・I B・II A・II B」の定期試験日程は、他学科と異なりますので注意してください。
- (2) 第2外国語として英語を履修する場合、「アドバンスト・イングリッシュ I・II」は選択科目のため、第2外国語の必要単位（8単位）には含まれませんので注意してください。
- (3) 後期開講の「西洋建築史」の定期試験時間割は後期にお知らせします。FUポータル<お知らせ>で確認のうえ、他の科目の試験時間割と重複した場合は、直ちに教務二課（人文学部）に申し出てください。

2. コース制について

必ずコース制を厳守してください。

3. 履修条件がある科目について

3・4年次授業科目のうち以下の科目を履修する者は、「フランス語 I A・I B」を修得していなければなりません。

「演習 I A・I B」

「演習 II A・II B」

「フランス語圏地域文化講読 A・B・C・D」

「ヨーロッパ地域文化講読 A・B・C・D」

「フランス語圏言語文化講読 A・B・C・D」

「ヨーロッパ言語文化講読 A・B・C・D」

「フランス語圏表象文化講読 A・B・C・D」

「ヨーロッパ表象文化講読 A・B・C・D」

4. 演習の履修について

原則として3年次に「演習 I A・I B」を、4年次に「演習 II A・II B」を同一担当教員で履修してください。

5. 他コース科目の履修について

1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上の者は、他コースの専門科目を履修することができます。なお、留学、編・転入、学士入学、転部・転科により「前年度の専門教育科目のGPA評価」がない学生については、留学先、または在籍した大学等での前年度の成績によりフランス語学科が登録を認める場合があります。

履修を希望する者は、履修登録期間中に教務二課（人文学部）で手続きをしてください。

修得単位の扱いについては、次のとおりです。

- (1) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入します。
- (2) 他コースの必修科目および選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入されます。

6. 専門教育科目のコース別履修方法

フランス語圏コース

○ 必修科目

「両コース共通必修科目」から12単位、「自コース必修科目」から12単位を修得しなければなりません。

○ 選択必修科目

次のとおり、定められた組み合わせで「両コース共通科目」から16単位以上、「自コース科目」から8単位以上を修得しなければなりません。

選択必修科目の修得単位数が、卒業要件単位数を超えた場合は、選択科目に算入されます。

区 分	科 目 名	必要単位数
両コース共通科目	ヨーロッパ地域文化特講A・B・C・D ヨーロッパ言語文化特講A・B・C・D ヨーロッパ表象文化特講A・B・C・D	8単位以上
	フランス語圏地域文化講読A・B フランス語圏言語文化講読A・B フランス語圏表象文化講読A・B	4単位以上
	フランス語圏地域文化講読C・D フランス語圏言語文化講読C・D フランス語圏表象文化講読C・D	4単位以上
フランス語圏 コース科目	フランス語作文A・B・C・D	4単位以上
	フランス語会話A・B・C・D	4単位以上
合 計		24単位以上

○ 選択科目

「両コース共通選択科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければなりません。

ヨーロッパ特別コース

○ 必修科目

「両コース共通必修科目」から12単位、「自コース必修科目」から20単位を修得しなければなりません。

○ 選択必修科目

次のとおり、定められた組み合わせで「両コース共通科目」から4単位以上、「両コース共通科目および自コース科目」から8単位以上、「自コース科目」から10単位以上を修得しなければなりません。

選択必修科目の修得単位数が、卒業要件単位数を超えた場合は、選択科目に算入されず。

区 分		科 目 名	必要単位数
両コース共通科目		ヨーロッパ地域文化特講A・B・C・D ヨーロッパ言語文化特講A・B・C・D ヨーロッパ表象文化特講A・B・C・D	4単位以上
両コース共通科目および自コース科目	両コース共通科目	フランス語圏地域文化講読A・B フランス語圏言語文化講読A・B フランス語圏表象文化講読A・B	4単位以上
	ヨーロッパ特別コース科目	ヨーロッパ地域文化講読A・B ヨーロッパ言語文化講読A・B ヨーロッパ表象文化講読A・B	
	両コース共通科目	フランス語圏地域文化講読C・D フランス語圏言語文化講読C・D フランス語圏表象文化講読C・D	4単位以上
	ヨーロッパ特別コース科目	ヨーロッパ地域文化講読C・D ヨーロッパ言語文化講読C・D ヨーロッパ表象文化講読C・D	
ヨーロッパ特別コース科目		ヨーロッパ文化基礎論A・B	2単位以上
		コミュニケーション理論と実践A・B・C・D	4単位以上
		プレゼンテーション理論と実践A・B・C・D	4単位以上
合 計			22単位以上

○ 選択科目

「両コース共通選択科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければなりません。

【東アジア地域言語学科】

1. コース制について

2年次以上は必ずコース制を厳守してください。

2. 外国語の履修について

(1) 卒業要件16単位の内訳

科目名	必要単位数	備考
フレッシュマン・イングリッシュⅠ・Ⅱ インターメディアイト・イングリッシュⅠ・Ⅱ	4単位	東アジア地域言語学科 全員
中国語ⅠA・ⅠB	4単位	
朝鮮語ⅠA・ⅠB	4単位	
中国語ⅡA・ⅡBまたは朝鮮語ⅡA・ⅡB	4単位	中国コースは中国語で、韓国コースは朝鮮語で必要単位を修得すること

(2) 中国語および朝鮮語の定期試験日程について

「中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」「朝鮮語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」の定期試験日程は、他学科と異なりますので注意してください。

(3) 「中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」「朝鮮語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」について

他学科とは異なりAが前期、Bが後期の半期完結科目です。それぞれ週2回授業が行われますので2コマとも登録してください。

3. 専門教育科目の履修方法

(1) 「中国語入門A・B」および「朝鮮語入門A・B」は、学科基本クラスによってクラス分けしてあります。授業時間割表で確認して登録してください。

(2) 選択必修科目の履修方法

① 1年次科目

「中国語入門A・B」または「朝鮮語入門A・B」のいずれかで4単位を修得しなければなりません。

(例) 中国語入門A、中国語入門Bで4単位修得……○

中国語入門A、朝鮮語入門Bで4単位修得……×

② 2年次以上科目

自コースに設置された科目から30単位を修得しなければなりません。

他コース科目の単位は、すべて自由履修単位に算入されます。

人文学部他学科及び他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目

【23台以降】

学 科	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次
英 語 学 科		*ドイツ語基礎講読A (2) *ドイツ語基礎講読B (2) *ドイツ語圏現地研修 (4) *フランス語基礎講読A (2) *フランス語基礎講読B (2) *フランス語圏現地研修 (4) *コミュニケーション基礎A (2) *コミュニケーション基礎B (2) *プレゼンテーション基礎A (2) *プレゼンテーション基礎B (2) *コミュニケーション中国語I A (1) *コミュニケーション中国語I B (1) *中国語表現法A (2) *中国語表現法B (2) *コミュニケーション朝鮮語I A (1) *コミュニケーション朝鮮語I B (1) *朝鮮語表現法A (2) *朝鮮語表現法B (2) 経営入門 (2) 経営学総論 (2) 簿記原理 (4)	*コミュニケーション中国語II A (1) *コミュニケーション中国語II B (1) *コミュニケーション朝鮮語II A (1) *コミュニケーション朝鮮語II B (1) *ドイツ語会話A (2) *ドイツ語会話B (2) *ドイツ語会話C (2) *ドイツ語会話D (2) *ドイツ語作文A (2) *ドイツ語作文B (2) *ドイツ語作文C (2) *ドイツ語作文D (2) *時事ドイツ語A (2) *時事ドイツ語B (2) *ドイツ語圏地域文化講読A (2) *ドイツ語圏地域文化講読B (2) *ドイツ語圏地域文化講読C (2) *ドイツ語圏地域文化講読D (2) *ドイツ語圏言語文化講読A (2) *ドイツ語圏言語文化講読B (2) *ドイツ語圏言語文化講読C (2) *ドイツ語圏言語文化講読D (2) *ドイツ語圏表象文化講読A (2) *ドイツ語圏表象文化講読B (2) *ドイツ語圏表象文化講読C (2) *ドイツ語圏表象文化講読D (2) *中国事情講読A (2) *中国事情講読B (2) *中国事情講読C (2) *中国事情講読D (2) *中国言語文化講読A (2) *中国言語文化講読B (2) *中国言語文化講読C (2) *中国言語文化講読D (2) 会社法I (2) 会社法II (2) 国際経済学 (4) 貿易商務論A (2) 貿易商務論B (2)	*コミュニケーション中国語III A (1) *コミュニケーション中国語III B (1) *コミュニケーション朝鮮語III A (1) *コミュニケーション朝鮮語III B (1) *フランス語会話A (2) *フランス語会話B (2) *フランス語会話C (2) *フランス語会話D (2) *フランス語作文A (2) *フランス語作文B (2) *フランス語作文C (2) *フランス語作文D (2) *時事フランス語A (2) *時事フランス語B (2) *フランス語圏地域文化講読A (2) *フランス語圏地域文化講読B (2) *フランス語圏地域文化講読C (2) *フランス語圏地域文化講読D (2) *フランス語圏言語文化講読A (2) *フランス語圏言語文化講読B (2) *フランス語圏言語文化講読C (2) *フランス語圏言語文化講読D (2) *フランス語圏表象文化講読A (2) *フランス語圏表象文化講読B (2) *フランス語圏表象文化講読C (2) *フランス語圏表象文化講読D (2) *韓国事情講読A (2) *韓国事情講読B (2) *韓国事情講読C (2) *韓国事情講読D (2) *韓国言語文化講読A (2) *韓国言語文化講読B (2) *韓国言語文化講読C (2) *韓国言語文化講読D (2) 国際金融論I (2) 国際金融論II (2) 会計学総論 (2) 財務会計論 (2)
		*英語読解I A (1) *英語読解I B (1) *英語ライティングA (1) *英語ライティングB (1) *英会話II A (1) *英会話II B (1) *英語プレゼンテーションA (2) *英語プレゼンテーションB (2) *フランス語基礎講読A (2) *フランス語基礎講読B (2) *コミュニケーション中国語I A (1) *コミュニケーション中国語I B (1) *中国語表現法A (2) *中国語表現法B (2) *コミュニケーション朝鮮語I A (1) *コミュニケーション朝鮮語I B (1) *朝鮮語表現法A (2) *朝鮮語表現法B (2) 経営入門 (2) 経営学総論 (2) 簿記原理 (4)	*英語読解II A (1) *英語読解II B (1) *英会話III A (1) *英会話III B (1) *メディア英語 (2) *観光・ビジネス英語 (2) *コミュニケーション中国語II A (1) *コミュニケーション中国語II B (1) *コミュニケーション朝鮮語II A (1) *コミュニケーション朝鮮語II B (1) *フランス語会話A (2) *フランス語会話B (2) *フランス語会話C (2) *フランス語会話D (2) *時事フランス語A (2) *中国事情講読A (2) *中国事情講読B (2) *中国事情講読C (2) *中国事情講読D (2) *中国言語文化講読A (2) *中国言語文化講読B (2) *中国言語文化講読C (2) *中国言語文化講読D (2) 国際経済学 (4) 貿易商務論A (2) 貿易商務論B (2) 会計学総論 (2)	*コミュニケーション中国語III A (1) *コミュニケーション中国語III B (1) *コミュニケーション朝鮮語III A (1) *コミュニケーション朝鮮語III B (1) *フランス語作文A (2) *フランス語作文B (2) *フランス語作文C (2) *フランス語作文D (2) *時事フランス語B (2) *韓国事情講読A (2) *韓国事情講読B (2) *韓国事情講読C (2) *韓国事情講読D (2) *韓国言語文化講読A (2) *韓国言語文化講読B (2) *韓国言語文化講読C (2) *韓国言語文化講読D (2) 財務会計論 (2) 国際金融論I (2) 国際金融論II (2)
		*英語読解II A (1) *英語読解II B (1) *英会話III A (1) *英会話III B (1) *メディア英語 (2) *観光・ビジネス英語 (2) *コミュニケーション中国語II A (1) *コミュニケーション中国語II B (1) *コミュニケーション朝鮮語II A (1) *コミュニケーション朝鮮語II B (1) *フランス語会話A (2) *フランス語会話B (2) *フランス語会話C (2) *フランス語会話D (2) *時事フランス語A (2) *中国事情講読A (2) *中国事情講読B (2) *中国事情講読C (2) *中国事情講読D (2) *中国言語文化講読A (2) *中国言語文化講読B (2) *中国言語文化講読C (2) *中国言語文化講読D (2) 国際経済学 (4) 貿易商務論A (2) 貿易商務論B (2) 会計学総論 (2)	*コミュニケーション中国語III A (1) *コミュニケーション中国語III B (1) *コミュニケーション朝鮮語III A (1) *コミュニケーション朝鮮語III B (1) *フランス語作文A (2) *フランス語作文B (2) *フランス語作文C (2) *フランス語作文D (2) *時事フランス語B (2) *韓国事情講読A (2) *韓国事情講読B (2) *韓国事情講読C (2) *韓国事情講読D (2) *韓国言語文化講読A (2) *韓国言語文化講読B (2) *韓国言語文化講読C (2) *韓国言語文化講読D (2) 財務会計論 (2) 国際金融論I (2) 国際金融論II (2)	
		*英語読解III A (1) *英語読解III B (1) *英会話IV A (1) *英会話IV B (1) *メディア英語 (2) *観光・ビジネス英語 (2) *コミュニケーション中国語III A (1) *コミュニケーション中国語III B (1) *コミュニケーション朝鮮語III A (1) *コミュニケーション朝鮮語III B (1) *フランス語作文A (2) *フランス語作文B (2) *フランス語作文C (2) *フランス語作文D (2) *時事フランス語C (2) *韓国事情講読A (2) *韓国事情講読B (2) *韓国事情講読C (2) *韓国事情講読D (2) *韓国言語文化講読A (2) *韓国言語文化講読B (2) *韓国言語文化講読C (2) *韓国言語文化講読D (2) 財務会計論 (2) 国際金融論I (2) 国際金融論II (2)	*コミュニケーション中国語III A (1) *コミュニケーション中国語III B (1) *コミュニケーション朝鮮語III A (1) *コミュニケーション朝鮮語III B (1) *フランス語作文A (2) *フランス語作文B (2) *フランス語作文C (2) *フランス語作文D (2) *時事フランス語C (2) *韓国事情講読A (2) *韓国事情講読B (2) *韓国事情講読C (2) *韓国事情講読D (2) *韓国言語文化講読A (2) *韓国言語文化講読B (2) *韓国言語文化講読C (2) *韓国言語文化講読D (2) 財務会計論 (2) 国際金融論I (2) 国際金融論II (2)	

() は単位数

*印の科目は、多言語強化プログラムの履修条件に該当する者のみ登録することができます。

学 科	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次
フ ラ ン ス 語 学 科		*英語読解 I A (1) *英語読解 I B (1) *英語ライティング A (1) *英語ライティング B (1) *英会話 II A (1) *英会話 II B (1) *英語プレゼンテーション A (2) *英語プレゼンテーション B (2) *ドイツ語基礎講読 A (2) *ドイツ語基礎講読 B (2) *コミュニケーション中国語 I A (1) *コミュニケーション中国語 I B (1) *中国語表現法 A (2) *中国語表現法 B (2) *コミュニケーション朝鮮語 I A (1) *コミュニケーション朝鮮語 I B (1) *朝鮮語表現法 A (2) *朝鮮語表現法 B (2) 経営入門 (2) 経営学総論 (2) 簿記原理 (4)	*英語読解 II A (1) *英語読解 II B (1) *英会話 III A (1) *英会話 III B (1) *メディア英語 (2) *観光・ビジネス英語 (2) *コミュニケーション中国語 II A (1) *コミュニケーション中国語 II B (1) *コミュニケーション朝鮮語 II A (1) *コミュニケーション朝鮮語 II B (1) *ドイツ語会話 A (2) *ドイツ語会話 B (2) *ドイツ語会話 C (2) *ドイツ語会話 D (2) *時事ドイツ語 A (2) *中国事情講読 A (2) *中国事情講読 B (2) *中国事情講読 C (2) *中国事情講読 D (2) *中国言語文化講読 A (2) *中国言語文化講読 B (2) *中国言語文化講読 C (2) *中国言語文化講読 D (2) 国際経済学 (4) 貿易商務論 A (2) 貿易商務論 B (2) 会計学総論 (2)	*コミュニケーション中国語 III A (1) *コミュニケーション中国語 III B (1) *コミュニケーション朝鮮語 III A (1) *コミュニケーション朝鮮語 III B (1) *ドイツ語作文 A (2) *ドイツ語作文 B (2) *ドイツ語作文 C (2) *ドイツ語作文 D (2) *時事ドイツ語 B (2) *韓国事情講読 A (2) *韓国事情講読 B (2) *韓国事情講読 C (2) *韓国事情講読 D (2) *韓国言語文化講読 A (2) *韓国言語文化講読 B (2) *韓国言語文化講読 C (2) *韓国言語文化講読 D (2) 財務会計論 (2) 国際金融論 I (2) 国際金融論 II (2)
		*英語読解 I A (1) *英語読解 I B (1) *英語ライティング A (1) *英語ライティング B (1) *英会話 II A (1) *英会話 II B (1) *英語プレゼンテーション A (2) *英語プレゼンテーション B (2) *ドイツ語基礎講読 A (2) *ドイツ語基礎講読 B (2) *ドイツ語圏現地研修 (4) *フランス語基礎講読 A (2) *フランス語基礎講読 B (2) *フランス語圏現地研修 (4) *コミュニケーション基礎 A (2) *コミュニケーション基礎 B (2) *プレゼンテーション基礎 A (2) *プレゼンテーション基礎 B (2)	*英語読解 II A (1) *英語読解 II B (1) *英会話 III A (1) *英会話 III B (1) *メディア英語 (2) *観光・ビジネス英語 (2) *ドイツ語会話 A (2) *ドイツ語会話 B (2) *ドイツ語会話 C (2) *ドイツ語会話 D (2) *ドイツ語作文 A (2) *ドイツ語作文 B (2) *ドイツ語作文 C (2) *ドイツ語作文 D (2) *時事ドイツ語 A (2) *時事ドイツ語 B (2) *ドイツ語圏地域文化講読 A (2) *ドイツ語圏地域文化講読 B (2) *ドイツ語圏地域文化講読 C (2) *ドイツ語圏地域文化講読 D (2) *ドイツ語圏言語文化講読 A (2) *ドイツ語圏言語文化講読 B (2) *ドイツ語圏言語文化講読 C (2) *ドイツ語圏言語文化講読 D (2) *ドイツ語圏表象文化講読 A (2) *ドイツ語圏表象文化講読 B (2) *ドイツ語圏表象文化講読 C (2) *ドイツ語圏表象文化講読 D (2)	*フランス語会話 A (2) *フランス語会話 B (2) *フランス語会話 C (2) *フランス語会話 D (2) *フランス語作文 A (2) *フランス語作文 B (2) *フランス語作文 C (2) *フランス語作文 D (2) *時事フランス語 A (2) *時事フランス語 B (2) *フランス語圏地域文化講読 A (2) *フランス語圏地域文化講読 B (2) *フランス語圏地域文化講読 C (2) *フランス語圏地域文化講読 D (2) *フランス語圏言語文化講読 A (2) *フランス語圏言語文化講読 B (2) *フランス語圏言語文化講読 C (2) *フランス語圏言語文化講読 D (2) *フランス語圏表象文化講読 A (2) *フランス語圏表象文化講読 B (2) *フランス語圏表象文化講読 C (2) *フランス語圏表象文化講読 D (2)
東アジア地域 言語学科		*英語読解 I A (1) *英語読解 I B (1) *英語ライティング A (1) *英語ライティング B (1) *英会話 II A (1) *英会話 II B (1) *英語プレゼンテーション A (2) *英語プレゼンテーション B (2) *ドイツ語基礎講読 A (2) *ドイツ語基礎講読 B (2) *ドイツ語圏現地研修 (4) *フランス語基礎講読 A (2) *フランス語基礎講読 B (2) *フランス語圏現地研修 (4) *コミュニケーション基礎 A (2) *コミュニケーション基礎 B (2) *プレゼンテーション基礎 A (2) *プレゼンテーション基礎 B (2)	*英語読解 II A (1) *英語読解 II B (1) *英会話 III A (1) *英会話 III B (1) *メディア英語 (2) *観光・ビジネス英語 (2) *ドイツ語会話 A (2) *ドイツ語会話 B (2) *ドイツ語会話 C (2) *ドイツ語会話 D (2) *ドイツ語作文 A (2) *ドイツ語作文 B (2) *ドイツ語作文 C (2) *ドイツ語作文 D (2) *時事ドイツ語 A (2) *時事ドイツ語 B (2) *ドイツ語圏地域文化講読 A (2) *ドイツ語圏地域文化講読 B (2) *ドイツ語圏地域文化講読 C (2) *ドイツ語圏地域文化講読 D (2) *ドイツ語圏言語文化講読 A (2) *ドイツ語圏言語文化講読 B (2) *ドイツ語圏言語文化講読 C (2) *ドイツ語圏言語文化講読 D (2) *ドイツ語圏表象文化講読 A (2) *ドイツ語圏表象文化講読 B (2) *ドイツ語圏表象文化講読 C (2) *ドイツ語圏表象文化講読 D (2)	*フランス語会話 A (2) *フランス語会話 B (2) *フランス語会話 C (2) *フランス語会話 D (2) *フランス語作文 A (2) *フランス語作文 B (2) *フランス語作文 C (2) *フランス語作文 D (2) *時事フランス語 A (2) *時事フランス語 B (2) *フランス語圏地域文化講読 A (2) *フランス語圏地域文化講読 B (2) *フランス語圏地域文化講読 C (2) *フランス語圏地域文化講読 D (2) *フランス語圏言語文化講読 A (2) *フランス語圏言語文化講読 B (2) *フランス語圏言語文化講読 C (2) *フランス語圏言語文化講読 D (2) *フランス語圏表象文化講読 A (2) *フランス語圏表象文化講読 B (2) *フランス語圏表象文化講読 C (2) *フランス語圏表象文化講読 D (2)

() は単位数

*印の科目は、多言語強化プログラムの履修条件に該当する者のみ登録することができます。

【22～20台】

学 科	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
英 語 学 科		*コミュニケーション基礎A (2) *コミュニケーション基礎B (2) *プレゼンテーション基礎A (2) *プレゼンテーション基礎B (2) 経営入門 (2) 経営学総論 (2) 簿記原理 (4)	*ドイツ語圏現地研修 (4) *フランス語圏現地研修 (4) *ドイツ語会話A (2) *フランス語会話A (2) *ドイツ語会話B (2) *フランス語会話B (2) *ドイツ語会話C (2) *フランス語会話C (2) *ドイツ語会話D (2) *フランス語会話D (2) *ドイツ語作文A (2) *フランス語作文A (2) *ドイツ語作文B (2) *フランス語作文B (2) *ドイツ語作文C (2) *フランス語作文C (2) *ドイツ語作文D (2) *フランス語作文D (2) *時事ドイツ語A (2) *時事フランス語A (2) *時事ドイツ語B (2) *時事フランス語B (2) *コミュニケーション理論と実践A (2) *コミュニケーション理論と実践B (2) *コミュニケーション理論と実践C (2) *コミュニケーション理論と実践D (2) *プレゼンテーション理論と実践A (2) *プレゼンテーション理論と実践B (2) *プレゼンテーション理論と実践C (2) *プレゼンテーション理論と実践D (2) 会社法Ⅰ (2) 国際金融論Ⅰ (2) 会社法Ⅱ (2) 国際金融論Ⅱ (2) 国際経済学 (4) 会計学総論 (2) 貿易商務論A (2) 財務会計論 (2) 貿易商務論B (2)	
	ドイツ語学科 フランス語学科	*英語読解ⅠA (1) *英語読解ⅠB (1) *英語ライティングA (1) *英語ライティングB (1) *英会話ⅡA (1) *英会話ⅡB (1) *英語プレゼンテーションA (2) *英語プレゼンテーションB (2) 経営入門 (2) 経営学総論 (2) 簿記原理 (4)	*英語読解ⅡA (1) *英語読解ⅡB (1) *英会話ⅢA (1) *英会話ⅢB (1) *メディア英語 (2) *観光・ビジネス英語 (2) 国際経済学 (4) 財務会計論 (2) 貿易商務論A (2) 国際金融論Ⅰ (2) 貿易商務論B (2) 国際金融論Ⅱ (2) 会計学総論 (2)	

() は単位数

*印の科目は、語学力強化プログラムの履修条件に該当する者のみ登録することができます。

【19・18台】

学 科	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
英 語 学 科		*コミュニケーション基礎A (2) *コミュニケーション基礎B (2) *プレゼンテーション基礎A (2) *プレゼンテーション基礎B (2) 経営入門 (2) 経営学総論 (2) 簿記原理 (4)	*ドイツ語圏現地研修 (4) *フランス語圏現地研修 (4) *ドイツ語会話A (2) *フランス語会話A (2) *ドイツ語会話B (2) *フランス語会話B (2) *ドイツ語会話C (2) *フランス語会話C (2) *ドイツ語会話D (2) *フランス語会話D (2) *ドイツ語作文A (2) *フランス語作文A (2) *ドイツ語作文B (2) *フランス語作文B (2) *ドイツ語作文C (2) *フランス語作文C (2) *ドイツ語作文D (2) *フランス語作文D (2) *時事ドイツ語A (2) *時事フランス語A (2) *時事ドイツ語B (2) *時事フランス語B (2) *コミュニケーション理論と実践A (2) *コミュニケーション理論と実践B (2) *コミュニケーション理論と実践C (2) *コミュニケーション理論と実践D (2) *プレゼンテーション理論と実践A (2) *プレゼンテーション理論と実践B (2) *プレゼンテーション理論と実践C (2) *プレゼンテーション理論と実践D (2) 会社法 (4) 国際経済学 (4) 貿易商務論A (2) 国際金融論Ⅰ (2) 貿易商務論B (2) 国際金融論Ⅱ (2) 会計学総論 (2) 財務会計論 (2)	
ドイツ語学科 フランス語学科		*英語読解ⅠA (1) *英語読解ⅠB (1) *英語ライティングA (1) *英語ライティングB (1) *英会話ⅡA (1) *英会話ⅡB (1) *英語プレゼンテーションA (2) *英語プレゼンテーションB (2) 経営入門 (2) 経営学総論 (2) 簿記原理 (4)	*英語読解ⅡA (1) *英語読解ⅡB (1) *英会話ⅢA (1) *英会話ⅢB (1) *メディア英語 (2) *観光・ビジネス英語 (2) 会社法 (4) 国際経済学 (4) 貿易商務論A (2) 国際金融論Ⅰ (2) 貿易商務論B (2) 国際金融論Ⅱ (2) 会計学総論 (2) 財務会計論 (2)	

() は単位数

*印の科目は、語学力強化プログラムの履修条件に該当する者のみ登録することができます。

後期登録変更時の科目追加・削除

必修科目・選択必修科目〔追加○、削除×〕、登録制限科目〔追加×、削除○ or ×〕						
文化 学 科	科 目	追加	削除	科 目	追加	削除
	文化学科で学ぶⅡ	○	×	民俗文化論	○	×
	(振)文化学研究法	○	×	(振)異文化理解	○	○
	基礎演習Ⅱ	○	×	文化学演習Ⅳ・Ⅵ	○	×
	文化学演習Ⅱ	○	×	●思想文化文献講読Ⅱ	×	×
	宗教文化論	○	×	●思想文化文献講読Ⅳ	×	×
	(振)アジア宗教文化論Ⅰ	○	○	●情報処理実習	×	×
	心理学研究法	○	×	●概説外国史	×	×
	文化地理学【19台以降】	○	×	上記以外の後期開講専門教育科目、 関連教育科目	○	○
	文化地理学【18台以前】	○	○			

(振)の科目は振替科目につき、振替科目一覧を参照のこと。

必修科目・選択必修科目(概説・特講を除く)・登録制限科目〔追加×、削除×〕						
歴 史 学 科	科 目	追加	削除	科 目	追加	削除
	史学概論B	×	×	日本史演習ⅡB・ⅡD	×	×
	歴史学入門演習B	×	×	日本史演習ⅢB・ⅢD	×	×
	考古学方法論B(含、実習)	×	×	日本史演習ⅣB・ⅣD	×	×
	考古学基礎演習B	×	×	東洋史演習ⅡB・ⅡD	×	×
	日本史原典講読ⅠB・ⅡB	×	×	東洋史演習ⅢB・ⅢD	×	×
	日本史基礎演習ⅠB・ⅡB	×	×	西洋史演習ⅠB・ⅠD	×	×
	東洋史原典講読B	×	×	西洋史演習ⅡB・ⅡD	×	×
	東洋史基礎演習B	×	×	西洋史演習ⅢB・ⅢD	×	×
	西洋史原典講読B	×	×	●概説哲学	×	×
	西洋史基礎演習B	×	×	●コンピュータ入門Ⅱ	×	×
	考古学演習ⅠB・ⅠD	×	×	●西洋経済史	×	○
	考古学演習ⅡB・ⅡD	×	×	上記以外の後期開講専門教育科目、 関連教育科目	○	○
	日本史演習ⅠB・ⅠD	×	×			

登録制限科目〔追加×、削除×〕						
日 本 語 日 本 文 学 科	科 目	追加	削除	科 目	追加	削除
	●コンピュータ入門Ⅱ	×	×	左記以外の後期開講専門教育科目、 関連教育科目	○	○
	●コンピュータ入門Ⅳ	×	×			

(注1) 通年科目、集中後期科目(P.91参照)の後期登録変更はできません。

(注2) 追加、削除欄の「○」は可能、「×」は不可を示しています。

(注3) ●印の科目は、登録制限科目です。

(注4) 上記科目のうち後期完結の登録制限科目については、登録者数が定員に達していない場合に限り、後期登録変更期間に追加募集を行うことがあります。

追加募集を行う場合は、登録変更期間前にF Uポータルでお知らせします。

必修科目〔追加○、削除×〕、登録制限科目〔追加×、削除×〕						
教育・臨床心理学科	科 目	追加	削除	科 目	追加	削除
	キャリア形成基礎論Ⅰ	○	×	★インターンシップ実習Ⅰ	×	×
	(振)基礎演習Ⅱ	○	×	★インターンシップ実習Ⅱ	×	×
	教育学概論Ⅱ	○	×	●概説哲学	×	×
	臨床心理学概論	○	×	●コンピュータ入門Ⅱ	×	×
	キャリア形成基礎論Ⅱ	○	×	●コンピュータ入門Ⅳ	×	×
	(振)キャリア形成基礎論	○	×	●概説外国史	×	×
	専門演習Ⅱ	○	×	上記以外の後期開講専門教育科目、 関連教育科目	○	○
	専門演習Ⅳ	○	×			
★インターンシップ実習	×	×				

〔振〕の科目は振替科目につき、振替科目一覧を参照のこと。★印の科目は、日程の都合上後期登録変更はできません。

必修科目・選択必修科目〔追加○、削除×〕、登録制限科目〔追加×、削除○ or ×〕						
英 語 学 科	科 目	追加	削除	科 目	追加	削除
	英文法B	○	×	スピーチ・コミュニケーション演習ⅡB	○	×
	基礎演習B	○	×	イギリス文化・文学演習ⅠB	○	×
	英会話ⅠB	○	×	イギリス文化・文学演習ⅡB	○	×
	英会話ⅡB	○	×	アメリカ文化・文学演習ⅠB	○	×
	英語学概論B	○	×	アメリカ文化・文学演習ⅡB	○	×
	スピーチ・コミュニケーション概論B	○	×	●英語プレゼンテーションB (一瀬)	×	×
	イギリス文化・文学概論B	○	×	●アカデミックライティング	×	×
	アメリカ文化・文学概論B	○	×	●コンピュータ入門Ⅱ	×	×
	英語読解ⅠB	○	×	●コンピュータ入門Ⅳ	×	×
	英語読解ⅡB	○	×	●国際法総論	×	○
	英語ライティングB	○	×	●国際経済学	×	○
	英語音声学B	○	×	●経営学総論	×	×
	英語史B	○	×	●財務会計論	×	×
	英米文学入門B	○	×	●貿易商務論B	×	×
	英語学演習ⅠB	○	×	上記以外の後期開講専門教育科目、 関連教育科目(他コース履修する場 合の上記科目を含む)	○	○
	英語学演習ⅡB	○	×			
スピーチ・コミュニケーション演習ⅠB	○	×				

〔振〕の科目は振替科目につき、振替科目一覧を参照のこと。

(注1) 通年科目、集中後期科目(P.91参照)の後期登録変更はできません。

(注2) 追加、削除欄の「○」は可能、「×」は不可を示しています。

(注3) ●印の科目は、登録制限科目です。

(注4) 上記科目のうち後期完結の登録制限科目については、登録者数が定員に達していない場合に限り、後期登録変更期間に追加募集を行うことがあります。

追加募集を行う場合は、登録変更期間前にF Uポータルでお知らせします。

必修科目〔追加○、削除×〕、登録制限科目〔追加×、削除○ or ×〕						
ドイツ語学	科 目	追加	削除	科 目	追加	削除
	ドイツ語基礎会話B	○	×	演習ⅡB	○	×
	ドイツ語基礎演習B	○	×	●コンピュータ入門Ⅱ	×	×
	ゲルマニスティク入門B	○	×	●コンピュータ入門Ⅳ	×	×
	日本語リテラシーB	○	×	●国際法総論	×	○
	ヨーロッパ学入門B	○	×	●国際経済学	×	○
	ドイツ語基礎講読B	○	×	●経営学総論	×	×
	ドイツ語圏文化基礎論B	○	×	●財務会計論	×	×
	クロスカルチュラル・リテラシーB	○	×	●貿易商務論B	×	×
	コミュニケーション基礎B	○	×	上記以外の後期開講専門教育科目、 関連教育科目（他コース履修する場合の上記科目を含む）	○	○
プレゼンテーション基礎B	○	×				
演習ⅠB	○	×				

必修科目〔追加○、削除×〕、登録制限科目〔追加×、削除○ or ×〕						
フランス語学	科 目	追加	削除	科 目	追加	削除
	フランス語基礎会話B	○	×	演習ⅡB	○	×
	フランス語基礎演習B	○	×	●コンピュータ入門Ⅱ	×	×
	フランス学入門B	○	×	●コンピュータ入門Ⅳ	×	×
	日本語リテラシーB	○	×	●国際法総論	×	○
	ヨーロッパ学入門B	○	×	●国際経済学	×	○
	フランス語基礎講読B	○	×	●経営学総論	×	×
	フランス語圏文化基礎論B	○	×	●財務会計論	×	×
	クロスカルチュラル・リテラシーB	○	×	●貿易商務論B	×	×
	コミュニケーション基礎B	○	×	上記以外の後期開講専門教育科目、 関連教育科目（他コース履修する場合の上記科目を含む）	○	○
プレゼンテーション基礎B	○	×				
演習ⅠB	○	×				

必修科目〔追加○、削除×〕、登録制限科目〔追加×、削除○ or ×〕						
東アジア地域言語学	科 目	追加	削除	科 目	追加	削除
	中国事情概説	○	×	●国際法総論	×	○
	韓国事情概説	○	×	上記以外の後期開講専門教育科目、 関連教育科目	○	○
	●コンピュータ入門Ⅱ	×	×			
●コンピュータ入門Ⅳ	×	×				

(注1) 通年科目、集中後期科目（P.91参照）の後期登録変更はできません。

(注2) 追加、削除欄の「○」は可能、「×」は不可を示しています。

(注3) ●印の科目は、登録制限科目です。

(注4) 上記科目のうち後期完結の登録制限科目については、登録者数が定員に達していない場合に限り、後期登録変更期間に追加募集を行うことがあります。

追加募集を行う場合は、登録変更期間前にF Uポータルでお知らせします。

振替科目一覧

旧カリキュラムの学生が下記の科目を履修した場合は、次のように該当年台の科目に振替えます。

「授業時間割表」「試験時間割表」「授業科目確認表」などには、**履修科目名（実際に授業を受ける科目）のみの表記**になりますが、成績通知書、成績証明書等には該当年台のカリキュラムの科目名で表記されます。

	授 業 科 目 名	単 位	年 次	授 業 科 目 名	単 位	年 次
	平成31年度（19台）以降入学生適用科目			平成30年度（18台）以前入学生適用科目		
文 化 学 科	文化学科で学ぶⅠ	2	1	文化学基礎論	2	1
	文化学科で学ぶⅡ	2	1	文化学研究法	2	1
	哲学の基礎	2	2	哲学の基礎Ⅱ	2	2
	宗教文化論	2	2	アジア宗教文化論Ⅰ	2	2・3・4
	民俗文化論	2	2	異文化理解	2	2・3・4
	宗教学特講	2	2・3・4	宗教哲学入門	2	2・3・4
	神話文化論	2	2・3・4	アジアの思想Ⅰ	2	2・3・4
	中国の思想	2	2・3・4	アジアの思想Ⅱ	2	2・3・4
	現代社会学	2	2・3・4	社会システム論	2	2
	リスク社会論	2	2・3・4	社会学特講	2	2・3・4
	社会学方法論演習	2	2・3・4	社会調査法	2	2・3・4
	文化心理学	2	2・3・4	文化学特講Ⅱ	2	2・3・4
	文化学特講	2	2・3・4	文化学特講Ⅰ	2	2・3・4
	メディア文化論	2	2・3・4	現代メディア論	2	2・3・4
	ギリシア語A	2	2	ギリシャ語A	2	2
	ギリシア語B	2	2	ギリシャ語B	2	2

歴 史 学 科	授 業 科 目 名	単 位	年 次	授 業 科 目 名	単 位	年 次
	平成31年度（19台）以降入学生適用科目			平成30年度（18台）以前入学生適用科目		
	ギリシア語A	2	2	ギリシャ語A	2	2
	ギリシア語B	2	2	ギリシャ語B	2	2
	宗教学特講	2	3・4	宗教哲学入門	2	3・4
	神話文化論	2	3・4	アジアの思想Ⅰ	2	3・4
	中国の思想	2	3・4	アジアの思想Ⅱ	2	3・4

教 育 ・ 臨 床 心 理 学 科	授 業 科 目 名	単 位	年 次	授 業 科 目 名	単 位	年 次
	平成31年度（19台）以降入学生適用科目			平成30年度（18台）以前入学生適用科目		
	特別支援教育論	2	2	特別支援教育	2	2
	総合的な学習の時間と特別活動の指導法	2	3	特別活動論	2	3
	令和3年度（22台）以降入学生適用科目			令和2年度（21台）以前入学生適用科目		
	キャリアデザイン調査法	2	3	キャリアデザイン調査実習Ⅰ	2	3
	キャリアデザイン演習	2	3	インターンシップ実習Ⅱ	2	3
	教育方法とICTの活用	2	3	教育方法論	2	3

英 語 学 科	授 業 科 目 名	単 位	年 次	授 業 科 目 名	単 位	年 次	
	平成31年度（19台）以降入学生適用科目			➔	平成30年度（18台）以前入学生適用科目		
	ギリシア語A	2	2	ギリシャ語A	2	2	
	ギリシア語B	2	2	ギリシャ語B	2	2	
	メディア文化論	2	3・4	現代メディア論	2	3・4	
	令和2年度（20台）以降入学生適用科目			➔	平成31年度（19台）以前入学生適用科目		
	英語学の諸相ⅠA	2	2	英語学特講ⅠA	2	2	
	英語学の諸相ⅠB	2	2	英語学特講ⅠB	2	2	
	スピーチ・コミュニケーション研究ⅠA	2	2	スピーチ・コミュニケーション特講ⅠA	2	2	
	スピーチ・コミュニケーション研究ⅠB	2	2	スピーチ・コミュニケーション特講ⅠB	2	2	
英語学の諸相ⅡA	2	3	英語学特講ⅡA	2	3		
英語学の諸相ⅡB	2	3	英語学特講ⅡB	2	3		
スピーチ・コミュニケーション研究ⅡA	2	3	スピーチ・コミュニケーション特講ⅡA	2	3		
スピーチ・コミュニケーション研究ⅡB	2	3	スピーチ・コミュニケーション特講ⅡB	2	3		

ド イ ツ 語 学 科	授 業 科 目 名	単 位	年 次	授 業 科 目 名	単 位	年 次	
	令和5年度（23台）以降入学生適用科目			➔	令和4年度（22台）以前入学生適用科目		
	建築史概論	2	2	西洋建築史	2	2	

フ ラ ン ス 語 学 科	授 業 科 目 名	単 位	年 次	授 業 科 目 名	単 位	年 次	
	平成31年度（19台）以降入学生適用科目			➔	平成30年度（18台）以前入学生適用科目		
	ギリシア語A	2	2	ギリシャ語A	2	2	
	ギリシア語B	2	2	ギリシャ語B	2	2	
	メディア文化論	2	3・4	現代メディア論	2	3・4	
	令和5年度（23台）以降入学生適用科目			➔	令和4年度（22台）以前入学生適用科目		
	建築史概論	2	2	西洋建築史	2	2	

定期試験を実施しない科目 (成績考査規程第2条の2第2項)

次のⅠ・Ⅱに該当する科目は、定期試験を実施しません (再試験も実施しません)。

【Ⅰ】 演習、演習及び論文、実習、実験及びその他これに準ずるものと認められた授業科目

【Ⅱ】 令和6年度 開講期間内に適正な成績評価を行うことが可能であると認められた授業科目

文 化 学 科			
Ⅰ	基礎演習Ⅰ・Ⅱ	文化学演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	ギリシア語A・B
	文化学演習Ⅰ・Ⅱ	情報処理入門	(振)ギリシャ語A・B
	社会調査入門	情報処理実習	東アジア相互理解演習A・B
	社会学方法論演習	思想文化文献講読Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
	(振)社会調査法	卒業論文	
Ⅱ	文化学科で学ぶⅠ・Ⅱ	社会思想史	心理学統計法
	(振)文化学基礎論	応用倫理学	図書館資料論
	(振)文化学研究法	人文地理学A	東洋の文化と歴史C・D
	心理学研究法	自然地理学B	
	応用心理学	司法・犯罪心理学	

歴 史 学 科			
Ⅰ	歴史学入門演習A・B	西洋史原典講読A・B	東洋史演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
	考古学方法論A・B(含、実習)	西洋史基礎演習A・B	東洋史演習ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
	考古学基礎演習A・B	考古学演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD	西洋史演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
	日本史原典講読ⅠA・ⅠB	考古学演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD	西洋史演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD
	日本史原典講読ⅡA・ⅡB	日本史演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD	西洋史演習ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD
	日本史基礎演習ⅠA・ⅠB	日本史演習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD	卒業論文
	日本史基礎演習ⅡA・ⅡB	日本史演習ⅢA・ⅢB・ⅢC・ⅢD	コンピュータ入門Ⅰ・Ⅱ
	東洋史原典講読A・B	日本史演習ⅣA・ⅣB・ⅣC・ⅣD	ギリシア語A・B
	東洋史基礎演習A・B	東洋史演習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD	(振)ギリシャ語A・B
	Ⅱ	史学概論A・B	社会思想史
東洋の文化と歴史C・D		図書館資料論	
応用倫理学		人文地理学A	

日 本 語 日 本 文 学 科			
Ⅰ	日本語日本文学基礎演習	近代文学調査研究法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	近代文学演習Ⅰa・Ⅰb
	古典文学講読Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	古典文学及び比較文学調査研究法	近代文学演習Ⅱa・Ⅱb
	地域文化研究	近代文学及び比較文学調査研究法	近代文学演習Ⅲa・Ⅲb
	地域語研究	漢文学講読Ⅰ・Ⅱ	古典文学及び比較文学演習a・b
	芸能研究Ⅰ・Ⅱ	日本語教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	近代文学及び比較文学演習a・b
	近代文学及び比較文学講読Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	古代語演習a・b	卒業論文及び卒業論文指導
	古代語調査研究法	近代語演習a・b	日本語教授法演習Ⅰ・Ⅱ
	近代語調査研究法	現代語演習a・b	コンピュータ入門Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	現代語調査研究法	古典文学演習Ⅰa・Ⅰb	
	古典文学調査研究法Ⅰ・Ⅱ	古典文学演習Ⅱa・Ⅱb	
	Ⅱ	日本語表現法Ⅰ・Ⅱ	比較文学特講Ⅳa
日本語学特講Ⅰa		フランス文学概論A・B	図書館資料論

※〔振〕の科目は振替科目 (振替科目一覧を参照のこと)。

※他学科の科目を履修する場合は、当該学科欄で確認してください。

教育・臨床心理学科			
I	基礎演習A・B	教育心理学実験実習Ⅱ	心理演習
	キャリア形成基礎論Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	心理実習
	心理学実験	社会教育演習A・B	卒業研究
	インターンシップ実習	キャリアデザイン調査法	コンピュータ入門Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	インターンシップ実習Ⅰ	(振)キャリアデザイン調査実習Ⅰ	社会教育実習
	キャリアデザイン演習	キャリアデザイン調査実習Ⅱ	
	(振)インターンシップ実習Ⅱ	学校インターンシップ実習	
II	教育学概論Ⅱ	司法・犯罪心理学	学習方法開発論
	臨床心理学概論	心理学統計法	人文地理学A
	キャリア教育論	社会・集団・家族心理学	自然地理学B
	心理学研究法(田村)	グローバル化と教育	東洋の文化と歴史C・D

英 語 学 科				
I	基礎演習A・B	実践英語学研究A・B	コンピュータ入門Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
	英会話ⅠA・ⅠB	観光・ビジネス英語	ギリシア語A・B	
	英語読解ⅠA・ⅠB	メディア英語	(振)ギリシャ語A・B	
	英語ライティングA・B	ビジネスライティング	日本語教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
	英会話ⅡA・ⅡB	アカデミックライティング	日本語教授法演習Ⅰ・Ⅱ	
	英語プレゼンテーションA・B	英語学演習ⅠA・ⅠB	東アジア相互理解演習A・B	
	メディアと英語文学A・B	英語学演習ⅡA・ⅡB	ドイツ語基礎講読A・B	
	英語圏文化研修A・B	スピーチ・コミュニケーション演習ⅠA・ⅠB	ドイツ語圏現地研修	
	英語圏文化研修	スピーチ・コミュニケーション演習ⅡA・ⅡB	ドイツ語会話A・B・C・D	
	英語史A・B	英語学の諸相ⅡA・ⅡB	ドイツ語作文A・B・C・D	
	英語学の諸相ⅠA・ⅠB	(振)英語学特講ⅡA・ⅡB	時事ドイツ語A・B	
	(振)英語学特講ⅠA・ⅠB	スピーチ・コミュニケーション研究ⅡA・ⅡB	フランス語基礎講読A・B	
	スピーチ・コミュニケーション研究ⅠA・ⅠB	(振)スピーチ・コミュニケーション特講ⅡA・ⅡB	フランス語圏現地研修	
	(振)スピーチ・コミュニケーション特講ⅠA・ⅠB	イギリス文化・文学演習ⅠA・ⅠB	フランス語会話A・B・C・D	
	英米文学入門A・B	イギリス文化・文学演習ⅡA・ⅡB	フランス語作文A・B・C・D	
	アメリカの文化と文学ⅠA・ⅠB	アメリカ文化・文学演習ⅠA・ⅠB	時事フランス語A・B	
	英語読解ⅡA・ⅡB	アメリカ文化・文学演習ⅡA・ⅡB	コミュニケーション基礎A・B	
	英会話ⅢA・ⅢB	アメリカの文化と文学ⅡA・ⅡB	プレゼンテーション基礎A・B	
	異文化コミュニケーションA・B	卒業論文	コミュニケーション理論と実践A・B・C・D	
	英語圏地域研究A・B	卒業研究	プレゼンテーション理論と実践A・B・C・D	
	英語文学と社会A・B	社会調査入門		
	II	アメリカ文化各論A・B	社会思想史	東洋の文化と歴史C・D
		イギリスの文化と文学ⅠA・ⅠB	図書館資料論	フランス文学概論A・B

※(振)の科目は振替科目(振替科目一覧を参照のこと)。

※他学科の科目を履修する場合は、当該学科欄で確認してください。

ドイツ語学科			
I	ドイツ語基礎会話 A・B	ドイツ語圏言語文化講読 A・B・C・D	フランス語圏地域文化講読 A・B・C・D
	ドイツ語基礎演習 A・B	ドイツ語圏表象文化講読 A・B・C・D	フランス語圏言語文化講読 A・B・C・D
	ゲルマニスティック入門 A・B	ヨーロッパ学 ICT II A・II B	フランス語圏表象文化講読 A・B・C・D
	日本語リテラシー A・B	ドイツ語作文 A・B・C・D	東アジア相互理解演習 A・B
	ヨーロッパ学入門 A・B	ドイツ語会話 A・B・C・D	ドイツ文法論 A・B
	ドイツ語圏現地研修	ヨーロッパ地域文化講読 A・B・C・D	時事ドイツ語 A・B
	ヨーロッパ学 ICT I A・I B	ヨーロッパ言語文化講読 A・B・C・D	フランス文法論 A・B
	ドイツ語基礎講読 A・B	ヨーロッパ表象文化講読 A・B・C・D	時事フランス語 A・B
	ドイツ語圏文化基礎論 A・B	コミュニケーション理論と実践 A・B・C・D	フランス語基礎講読 A・B
	クロスカルチュラル・リテラシー A・B	プレゼンテーション理論と実践 A・B・C・D	英語読解 I A・I B
	コミュニケーション基礎 A・B	時事ヨーロッパ A・B	英語ライティング A・B
	プレゼンテーション基礎 A・B	実務外国語 A・B	英会話 II A・II B
	ヨーロッパ文化基礎論 A・B	卒業論文	英語プレゼンテーション A・B
	フランス語圏現地研修	卒業研究	英語読解 II A・II B
	演習 I A・I B	コンピュータ入門 I・II・III・IV	英会話 III A・III B
	演習 II A・II B	ギリシア語 A・B	メディア英語
	ドイツ語圏地域文化講読 A・B・C・D	EU 法	観光・ビジネス英語
II	ヨーロッパ言語文化特講 A・B(山本)	フランス文学概論 A・B	東洋の文化と歴史 C・D
	ヨーロッパ地域文化概論 A・B(有馬)	社会思想史	
	ヨーロッパ表象文化概論 A・B	図書館資料論	

フランス語学科			
I	フランス語基礎会話 A・B	フランス語圏表象文化講読 A・B・C・D	ドイツ語圏言語文化講読 A・B・C・D
	フランス語基礎演習 A・B	ヨーロッパ学 ICT II A・II B	ドイツ語圏表象文化講読 A・B・C・D
	フランス学入門 A・B	フランス語作文 A・B・C・D	東アジア相互理解演習 A・B
	日本語リテラシー A・B	フランス語会話 A・B・C・D	フランス文法論 A・B
	ヨーロッパ学入門 A・B	ヨーロッパ地域文化講読 A・B・C・D	時事フランス語 A・B
	フランス語圏現地研修	ヨーロッパ言語文化講読 A・B・C・D	ドイツ文法論 A・B
	ヨーロッパ学 ICT I A・I B	ヨーロッパ表象文化講読 A・B・C・D	時事ドイツ語 A・B
	フランス語基礎講読 A・B	コミュニケーション理論と実践 A・B・C・D	ドイツ語基礎講読 A・B
	フランス語圏文化基礎論 A・B	プレゼンテーション理論と実践 A・B・C・D	英語読解 I A・I B
	クロスカルチュラル・リテラシー A・B	時事ヨーロッパ A・B	英語ライティング A・B
	コミュニケーション基礎 A・B	実務外国語 A・B	英会話 II A・II B
	プレゼンテーション基礎 A・B	卒業論文	英語プレゼンテーション A・B
	ヨーロッパ文化基礎論 A・B	卒業研究	英語読解 II A・II B
	ドイツ語圏現地研修	コンピュータ入門 I・II・III・IV	英会話 III A・III B
	演習 I A・I B	ギリシア語 A・B	メディア英語
	演習 II A・II B	(振)ギリシャ語 A・B	観光・ビジネス英語
	フランス語圏地域文化講読 A・B・C・D	EU 法	
フランス語圏言語文化講読 A・B・C・D	ドイツ語圏地域文化講読 A・B・C・D		
II	ヨーロッパ言語文化特講 A・B(山本)	ヨーロッパ表象文化概論 A・B	東洋の文化と歴史 C・D
	フランス文学概論 A・B	社会思想史	
	ヨーロッパ地域文化概論 A・B(有馬)	図書館資料論	

※[振]の科目は振替科目（振替科目一覧を参照のこと）。

※他学科の科目を履修する場合は、当該学科欄で確認してください。

東アジア地域言語語学科			
I	中国・韓国学入門演習	韓国言語文化講読A・B・C・D	英会話ⅡA・ⅡB
	中国学基礎演習A・B	東アジア相互理解演習A・B	英語プレゼンテーションA・B
	韓国学基礎演習A・B	卒業論文	ドイツ語基礎講読A・B
	中国学演習ⅠA・ⅠB	コンピュータ入門Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	ドイツ語圏現地研修
	韓国学演習ⅠA・ⅠB	日本語教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	フランス語基礎講読A・B
	中国学演習ⅡA・ⅡB	日本語教授法演習Ⅰ・Ⅱ	フランス語圏現地研修
	韓国学演習ⅡA・ⅡB	英語読解ⅠA・ⅠB	コミュニケーション基礎A・B
	中国言語文化講読A・B・C・D	英語ライティングA・B	プレゼンテーション基礎A・B
II	東洋の文化と歴史C・D	人文地理学A	日本語学特講Ⅰa

多言語強化プログラム

1 多言語強化プログラムについて

多言語強化プログラムは、語学力向上を目指す意欲ある成績優秀な学生に、実践的な授業科目を提供することにより、専攻する外国語以外の外国語の語学力の修得を目指します。

- 対象者** 多言語強化プログラムを履修できる者は、英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科の平成28年度以降入学生もしくは東アジア地域言語学科の令和5年度以降入学生のうち在籍中の学生とします。

多言語強化プログラムの履修を希望する者は「人文学部英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科の多言語強化プログラムに関する内規」(P.132)を参照してください。

- 説明会** 多言語強化プログラムの履修を希望する者は、説明会に参加してください。説明会は、後期期間中に1回実施します。開催日時等については、FUポータル〈お知らせ〉に掲載しますので、各自確認してください。

- 履修方法** 3月初旬にFUポータルに掲載する「多言語強化プログラム履修願」を各自ダウンロードし、必要事項を記入のうえ、指定された日時までに教務二課（人文学部）に提出してください。

なお、英語運用能力テスト、TOEICのスコア、ドイツ語技能検定試験、フランス語技能検定試験、漢語水平考試、中国語検定、TOPIK、ハングル検定等の成績により申請する場合は、証明する書類を併せて提出してください。

履修が認められた者は、履修登録期間中に教務二課（人文学部）で手続きをしてください。

○選考基準

履修する言語	出願時期	選考基準
英語	1年目終了時	英語運用能力テスト等において、TOEICスコア500以上に相当する成績を修めた者
	2年目又は 3年目終了時	英語運用能力テスト等において、TOEICスコア550以上に相当する成績を修めた者
ドイツ語	1年目終了時	ドイツ語ⅠA・ドイツ語ⅠBの平均点が80点以上の者、又は公益財団法人ドイツ語学文学振興会が実施するドイツ語技能検定試験4級以上に合格した者
	2年目又は 3年目終了時	ドイツ語ⅡA・ドイツ語ⅡBの平均点が80点以上の者、又は公益財団法人ドイツ語学文学振興会が実施するドイツ語技能検定試験3級以上に合格した者
フランス語	1年目終了時	フランス語ⅠA・フランス語ⅠBの平均点が80点以上の者、又は公益財団法人フランス語教育振興協会が実施する実用フランス語技能検定試験4級以上に合格した者
	2年目又は 3年目終了時	フランス語ⅡA・フランス語ⅡBの平均点が80点以上の者、又は公益財団法人フランス語教育振興協会が実施する実用フランス語技能検定試験3級以上に合格した者
中国語	1年目終了時	漢語水平考試（HSK）3級以上又は中国語検定4級以上に合格した者
	2年目又は 3年目終了時	漢語水平考試（HSK）4級以上又は中国語検定3級以上に合格した者
朝鮮語	1年目終了時	TOPIK 3級以上又はハングル検定4級以上に合格した者
	2年目又は 3年目終了時	TOPIK 4級以上又はハングル検定3級以上に合格した者

- 修得単位** 修得した単位は、自由履修単位として卒業要件単位に算入します。

- 修了要件** プログラムの履修者が、卒業に必要な単位を修得し、かつ、プログラムの授業科目のうち、当該言語の科目を8単位以上修得したときは、プログラムを修了したと認められます。

2 多言語強化プログラム 授業科目一覧

■ 英語学科【23台以降】

<履修する言語：ドイツ語>

第2年次	第3年次	第4年次
ドイツ語基礎講読A (2)		ドイツ語会話A (2)
ドイツ語基礎講読B (2)		ドイツ語会話B (2)
ドイツ語圏現地研修 (4)		ドイツ語会話C (2)
●コミュニケーション基礎A (2)		ドイツ語会話D (2)
●コミュニケーション基礎B (2)		ドイツ語作文A (2)
●プレゼンテーション基礎A (2)		ドイツ語作文B (2)
●プレゼンテーション基礎B (2)		ドイツ語作文C (2)
		ドイツ語作文D (2)
		時事ドイツ語A (2)
		時事ドイツ語B (2)
		ドイツ語圏地域文化講読A (2)
		ドイツ語圏地域文化講読B (2)
		ドイツ語圏地域文化講読C (2)
		ドイツ語圏地域文化講読D (2)
		ドイツ語圏言語文化講読A (2)
		ドイツ語圏言語文化講読B (2)
		ドイツ語圏言語文化講読C (2)
		ドイツ語圏言語文化講読D (2)
		ドイツ語圏表象文化講読A (2)
		ドイツ語圏表象文化講読B (2)
		ドイツ語圏表象文化講読C (2)
		ドイツ語圏表象文化講読D (2)

(注) ●印の科目は、(LG, LE, LA) クラスを受講しなければなりません。

<履修する言語：フランス語>

第2年次	第3年次	第4年次
フランス語基礎講読A (2)		フランス語会話A (2)
フランス語基礎講読B (2)		フランス語会話B (2)
フランス語圏現地研修 (4)		フランス語会話C (2)
●コミュニケーション基礎A (2)		フランス語会話D (2)
●コミュニケーション基礎B (2)		フランス語作文A (2)
●プレゼンテーション基礎A (2)		フランス語作文B (2)
●プレゼンテーション基礎B (2)		フランス語作文C (2)
		フランス語作文D (2)
		時事フランス語A (2)
		時事フランス語B (2)
		フランス語圏地域文化講読A (2)
		フランス語圏地域文化講読B (2)
		フランス語圏地域文化講読C (2)
		フランス語圏地域文化講読D (2)
		フランス語圏言語文化講読A (2)
		フランス語圏言語文化講読B (2)
		フランス語圏言語文化講読C (2)
		フランス語圏言語文化講読D (2)
		フランス語圏表象文化講読A (2)
		フランス語圏表象文化講読B (2)
		フランス語圏表象文化講読C (2)
		フランス語圏表象文化講読D (2)

(注) ●印の科目は、(LF, LE, LA) クラスを受講しなければなりません。

<履修する言語：中国語>

第2年次	第3年次	第4年次
コミュニケーション中国語ⅠA (1)	コミュニケーション中国語ⅡA (1)	コミュニケーション中国語ⅢA (1)
コミュニケーション中国語ⅠB (1)	コミュニケーション中国語ⅡB (1)	コミュニケーション中国語ⅢB (1)
中国語表現法A (2)		中国事情講読A (2)
中国語表現法B (2)		中国事情講読B (2)
		中国事情講読C (2)
		中国事情講読D (2)
		中国言語文化講読A (2)
		中国言語文化講読B (2)
		中国言語文化講読C (2)
		中国言語文化講読D (2)

<履修する言語：朝鮮語>

第2年次	第3年次	第4年次
コミュニケーション朝鮮語ⅠA (1)	コミュニケーション朝鮮語ⅡA (1)	コミュニケーション朝鮮語ⅢA (1)
コミュニケーション朝鮮語ⅠB (1)	コミュニケーション朝鮮語ⅡB (1)	コミュニケーション朝鮮語ⅢB (1)
朝鮮語表現法A (2)	韓国事情講読A (2)	
朝鮮語表現法B (2)	韓国事情講読B (2)	
	韓国事情講読B (2)	
	韓国事情講読D (2)	
	韓国言語文化講読A (2)	
	韓国言語文化講読B (2)	
	韓国言語文化講読C (2)	
	韓国言語文化講読D (2)	

■ 英語学科【22台以前】

<履修する言語：ドイツ語>

第2年次	第3年次	第4年次
●コミュニケーション基礎A (2)	ドイツ語圏現地研修 (4)	
●コミュニケーション基礎B (2)	ドイツ語会話A (2)	
●プレゼンテーション基礎A (2)	ドイツ語会話B (2)	
●プレゼンテーション基礎B (2)	ドイツ語会話C (2)	
	ドイツ語会話D (2)	
	ドイツ語作文A (2)	
	ドイツ語作文B (2)	
	ドイツ語作文C (2)	
	ドイツ語作文D (2)	
	時事ドイツ語A (2)	
	時事ドイツ語B (2)	
	●コミュニケーション理論と実践A (2)	
	●コミュニケーション理論と実践B (2)	
	●コミュニケーション理論と実践C (2)	
	●コミュニケーション理論と実践D (2)	
	●プレゼンテーション理論と実践A (2)	
	●プレゼンテーション理論と実践B (2)	
	●プレゼンテーション理論と実践C (2)	
	●プレゼンテーション理論と実践D (2)	

(注) ●印の科目は、(LG, LE) クラスを受講しなければなりません。

<履修する言語：フランス語>

第2年次	第3年次	第4年次
●コミュニケーション基礎A (2)	フランス語圏現地研修 (4)	
●コミュニケーション基礎B (2)	フランス語会話A (2)	
●プレゼンテーション基礎A (2)	フランス語会話B (2)	
●プレゼンテーション基礎B (2)	フランス語会話C (2)	
	フランス語会話D (2)	
	フランス語作文A (2)	
	フランス語作文B (2)	
	フランス語作文C (2)	
	フランス語作文D (2)	
	時事フランス語A (2)	
	時事フランス語B (2)	
	●コミュニケーション理論と実践A (2)	
	●コミュニケーション理論と実践B (2)	
	●コミュニケーション理論と実践C (2)	
	●コミュニケーション理論と実践D (2)	
	●プレゼンテーション理論と実践A (2)	
	●プレゼンテーション理論と実践B (2)	
	●プレゼンテーション理論と実践C (2)	
	●プレゼンテーション理論と実践D (2)	

(注) ●印の科目は、(LF, LE, LA) クラスを受講しなければなりません。

■ ドイツ語学科【23台以降】

<履修する言語：英語>

第2年次	第3年次	第4年次
海外英語研修 (2) 英語読解 I A (1) 英語読解 I B (1) ★英語ライティング A (1) ★英語ライティング B (1) 英会話 II A (1) 英会話 II B (1) 英語プレゼンテーション A (2) 英語プレゼンテーション B (2)	アドバンスト・イングリッシュ I (1) アドバンスト・イングリッシュ II (1) 英語読解 II A (1) 英語読解 II B (1) 英会話 III A (1) 英会話 III B (1) メディア英語 (2) 観光・ビジネス英語 (2)	

(注) ★印の科目は、17台以前は英語ライティング I A、英語ライティング I B が振替科目です。

<履修する言語：フランス語>

第2年次	第3年次	第4年次
フランス語基礎講読 A (2) フランス語基礎講読 B (2) フランス語圏現地研修 (4)	フランス語会話 A (2) フランス語会話 B (2) フランス語会話 C (2) フランス語会話 D (2) フランス語作文 A (2) フランス語作文 B (2) フランス語作文 C (2) フランス語作文 D (2) 時事フランス語 A (2) 時事フランス語 B (2) フランス語圏地域文化講読 A (2) フランス語圏地域文化講読 B (2) フランス語圏地域文化講読 C (2) フランス語圏地域文化講読 D (2) フランス語圏言語文化講読 A (2) フランス語圏言語文化講読 B (2) フランス語圏言語文化講読 C (2) フランス語圏言語文化講読 D (2) フランス語圏表象文化講読 A (2) フランス語圏表象文化講読 B (2) フランス語圏表象文化講読 C (2) フランス語圏表象文化講読 D (2)	

(注) ●印の科目は、(LF, LE, LA) クラスを受講しなければなりません。

<履修する言語：中国語>

第2年次	第3年次	第4年次
コミュニケーション中国語 I A (1) コミュニケーション中国語 I B (1) 中国語表現法 A (2) 中国語表現法 B (2)	コミュニケーション中国語 II A (1) コミュニケーション中国語 II B (1) 中国事情講読 A (2) 中国事情講読 B (2) 中国事情講読 C (2) 中国事情講読 D (2) 中国言語文化講読 A (2) 中国言語文化講読 B (2) 中国言語文化講読 C (2) 中国言語文化講読 D (2)	コミュニケーション中国語 III A (1) コミュニケーション中国語 III B (1)

<履修する言語：朝鮮語>

第2年次	第3年次	第4年次
コミュニケーション朝鮮語 I A (1) コミュニケーション朝鮮語 I B (1) 朝鮮語表現法 A (2) 朝鮮語表現法 B (2)	コミュニケーション朝鮮語 II A (1) コミュニケーション朝鮮語 II B (1) 韓国事情講読 A (2) 韓国事情講読 B (2) 韓国事情講読 C (2) 韓国事情講読 D (2) 韓国言語文化講読 A (2) 韓国言語文化講読 B (2) 韓国言語文化講読 C (2) 韓国言語文化講読 D (2)	コミュニケーション朝鮮語 III A (1) コミュニケーション朝鮮語 III B (1)

■ ドイツ語学科【22台以前】

＜履修する言語：英語＞

第2年次	第3年次	第4年次
海外英語研修 (2) 英語読解ⅠA (1) 英語読解ⅠB (1) ★英語ライティングA (1) ★英語ライティングB (1) 英会話ⅡA (1) 英会話ⅡB (1) 英語プレゼンテーションA (2) 英語プレゼンテーションB (2)	アドバンスト・イングリッシュⅠ (1) アドバンスト・イングリッシュⅡ (1) 英語読解ⅡA (1) 英語読解ⅡB (1) 英会話ⅢA (1) 英会話ⅢB (1) メディア英語 (2) 観光・ビジネス英語 (2)	

(注) ★印の科目は、17台以前は英語ライティングⅠA、英語ライティングⅠBが振替科目です。

＜履修する言語：フランス語＞

第2年次	第3年次	第4年次
フランス語圏現地研修 (4)		フランス語圏地域文化講読A (2) フランス語圏地域文化講読B (2) フランス語圏地域文化講読C (2) フランス語圏地域文化講読D (2) フランス語圏言語文化講読A (2) フランス語圏言語文化講読B (2) フランス語圏言語文化講読C (2) フランス語圏言語文化講読D (2) フランス語圏表象文化講読A (2) フランス語圏表象文化講読B (2) フランス語圏表象文化講読C (2) フランス語圏表象文化講読D (2)

■ フランス語学科【23台以降】

＜履修する言語：英語＞

第2年次	第3年次	第4年次
海外英語研修 (2) 英語読解ⅠA (1) 英語読解ⅠB (1) ★英語ライティングA (1) ★英語ライティングB (1) 英会話ⅡA (1) 英会話ⅡB (1) 英語プレゼンテーションA (2) 英語プレゼンテーションB (2)	アドバンスト・イングリッシュⅠ (1) アドバンスト・イングリッシュⅡ (1) 英語読解ⅡA (1) 英語読解ⅡB (1) 英会話ⅢA (1) 英会話ⅢB (1) メディア英語 (2) 観光・ビジネス英語 (2)	

(注) ★印の科目は、17台以前は英語ライティングⅠA、英語ライティングⅠBが振替科目です。

＜履修する言語：ドイツ語＞

第2年次	第3年次	第4年次
ドイツ語基礎講読A (2) ドイツ語基礎講読B (2) ドイツ語圏現地研修 (4)		ドイツ語会話A (2) ドイツ語会話B (2) ドイツ語会話C (2) ドイツ語会話D (2) ドイツ語作文A (2) ドイツ語作文B (2) ドイツ語作文C (2) ドイツ語作文D (2) 時事ドイツ語A (2) 時事ドイツ語B (2) ドイツ語圏地域文化講読A (2) ドイツ語圏地域文化講読B (2) ドイツ語圏地域文化講読C (2) ドイツ語圏地域文化講読D (2) ドイツ語圏言語文化講読A (2) ドイツ語圏言語文化講読B (2) ドイツ語圏言語文化講読C (2) ドイツ語圏言語文化講読D (2) ドイツ語圏表象文化講読A (2) ドイツ語圏表象文化講読B (2) ドイツ語圏表象文化講読C (2) ドイツ語圏表象文化講読D (2)

(注) ●印の科目は、(LG, LE, LA) クラスを受講しなければなりません。

<履修する言語：中国語>

第2年次	第3年次	第4年次
コミュニケーション中国語ⅠA (1) コミュニケーション中国語ⅠB (1) 中国語表現法A (2) 中国語表現法B (2)	コミュニケーション中国語ⅡA (1) コミュニケーション中国語ⅡB (1)	コミュニケーション中国語ⅢA (1) コミュニケーション中国語ⅢB (1)
	中国事情講読A (2) 中国事情講読B (2) 中国事情講読C (2) 中国事情講読D (2) 中国言語文化講読A (2) 中国言語文化講読B (2) 中国言語文化講読C (2) 中国言語文化講読D (2)	

<履修する言語：朝鮮語>

第2年次	第3年次	第4年次
コミュニケーション朝鮮語ⅠA (1) コミュニケーション朝鮮語ⅠB (1) 朝鮮語表現法A (2) 朝鮮語表現法B (2)	コミュニケーション朝鮮語ⅡA (1) コミュニケーション朝鮮語ⅡB (1)	コミュニケーション朝鮮語ⅢA (1) コミュニケーション朝鮮語ⅢB (1)
	韓国事情講読A (2) 韓国事情講読B (2) 韓国事情講読C (2) 韓国事情講読D (2) 韓国言語文化講読A (2) 韓国言語文化講読B (2) 韓国言語文化講読C (2) 韓国言語文化講読D (2)	

■ フランス語学科 [22台以前]

<履修する言語：英語>

第2年次	第3年次	第4年次
海外英語研修 (2) 英語読解ⅠA (1) 英語読解ⅠB (1) ★英語ライティングA (1) ★英語ライティングB (1) 英会話ⅡA (1) 英会話ⅡB (1) 英語プレゼンテーションA (2) 英語プレゼンテーションB (2)	アドバンスト・イングリッシュⅠ (1) アドバンスト・イングリッシュⅡ (1) 英語読解ⅡA (1) 英語読解ⅡB (1) 英会話ⅢA (1) 英会話ⅢB (1) メディア英語 (2) 観光・ビジネス英語 (2)	

(注) ★印の科目は、17台以前は英語ライティングⅠA、英語ライティングⅠBが振替科目です。

<履修する言語：ドイツ語>

第2年次	第3年次	第4年次
ドイツ語圏現地研修 (4)	ドイツ語圏地域文化講読A (2) ドイツ語圏地域文化講読B (2) ドイツ語圏地域文化講読C (2) ドイツ語圏地域文化講読D (2) ドイツ語圏言語文化講読A (2) ドイツ語圏言語文化講読B (2) ドイツ語圏言語文化講読C (2) ドイツ語圏言語文化講読D (2) ドイツ語圏表象文化講読A (2) ドイツ語圏表象文化講読B (2) ドイツ語圏表象文化講読C (2) ドイツ語圏表象文化講読D (2)	

■ 東アジア地域言語学科【23台以降】

<履修する言語：英語>

第2年次	第3年次	第4年次
海外英語研修 (2) 英語読解ⅠA (1) 英語読解ⅠB (1) 英語ライティングA (1) 英語ライティングB (1) 英会話ⅡA (1) 英会話ⅡB (1) 英語プレゼンテーションA (2) 英語プレゼンテーションB (2)	アドバンスト・イングリッシュⅠ (1) アドバンスト・イングリッシュⅡ (1) 英語読解ⅡA (1) 英語読解ⅡB (1) 英会話ⅢA (1) 英会話ⅢB (1) メディア英語 (2) 観光・ビジネス英語 (2)	

<履修する言語：ドイツ語>

第2年次	第3年次	第4年次
ドイツ語基礎講読A (2) ドイツ語基礎講読B (2) ドイツ語圏現地研修 (4) ●コミュニケーション基礎A (2) ●コミュニケーション基礎B (2) ●プレゼンテーション基礎A (2) ●プレゼンテーション基礎B (2)		ドイツ語会話A (2) ドイツ語会話B (2) ドイツ語会話C (2) ドイツ語会話D (2) ドイツ語作文A (2) ドイツ語作文B (2) ドイツ語作文C (2) ドイツ語作文D (2) 時事ドイツ語A (2) 時事ドイツ語B (2) ドイツ語圏地域文化講読A (2) ドイツ語圏地域文化講読B (2) ドイツ語圏地域文化講読C (2) ドイツ語圏地域文化講読D (2) ドイツ語圏言語文化講読A (2) ドイツ語圏言語文化講読B (2) ドイツ語圏言語文化講読C (2) ドイツ語圏言語文化講読D (2) ドイツ語圏表象文化講読A (2) ドイツ語圏表象文化講読B (2) ドイツ語圏表象文化講読C (2) ドイツ語圏表象文化講読D (2)

(注) ●印の科目は、(LG, LE, LA) クラスを受講しなければなりません。

<履修する言語：フランス語>

第2年次	第3年次	第4年次
フランス語基礎講読A (2) フランス語基礎講読B (2) フランス語圏現地研修 (4) ●コミュニケーション基礎A (2) ●コミュニケーション基礎B (2) ●プレゼンテーション基礎A (2) ●プレゼンテーション基礎B (2)		フランス語会話A (2) フランス語会話B (2) フランス語会話C (2) フランス語会話D (2) フランス語作文A (2) フランス語作文B (2) フランス語作文C (2) フランス語作文D (2) 時事フランス語A (2) 時事フランス語B (2) フランス語圏地域文化講読A (2) フランス語圏地域文化講読B (2) フランス語圏地域文化講読C (2) フランス語圏地域文化講読D (2) フランス語圏言語文化講読A (2) フランス語圏言語文化講読B (2) フランス語圏言語文化講読C (2) フランス語圏言語文化講読D (2) フランス語圏表象文化講読A (2) フランス語圏表象文化講読B (2) フランス語圏表象文化講読C (2) フランス語圏表象文化講読D (2)

(注) ●印の科目は、(LF, LE, LA) クラスを受講しなければなりません。

3 人文学部英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科の多言語強化プログラムに関する内規

(趣 旨)

第1条 福岡大学学科履修規程第6条第2項に規定する人文学部英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科の多言語強化プログラム（以下「プログラム」という。）については、この内規に定めるところによる。

(目 的)

第2条 プログラムは、語学力向上を目指す意欲ある成績優秀な学生に、実践的な授業科目を提供することにより、専攻する外国語以外の外国語の語学力を修得させ、国際社会において多角的に活躍する人材を養成することを目的とする。

(履 修)

第3条 プログラムを履修することができる者は、人文学部英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科又は東アジア地域言語学科に在籍する学生とする。

2 プログラムの履修を希望する者は、在学1年目、在学2年目又は在学3年目の終了時の所定の期間内にプログラム履修願を人文学部長に提出しなければならない。

3 プログラムにおいて学生が履修する言語は、当該学生が履修する第1外国語以外の言語とする。

4 プログラムの授業科目については、人文学部教授会が別に定める。

(選 考)

第4条 プログラムの履修者は、次の表に掲げる基準を満たした者のうちから人文学部教授会が選考する。

履修する言語	出願時期	選 考 基 準
英 語	1年目終了時	英語運用能力テスト等において、TOEICスコア500以上に相当する成績を修めた者
	2年目又は 3年目終了時	英語運用能力テスト等において、TOEICスコア550以上に相当する成績を修めた者
ドイツ語	1年目終了時	ドイツ語ⅠA・ドイツ語ⅠBの平均点が80点以上の者、又は公益財団法人ドイツ語学文学振興会が実施するドイツ語技能検定試験4級以上に合格した者
	2年目又は 3年目終了時	ドイツ語ⅡA・ドイツ語ⅡBの平均点が80点以上の者、又は公益財団法人ドイツ語学文学振興会が実施するドイツ語技能検定試験3級以上に合格した者
フランス語	1年目終了時	フランス語ⅠA・フランス語ⅠBの平均点が80点以上の者、又は公益財団法人フランス語教育振興協会が実施する実用フランス語技能検定試験4級以上に合格した者
	2年目又は 3年目終了時	フランス語ⅡA・フランス語ⅡBの平均点が80点以上の者、又は公益財団法人フランス語教育振興協会が実施する実用フランス語技能検定試験3級以上に合格した者
中国語	1年目終了時	漢語水平考試（HSK）3級以上又は中国語検定4級以上に合格した者
	2年目又は 3年目終了時	漢語水平考試（HSK）4級以上又は中国語検定3級以上に合格した者
朝鮮語	1年目終了時	TOPIK3級以上又はハングル検定4級以上に合格した者
	2年目又は 3年目終了時	TOPIK4級以上又はハングル検定3級以上に合格した者

(履修の撤回)

第5条 プログラムの履修者は、2年次又は3年次の後期試験終了後の所定の期間内に届け出ることにより、プログラムの履修を撤回することができる。

(修 了)

第6条 プログラムの履修者が、福岡大学学則第34条第1項に定める必要な単位を修得し、かつ、プログラムの授業科目のうち、当該言語の科目を8単位以上修得したときは、人文学部教授会の議を経て、プログラムを修了したと認めるものとする。

2 前項の規定によりプログラムを修了した者には、人文学部長がプログラムの修了証を授与する。

(補 則)

第7条 プログラムに関し、必要な事項は別に定めることができる。

附 則

この内規は、令和5年4月1日から施行する。

■ 日本語教員課程

1 日本語教員課程について

- 日本語教員課程を履修できる者は、本学の人文学部の学生および人文学部を平成3年度以降（日本語日本文学科は平成2年度以降）に卒業した者に限ります。
- 日本語教員課程を履修する者は、「日本語教員課程に関する規程」（P.134）参照してください。
- 日本語教員課程の履修を希望する者は、必ず「受講説明動画」を視聴しなければなりません。受講説明動画は、前期期間中と後期期間中に各1回、FUポータル〈お知らせ〉に掲載します。
1年次生については、動画の視聴は可能ですが、科目の登録は2年次生からとなります。
- 日本語教員課程科目（学科に設置されていない科目）の登録単位は、年間登録単位数（前・後期各25単位以内、年間45単位以内）に算入されません。
- 申込方法
FUポータル〈お知らせ〉に添付の「日本語教員課程科目受講届」に記入のうえ、指定された日時までに教務二課（人文学部）窓口へ提出してください。
「日本語教員課程授業時間割」は、後日FUポータル〈お知らせ〉に掲載します。
- 受講料について
日本語教員課程科目（学科に設置されていない科目）を履修する場合、学則第43条に従い受講料を納入しなければなりません。
 - (1) 受講料 1単位につき1,000円
登録撤回期間終了後は、受講料の返還は行いません。
 - (2) 納入方法 納入期間は、FUポータル〈お知らせ〉に掲載します。
指定された期間内に教務二課（人文学部）窓口で納入手続きをしてください。
受講料を納入しなかった場合は、登録科目を取り消します。
 - (3) 受講料の追加徴収・返還
後期登録変更による科目の追加・削除、または後期登録撤回期間中に撤回した科目については、受講料の追加徴収または返還を行います。
指定された期間内に教務二課（人文学部）窓口へ申し出てください。

2 日本語教員課程に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、福岡大学学則（以下「学則」という。）第34条の8第2項に基づき、日本語教員課程科目に関し必要な事項を定めるものとする。

2 日本語教員課程科目及び修得すべき単位等に関する事項については、学則に定めるほか、この規程による。

(日本語教員課程の履修)

第2条 日本語教員課程については、福岡大学（以下「本学」という。）の人文文学部の学生及び福岡大学科目等履修生規程第2条第5項に基づいて日本語教員課程科目を履修することのできる科目等履修生に限り、これを履修することができる。

(日本語教員課程科目)

第3条 日本語教育施設における教員の資格を取得しようとする者は、別表に定めるところに従って、日本語教員課程科目を履修し、所要の単位を修得しなければならない。

(卒業要件単位への算入)

第4条 日本語教員課程科目については、学則第31条に掲げる表に定められた授業科目を除き、その修得単位を卒業要件単位に算入しない。

(受講料の納入)

第5条 日本語教員課程科目であって、その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない授業科目を履修する者は、学則第43条及び福岡大学授業料その他諸納入金規程の定めるところに従って受講料を納入しなければならない。

2 前項に定める受講料の納入手続については、別にこれを定める。

(修了証の交付)

第6条 日本語教員課程科目を履修し、その所要単位を修得した者については、本人の請求に基づいて、その履修した授業科目及び修得した単位数に関する証明書を発行する。

2 日本語教員課程を修了した者については、本学所定の修了証を授与する。

附 則

1 この規程は、令和6年4月1日から施行する。

2 第3条の規定は、令和4年度入学生から適用する。

別 表

日本語教員養成において必要とされる内容	本学における授業科目	単位数	履修要件	必要単位
言語に関わる領域	日本語学概論Ⅰ	2	必修	12単位以上
	日本語学概論Ⅱ	2		
	日本語学特講Ⅰa	2	4科目以上 を選択	
	日本語学特講Ⅰb	2		
	日本語学特講Ⅱa	2		
	日本語学特講Ⅱb	2		
	日本語学特講Ⅲa	2		
	日本語学特講Ⅲb	2		
	日本語学特講Ⅳa	2		
	日本語学特講Ⅳb	2		
	日本語学特講Ⅴa	2		
	日本語学特講Ⅴb	2		
	日本語学特講Ⅵa	2		
	日本語学特講Ⅵb	2		
	言語学概論A	2		
	言語学概論B	2		
	英語学概論A	2		
	英語学概論B	2		
	ドイツ語学概論A	2		
	ドイツ語学概論B	2		
	フランス語学概論A	2		
	フランス語学概論B	2		
	中国言語文化概説B（言語）	2		
韓国言語文化概説B（言語）	2			
社会・文化に関わる領域	日本語史Ⅰ	2	必修	8単位以上
	日本語史Ⅱ	2		
	日本文学概論Ⅰ	2	2科目以上 を選択	
	日本文学概論Ⅱ	2		
	日本文学史Ⅰ	2		
	日本文学史Ⅱ	2		
	日本の文化と歴史A	2		
	日本の文化と歴史B	2		
	日本の文化と歴史C	2		
	日本の文化と歴史D	2		
教育に関わる領域	社会言語学特講	2	必修	16単位
	心理言語学特講	2		
	日本語教育法Ⅰ	2		
	日本語教育法Ⅱ	2		
	日本語教育法Ⅲ	2		
	日本語教育法Ⅳ	2		
	日本語教授法演習Ⅰ	2		
	日本語教授法演習Ⅱ	2		
計	(42科目)	84		36単位以上

3 日本語教員課程授業科目の学科別配当年次表

日本語教員養成 において必要と される内容	本学における 授業科目 〔前期科目〕	単位	本学における 授業科目 〔後期科目〕	単位	履修 要件	必要 単位	授業科目を設置している学科の配当年次								学科に設置さ れていない場 合の配当年次	
							文化	歴史	日文	教育・臨 床心理	英語	ドイツ 語	フラン ス語	東 アジア		
言語に 関わる領域	日本語学概論Ⅰ	2	日本語学概論Ⅱ	2	必修	12単位 以上		1年	1年		2年	2年	2年	1年	2～4年	
	日本語学特講Ⅰa	2	日本語学特講Ⅱa	2					3・4年					3・4年	3～4年	
	日本語学特講Ⅰb	2	日本語学特講Ⅱb	2					3・4年					3・4年	3～4年	
	日本語学特講Ⅲa	2	日本語学特講Ⅳa	2					3・4年					3・4年	3～4年	
	日本語学特講Ⅲb	2	日本語学特講Ⅳb	2					3・4年					3・4年	3～4年	
	日本語学特講Ⅴa	2	日本語学特講Ⅵa	2					3・4年					3・4年	3～4年	
	日本語学特講Ⅴb	2	日本語学特講Ⅵb	2					3・4年					3・4年	3～4年	
	言語学概論A	2	言語学概論B	2	4科目 以上 選択			3・4年		2年		2年	2年	2年	2年	2～4年
	英語学概論A	2	英語学概論B	2						1年		1年				2～4年
	ドイツ語学概論A	2	ドイツ語学概論B	2									3・4年	3・4年		3～4年
	フランス語学概論A	2	フランス語学概論B	2									3・4年	3・4年		3～4年
				中国言語文化概説B(言語)	2										2年	2～4年
			韓国言語文化概説B(言語)	2									2年	2～4年		
社会・文化に 関わる領域	日本語史Ⅰ	2	日本語史Ⅱ	2	必修	8単位 以上		2年	2年		2年	2年	2年	2年	2～4年	
	日本文学概論Ⅰ	2	日本文学概論Ⅱ	2				1年	1年	1年		1年	1年	1年	2～4年	
	日本文学史Ⅰ	2	日本文学史Ⅱ	2	2科目 以上 選択					1年					2～4年	
	日本の文化と歴史A	2	日本の文化と歴史B	2				2年	2・3・4年	3・4年	3・4年	3・4年	3・4年	3・4年		2～4年
	日本の文化と歴史C	2	日本の文化と歴史D	2				2年	2・3・4年	3・4年	3・4年	3・4年	3・4年	3・4年		2～4年
教育に 関わる領域			社会言語学特講	2	必修	16単位			3・4年						3～4年	
			心理言語学特講	2						3・4年						3～4年
			日本語教育法Ⅰ	2			日本語教育法Ⅱ	2			2年		2年		2年	2～4年
			日本語教育法Ⅲ	2			日本語教育法Ⅳ	2			3年		3・4年		3・4年	3～4年
			日本語教授法演習Ⅰ	2			日本語教授法演習Ⅱ	2			4年		4年		4年	4年
計	42科目 (84単位)					36単位 以上										

各種課程の履修について

本学では教職課程、博物館学芸員課程、社会教育主事課程を開設しており、学生の免許・資格の取得をサポートしています。これらの課程の履修方法については別冊『教職課程・博物館学芸員課程・社会教育主事課程 履修の手引』を参照してください。

教職課程

本学の各学部・学科で取得できる教員免許状は次の表のとおりです。

〈取得できる免許状の種類と教科〉

学 部	学 科	免許状の種類及び教科		
		中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	その他の一種免許状
人文学部	文化学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民	—
	歴史学科			
	日本語日本文学科	国 語	国 語	
	教育・臨床心理学科	社 会	公 民	
	英語学科	外国語(英語)	外 国 語 (英 語)	
	ドイツ語学科	外国語(ドイツ語)	外 国 語 (ド イ ツ 語)	
	フランス語学科	外国語(フランス語)	外 国 語 (フ ラ ン ス 語)	
東アジア地域言語学科	中国コース	外国語(中国語)	外 国 語 (中 国 語)	
	韓国コース	外国語(朝鮮語)	外 国 語 (朝 鮮 語)	
法学部	法律学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民	—
	経営法学科			
経済学部	経済学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民 ・ 情 報	—
	産業経済学科			
商学部	商学科	—	商 業 ・ 情 報	—
	経営学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民	—
	貿易学科			
商学部第二部	商学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民 ・ 商 業 ・ 情 報	—
理学部	応用数学科	数 学	数 学 ・ 情 報	—
	物理科学科	理 科	理 科 ・ 情 報	
	化学科		理 科	
	地球圏科学科		理 科	
工学部	機械工学科	—	工 業	—
	電気工学科		工 業 ・ 情 報	
	電子情報工学科		工 業	
	化学システム工学科			
	社会デザイン工学科			
	建築学科			
医学部	看護学科	—	看 護	養 護 教 諭
スポーツ科学部	スポーツ科学科	保 健 体 育	保 健 体 育	—
	健康運動科学科			

〔人文学部ドイツ語学科・フランス語学科・東アジア地域言語学科〕

他学科の科目を履修することで、人文学部ドイツ語学科・フランス語学科については「外国語(英語)」の免許状を、東アジア地域言語学科については「国語」の免許状を取得することが可能です。しかし、いずれも在籍する学科で取得できる免許教科の取得が前提であり、その他成績等の制約も設けられているため在学中の取得は難しいかもしれません。

〔医学部看護学科〕

高一種「看護」と養護教諭一種免許状を取得できますが、学科の看護学実習等もあるため、在学中に両方を取得することは困難です。どちらかに決めて履修する方が望ましいでしょう。

〔小学校教諭免許状取得プログラム〕

本プログラムに参加することにより、小学校教諭一種免許状の取得に必要な単位の修得も可能です。ただし参加条件があり、1年次の後期に応募し受講を許可される必要があります。

博物館学芸員課程

学芸員とは、博物館（美術館・歴史資料館・動物園・植物園・水族館など）に置かれる専門職員で、資料の収集や保管、調査研究、展示などを行います。

本学では次の学部・学科に学芸員となる資格を取得できる博物館学芸員課程を設けています。

学 部	学 科
人 文 学 部	文 化 学 科
	歴 史 学 科
理 学 部	応 用 数 学 科
	物 理 科 学 科
	化 学 科
	地 球 圏 科 学 科

社会教育主事課程

社会教育主事とは、都道府県および市町村の教育委員会の事務局に置かれる「専門的教育職員」であり、主に学校外教育で青少年および成人に対して行われる組織的な教育活動（体育およびレクリエーションの活動を含む。）を行う者に専門的・技術的な助言と指導を行うことを職務とします。

本学では次の学部・学科に社会教育主事となるために必要な単位を修得できる社会教育主事課程を設けています。

学 部	学 科
人 文 学 部	文 化 学 科
	教 育 ・ 臨 床 心 理 学 科
ス ポ ー ツ 科 学 部	ス ポ ー ツ 科 学 科
	健 康 運 動 科 学 科

外国語科目クラス別担当者一覧

※英語のレギュラークラス（目的別クラス）担当者については、Web履修登録画面または授業科目確認表を参照してください。

※英語の再履修クラス担当者については、「IV履修の手引き」（p.64）を参照してください。

ドイツ語

ドイツ語 I A およびドイツ語 I B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
LC LH	全	I A	通年	火	3	堺 雅 志
		I B	通年	金	5	片 岡 宜 行
LJ LP LE LF LA	全	I A	通年	火	3	篠 崎 元
		I B	通年	金	5	永 田 善 久
LG	1(a)	I A	前期	月	2	富 重 純 子
				木	4	
	I B	後期	月	2		
			木	4		
1(b)	I A	前期	月	4	森 澤 万里子	
			木	2		
		I B	後期	月		4
				木		2
JJ	1-5	I A	通年	火	2	篠 崎 元
		I B	通年	金	2	篠 崎 元
	6-10	I A	通年	火	5	マ ン ケ
		I B	通年	木	3	堀 口 順 子
JB	全	I A	通年	月	1	田 口 武 史
		I B	通年	木	2	有 馬 良 之
E	全	I A	通年	月	2	森 澤 万里子
		I B	通年	木	1	堀 口 順 子
CC	1-4	I A	通年	火	4	堀 口 順 子
		I B	通年	金	1	有 馬 良 之
	5-6	I A	通年	火	4	有 馬 良 之
		I B	通年	金	1	篠 崎 元
CB	全	I A	通年	月	3	富 重 純 子
		I B	通年	水	2	有 馬 良 之
CF	全	I A	通年	月	5	ライヒャルト
		I B	通年	木	4	金 山 正 道
SM SP	全	I A	通年	火	4	堀 口 順 子
		I B	通年	金	1	有 馬 良 之
SC SE	全	I A	通年	火	4	有 馬 良 之
		I B	通年	金	1	篠 崎 元
TM TE	全	I A	通年	火	5	マ ン ケ
		I B	通年	木	3	堀 口 順 子
TL	全	I A	通年	月	5	ライヒャルト
		I B	通年	木	4	金 山 正 道
TK	全	I A	通年	月	5	ライヒャルト
		I B	通年	木	4	金 山 正 道
TC	全	I A	通年	月	1	田 口 武 史
		I B	通年	木	2	有 馬 良 之
TA	全	I A	通年	月	3	富 重 純 子
		I B	通年	水	2	有 馬 良 之

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
MM	全	I A	通年	火	2	篠 崎 元
		I B	通年	金	2	篠 崎 元
P	全	I A	通年	月	2	森 澤 万里子
		I B	通年	木	1	堀 口 順 子
G	全	I A	通年	火	3	堺 雅 志
		I B	通年	金	5	片 岡 宜 行

ドイツ語Ⅱ Aおよびドイツ語Ⅱ B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時 限	担 当 者
LC LH	全	Ⅱ A	通年	火	1	篠 崎 元
		Ⅱ B	通年	金	4	デル カステイヨ
LJ LP LE LF LA	全	Ⅱ A	通年	金	4	金 山 正 道
		Ⅱ B	通年	火	1	ライヒャルト
LG	1(a)	Ⅱ A	通年	水	2	富 重 純 子
		Ⅱ B	通年	金	2	ゴ ツ イ ッ ク
	1(b)	Ⅱ A	通年	金	2	片 岡 宜 行
		Ⅱ B	通年	水	2	デル カステイヨ

※ J・E・C・S・T・P・Gの学生で、ドイツ語Ⅱ A・Ⅱ Bの履修を希望する場合は、ドイツ語Ⅱ A・Ⅱ BのLGクラス以外で履修してください。どちらのクラスでも構いませんが、Ⅱ A・Ⅱ Bを同時に履修する場合は、同一クラスで履修してください。(S、Tの学生以外)

※ S、Tの学生はⅡ AかⅡ Bのいずれか片方を「ドイツ語Ⅱ」として履修します。

フランス語

フランス語Ⅰ Aおよびフランス語Ⅰ B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
LC LH LJ LG	全	I A	通年	火	3	甲斐春香
		I B	通年	金	5	山本崇代
LP LE LA	全	I A	通年	火	3	山下広一
		I B	通年	金	5	渡邊佳奈
LF	1(a)	I A	前期	月	2	村石麻子
				木	4	
	I B	後期	月	2	井関麻帆	
			木	4		
1(b)	I A	前期	月	4	小池美穂	
			木	2		
JJ	1-5	I A	通年	火	2	甲斐春香
		I B	通年	金	2	
	6-10	I A	通年	火	5	山下広一
		I B	通年	木	3	
JB	全	I A	通年	月	1	鈴木隆美
		I B	通年	木	2	
E	全	I A	通年	月	2	渡邊佳奈
		I B	通年	木	1	
CC	全	I A	通年	火	4	山下広一
		I B	通年	金	1	
CB	全	I A	通年	月	3	渡邊佳奈
		I B	通年	水	2	
CF	全	I A	通年	月	5	渡邊佳奈
		I B	通年	木	4	
SM SP SC	全	I A	通年	火	4	木下樹親
		I B	通年	金	1	
SE	全	I A	通年	火	4	山下広一
		I B	通年	金	1	
TM TE	全	I A	通年	火	5	山下広一
		I B	通年	木	3	
TL	全	I A	通年	月	5	渡邊佳奈
		I B	通年	木	4	
TK	全	I A	通年	月	5	渡邊佳奈
		I B	通年	木	4	
TC	全	I A	通年	月	1	鈴木隆美
		I B	通年	木	2	
TA	全	I A	通年	月	3	渡邊佳奈
		I B	通年	水	2	
MM	全	I A	通年	火	2	甲斐春香
		I B	通年	金	2	
P	全	I A	通年	月	2	渡邊佳奈
		I B	通年	木	1	
G	全	I A	通年	火	3	甲斐春香
		I B	通年	金	5	

フランス語Ⅱ Aおよびフランス語Ⅱ B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
LC LH LJ	全	Ⅱ A	通年	火	1	河野敦子
		Ⅱ B	通年	金	4	山本崇代
LE LP LG LA	全	Ⅱ A	通年	火	1	原田裕里
		Ⅱ B	通年	金	4	原田裕里
LF	1(a)	Ⅱ A	通年	水	2	村石麻子
		Ⅱ B	通年	金	2	アンティエ
	1(b)	Ⅱ A	通年	金	2	山本大地
		Ⅱ B	通年	水	2	アンティエ

※ J・E・C・S・T・P・Gの学生で、フランス語Ⅱ A・Ⅱ Bの履修を希望する場合は、フランス語Ⅱ A・Ⅱ BのLFクラス以外で履修してください。どちらのクラスでも構いませんが、Ⅱ A・Ⅱ Bを同時に履修する場合は、同一クラスで履修してください。(S、Tの学生以外)

※ S、Tの学生はⅡ AかⅡ Bのいずれか片方を「フランス語Ⅱ」として履修します。

中国語

中国語 I A および中国語 I B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担 当 者
LC	全	I A	通年	火	3	王 雲 燕
		I B	通年	金	5	王 秀 珍
LH	全	I A	通年	火	3	龍 一 夫
		I B	通年	金	5	王 貞 月
LJ	全	I A	通年	火	3	何 憶 鶴
		I B	通年	金	5	岡 村 真寿美
LP	1	I A	通年	火	3	オウ イクブン
		I B	通年	金	5	荀 暁 崢
	2	I A	通年	火	3	宮 下 尚 子
		I B	通年	金	5	武 継 平
LE LG LF	全	I A	通年	火	3	ア イ ネ ル
		I B	通年	金	5	宮 下 尚 子
LA	1	I A	前期	火	3	王 美 蘭
		I B	後期	火	3	王 一 萍
	2	I A	前期	火	3	王 一 萍
		I B	後期	火	3	王 美 蘭
JJ	1-5	I A	通年	火	2	中里見 敬 夫
		I B	通年	金	2	龍 一 夫
	6-10	I A	通年	火	5	田 村 和 彦
		I B	通年	木	3	有 働 彰 子
JB	全	I A	通年	月	1	王 美 蘭
		I B	通年	木	2	王 貞 月
EE	1-6	I A	通年	月	2	王 一 萍
		I B	通年	木	1	陳 青 鳳
	7-12	I A	通年	月	2	朱 冰
		I B	通年	木	1	王 貞 月
EI	全	I A	通年	月	2	朱 冰
		I B	通年	木	1	王 貞 月
CC	全	I A	通年	火	4	陳 青 鳳
		I B	通年	金	1	ア イ ネ ル
CB	全	I A	通年	月	3	オウ イクブン
		I B	通年	水	2	葛 目 至
CF	1-2	I A	通年	月	5	チ ョ ウ ロ
		I B	通年	木	4	羽 田 ジェシカ
	3-4	I A	通年	月	5	オウ イクブン
		I B	通年	木	4	堤 和 幸

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担 当 者
SM	1	I A	通年	火	4	陳 青 鳳
		I B	通年	金	1	ア イ ネ ル
	2	I A	通年	火	4	王 一 萍
		I B	通年	金	1	羅 明 坤
SP	1	I A	通年	火	4	陳 青 鳳
		I B	通年	金	1	ア イ ネ ル
	2	I A	通年	火	4	ホウ ラメイ
		I B	通年	金	1	オウ イクブン
SC	全	I A	通年	火	4	王 一 萍
		I B	通年	金	1	羅 明 坤
SE	1	I A	通年	火	4	ホウ ラメイ
		I B	通年	金	1	オウ イクブン
	2	I A	通年	火	4	宮 下 尚 子
		I B	通年	金	1	王 美 蘭
S再	全	I A	通年	火	4	宮 下 尚 子
		I B	通年	金	1	王 美 蘭
TM	1	I A	通年	火	5	王 秀 珍
		I B	通年	木	3	羽 田 ジェシカ
	2	I A	通年	火	5	ホウ ラメイ
		I B	通年	木	3	葛 目 至
TE	1	I A	通年	火	5	龍 一 夫
		I B	通年	木	3	王 雲 燕
	2	I A	通年	火	5	王 雲 燕
		I B	通年	木	3	堤 和 幸
TL	1-2	I A	通年	月	5	王 一 萍
		I B	通年	木	4	葛 目 至
	3-4	I A	通年	月	5	王 美 蘭
		I B	通年	木	4	大 澤 武 司
TK	1	I A	通年	月	5	中 村 昌 彦
		I B	通年	木	4	岡 村 真寿美
	2	I A	通年	月	5	伊 伏 啓 子
		I B	通年	木	4	有 働 彰 子
TC	1	I A	通年	月	1	朱 冰
		I B	通年	木	2	陳 青 鳳
	2	I A	通年	月	1	王 一 萍
		I B	通年	木	2	何 憶 鶴
TA	1	I A	通年	月	3	王 美 蘭
		I B	通年	水	2	岡 村 真寿美
	2	I A	通年	月	3	中 村 昌 彦
		I B	通年	水	2	河 本 美 紀
MM	全	I A	通年	火	2	中里見 敬 夫
		I B	通年	金	2	龍 一 夫
PP	1-3	I A	通年	月	2	王 一 萍
		I B	通年	木	1	陳 青 鳳
	4-6	I A	通年	月	2	朱 冰
		I B	通年	木	1	王 貞 月
G	全	I A	通年	火	3	龍 一 夫
		I B	通年	金	5	王 貞 月

中国語Ⅱ Aおよび中国語Ⅱ B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時 限	担 当 者
LC	全	Ⅱ A	通年	火	1	ア イ ネ ル
		Ⅱ B	通年	金	4	ホ ウ ラ メ イ
LH	1	Ⅱ A	通年	火	1	有 働 彰 子
		Ⅱ B	通年	金	4	オ ウ イ ク ブ ン
	2	Ⅱ A	通年	火	1	王 美 蘭
		Ⅱ B	通年	金	4	王 一 萍
LJ	全	Ⅱ A	通年	火	1	中里見 敬
		Ⅱ B	通年	金	4	宮 下 尚 子
LP	1	Ⅱ A	通年	火	1	オ ウ イ ク ブ ン
		Ⅱ B	通年	金	4	王 美 蘭
	2	Ⅱ A	通年	火	1	王 一 萍
		Ⅱ B	通年	金	4	武 継 平
LE LG LF	全	Ⅱ A	通年	火	1	宮 下 尚 子
		Ⅱ B	通年	金	4	王 秀 珍
LA	全	Ⅱ A	前期	火 金	4 3	オ ウ イ ク ブ ン
		Ⅱ B	後期	火 金	4 3	オ ウ イ ク ブ ン
J E C S T P G	全	Ⅱ A	通年	火	5	荀 曉 崢
		Ⅱ B	通年	木	4	宮 下 尚 子

※ S、Tの学生はⅡ AかⅡ Bのいずれか片方を「中国語Ⅱ」として履修します。

スペイン語

スペイン語 I A およびスペイン語 I B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時 限	担 当 者
LC LH LE LF LA	全	I A	通年	火	3	鈴 木 美 香
		I B	通年	金	5	辻 博 子
LJ LP LG	全	I A	通年	火	3	青 木 文 夫
		I B	通年	金	5	上 間 洋
JJ	1-5	I A	通年	火	2	青 木 文 夫
		I B	通年	金	2	上 間 洋
	6-8	I A	通年	火	5	フジヨシ ミヨコ
		I B	通年	木	3	デ ィ ア ス
	9-10	I A	通年	木	3	青 木 文 夫
		I B	通年	火	5	デ ィ ア ス
JB	全	I A	通年	木	2	フジヨシ ミヨコ
		I B	通年	月	1	デ ィ ア ス
E	全	I A	通年	木	1	フジヨシ ミヨコ
		I B	通年	月	2	デ ィ ア ス
CC	1-3	I A	通年	火	4	鈴 木 美 香
		I B	通年	金	1	上 間 洋
	4-6	I A	通年	金	1	鈴 木 美 香
		I B	通年	火	4	デ ィ ア ス
CB	全	I A	通年	月	3	鈴 木 美 香
		I B	通年	水	2	辻 博 子
CF	1-2	I A	通年	月	5	鈴 木 美 香
		I B	通年	木	4	デ ィ ア ス
	3-4	I A	通年	木	4	青 木 文 夫
		I B	通年	月	5	フジヨシ ミヨコ
SC SE	全	I A	通年	火	4	鈴 木 美 香
		I B	通年	金	1	上 間 洋
SM SP	全	I A	通年	金	1	鈴 木 美 香
		I B	通年	火	4	デ ィ ア ス
TM	1	I A	通年	火	5	フジヨシ ミヨコ
		I B	通年	木	3	デ ィ ア ス
	2	I A	通年	木	3	青 木 文 夫
		I B	通年	火	5	デ ィ ア ス
TE	1	I A	通年	火	5	フジヨシ ミヨコ
		I B	通年	木	3	デ ィ ア ス
	2	I A	通年	木	3	青 木 文 夫
		I B	通年	火	5	デ ィ ア ス
TL	1-2	I A	通年	月	5	鈴 木 美 香
		I B	通年	木	4	デ ィ ア ス
	3-4	I A	通年	木	4	青 木 文 夫
		I B	通年	月	5	フジヨシ ミヨコ
TK	1	I A	通年	月	5	鈴 木 美 香
		I B	通年	木	4	デ ィ ア ス
	2	I A	通年	木	4	青 木 文 夫
		I B	通年	月	5	フジヨシ ミヨコ
TC	全	I A	通年	木	2	フジヨシ ミヨコ
		I B	通年	月	1	デ ィ ア ス
TA	全	I A	通年	月	3	鈴 木 美 香
		I B	通年	水	2	辻 博 子

学部 学科	組	科目	期別	曜 日	時 限	担 当 者
MM	全	I A	通年	火	2	青 木 文 夫
		I B	通年	金	2	上 間 洋
P	全	I A	通年	木	1	フジヨシ ミヨコ
		I B	通年	月	2	デ ィ ア ス
G	全	I A	通年	火	3	青 木 文 夫
		I B	通年	金	5	上 間 洋

スペイン語Ⅱ Aおよびスペイン語Ⅱ B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時 限	担 当 者
LC LH LE LF LA	全	Ⅱ A	通年	火	1	青 木 文 夫
		Ⅱ B	通年	金	4	辻 博 子
LJ LP LG	全	Ⅱ A	通年	火	1	鈴 木 美 香
		Ⅱ B	通年	金	4	上 間 洋

※ J・E・C・S・T・P・Gの学生で、スペイン語Ⅱ A・Ⅱ Bの履修を希望する場合は、スペイン語Ⅱ A・Ⅱ BのLクラスで履修してください。どちらのクラスでも構いませんが、Ⅱ A・Ⅱ Bを同時に履修する場合は、同一クラスで履修してください。(S、Tの学生以外)

※ S、Tの学生はⅡ AかⅡ Bのいずれか片方を「スペイン語Ⅱ」として履修します。

朝鮮語

朝鮮語ⅠAおよび朝鮮語ⅠB

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
LC	1	ⅠA	通年	火	3	押川 信久
		ⅠB	通年	火	5	朴順 伊鎬
	2	ⅠA	通年	火	3	申鎬 十
		ⅠB	通年	火	5	鄭ハ 順ナ
LH	全	ⅠA	通年	火	3	押川 信久
		ⅠB	通年	火	5	朴順 伊久
LJ	1	ⅠA	通年	火	3	押川 信順
		ⅠB	通年	火	5	朴順 伊鎬
	2	ⅠA	通年	火	3	申鎬 十
		ⅠB	通年	火	5	鄭ハ 順ナ
LG LF	全	ⅠA	通年	火	3	申鎬 十
		ⅠB	通年	火	5	鄭ハ 順ナ
LE	全	ⅠA	通年	火	3	鄭美 京鎬
		ⅠB	通年	火	5	申鎬 十
LP	全	ⅠA	通年	火	3	白岩 美穂
		ⅠB	通年	火	5	趙賢 眞京
LA	1	ⅠA	前期	月	4	尹秀 美
		ⅠB	後期	月	4	羅義 圭
	2	ⅠA	前期	月	4	羅義 圭
		ⅠB	後期	月	4	尹秀 美
JJ	1-3	ⅠA	通年	火	2	押川 信久
		ⅠB	通年	火	2	黃聖 媛媛
	4-5	ⅠA	通年	火	2	黃聖 媛媛
		ⅠB	通年	火	2	高仁 淑淑
	6-10	ⅠA	通年	火	5	高仁 淑淑
		ⅠB	通年	木	3	申鎬 十
JB	1	ⅠA	通年	月	1	羅義 圭
		ⅠB	通年	月	2	崔秀 蓮
	2	ⅠA	通年	月	1	大川 賢眞
		ⅠB	通年	月	2	趙賢 眞
	3-5	ⅠA	通年	月	1	趙賢 眞
		ⅠB	通年	月	2	朴順 伊
EE	1-6	ⅠA	通年	月	2	大川 大輔
		ⅠB	通年	月	1	趙賢 眞
	7-12	ⅠA	通年	月	2	羅義 圭
		ⅠB	通年	月	1	崔秀 蓮
EI	1-2	ⅠA	通年	月	2	大川 大輔
		ⅠB	通年	月	1	趙賢 眞
	3-4	ⅠA	通年	月	2	羅義 圭
		ⅠB	通年	月	1	崔秀 蓮
CC	1	ⅠA	通年	火	4	羅義 圭
		ⅠB	通年	火	1	高鄭 仁淑
	2	ⅠA	通年	火	4	鄭美 京
		ⅠB	通年	火	1	趙賢 眞
	3-4	ⅠA	通年	火	4	白岩 美穂
		ⅠB	通年	火	1	金慶 湖
	5-6	ⅠA	通年	火	4	申鎬 十
		ⅠB	通年	火	1	押川 信久
CB	1-3	ⅠA	通年	月	3	千受 獨珉
		ⅠB	通年	月	2	吳安 純子
	4-6	ⅠA	通年	月	3	安藤 純子
		ⅠB	通年	月	2	金京 眞恩
CF	1	ⅠA	通年	月	5	趙賢 眞
		ⅠB	通年	月	4	李廷 恩珉
	2	ⅠA	通年	月	5	千受 賢眞
		ⅠB	通年	月	4	趙賢 眞
	3	ⅠA	通年	月	5	吳獨 立
		ⅠB	通年	月	4	崔秀 蓮
	4	ⅠA	通年	月	5	金京 姫
		ⅠB	通年	月	4	金慶 湖

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
SM	1	ⅠA	通年	火	4	白岩 美穂
		ⅠB	通年	火	1	金慶 湖
	2	ⅠA	通年	火	4	高仁 淑
		ⅠB	通年	火	1	黃聖 媛
SC	1	ⅠA	通年	火	4	申鎬 十
		ⅠB	通年	火	1	押川 信久
	2	ⅠA	通年	火	4	高仁 淑
		ⅠB	通年	火	1	黃聖 媛
SP	1	ⅠA	通年	火	4	羅義 圭
		ⅠB	通年	火	1	高仁 淑
	2	ⅠA	通年	火	4	鄭美 京
		ⅠB	通年	火	1	趙賢 眞
SE	1	ⅠA	通年	火	4	羅義 圭
		ⅠB	通年	火	1	高仁 淑
	2	ⅠA	通年	火	4	鄭美 京
		ⅠB	通年	火	1	趙賢 眞
TM	1	ⅠA	通年	火	5	羅義 圭
		ⅠB	通年	火	3	李廷 恩
	2	ⅠA	通年	火	5	大川 大輔
		ⅠB	通年	火	3	朴順 伊
TE	1	ⅠA	通年	火	5	羅義 圭
		ⅠB	通年	火	3	李廷 恩
	2	ⅠA	通年	火	5	大川 大輔
		ⅠB	通年	火	3	朴順 伊
TL	1-2	ⅠA	通年	月	5	吳獨 立
		ⅠB	通年	月	4	崔秀 蓮
	3-4	ⅠA	通年	月	5	金京 姫
		ⅠB	通年	月	4	趙賢 眞
TK	1	ⅠA	通年	月	5	趙賢 眞
		ⅠB	通年	月	4	李廷 恩
	2	ⅠA	通年	月	5	千受 珉
		ⅠB	通年	月	4	趙賢 眞
TC	1	ⅠA	通年	月	1	羅義 圭
		ⅠB	通年	月	2	崔秀 蓮
	2	ⅠA	通年	月	1	大川 大輔
		ⅠB	通年	月	2	趙賢 眞
TA	1	ⅠA	通年	月	3	千受 珉
		ⅠB	通年	月	2	吳獨 立
	2	ⅠA	通年	月	3	安藤 純子
		ⅠB	通年	月	2	金京 眞恩
MM	全	ⅠA	通年	火	2	黃仁 淑
		ⅠB	通年	火	2	高仁 淑
PP	1-3	ⅠA	通年	月	2	大川 大輔
		ⅠB	通年	月	1	趙賢 眞
	4-6	ⅠA	通年	月	2	羅義 圭
		ⅠB	通年	月	1	崔秀 蓮
G	全	ⅠA	通年	火	3	鄭美 京
		ⅠB	通年	火	5	申鎬 十

朝鮮語Ⅱ Aおよび朝鮮語Ⅱ B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時 限	担 当 者
LC	1	Ⅱ A	通年	火	1	押 川 信 久
		Ⅱ B	通年	金	4	金 慶 湖
	2	Ⅱ A	通年	火	1	申 鎬
		Ⅱ B	通年	金	4	大 川 大 輔
LH	1	Ⅱ A	通年	火	1	押 川 信 久
		Ⅱ B	通年	金	4	金 慶 湖
	2	Ⅱ A	通年	火	1	申 鎬
		Ⅱ B	通年	金	4	大 川 大 輔
LJ LG LF	全	Ⅱ A	通年	火	1	緒 方 義 広
		Ⅱ B	通年	金	4	高 仁 淑
LE	全	Ⅱ A	通年	火	1	黄 聖 媛
		Ⅱ B	通年	金	4	趙 賢 眞
LP	全	Ⅱ A	通年	火	1	羅 義 圭
		Ⅱ B	通年	金	4	鄭 ハ ナ
LA	1	Ⅱ A	前期	水	2 5	金 慶 湖
		Ⅱ B	後期	水	2 5	羅 義 圭
	2	Ⅱ A	前期	水	2 5	羅 義 圭
		Ⅱ B	後期	水	2 5	金 慶 湖
J E C S T P G	全	Ⅱ A	通年	火	5	申 鎬
		Ⅱ B	通年	木	4	李 泰 勲

※ S、Tの学生はⅡ AかⅡ Bのいずれか片方を「朝鮮語Ⅱ」として履修します。

ロシア語

ロシア語 I A およびロシア語 I B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時 限	担 当 者
全学部	全	I A	通年	火	3	ヴ エ ラ
		I B	通年	金	5	ヴ エ ラ

ロシア語 II A およびロシア語 II B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時 限	担 当 者
L J E C S T P G	全	II A	通年	火	1	ヴ エ ラ
		II B	通年	金	4	ヴ エ ラ

※S、Tの学生はII AかII Bのいずれか片方を「ロシア語II」として履修します。

日本語

日本語 I A および日本語 I B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時 限	担 当 者
留学生	①	I A	通年	火	2	清 水 りえ子
		I B	通年	金	1	川 邊 理 恵
	②	I A	通年	火	3	清 水 りえ子
		I B	通年	水	5	川 邊 理 恵

日本語 II A および日本語 II B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時 限	担 当 者
留学生	全	II A	通年	火	1	清 水 りえ子
		II B	通年	金	4	清 水 りえ子